

令和7年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(7-4)

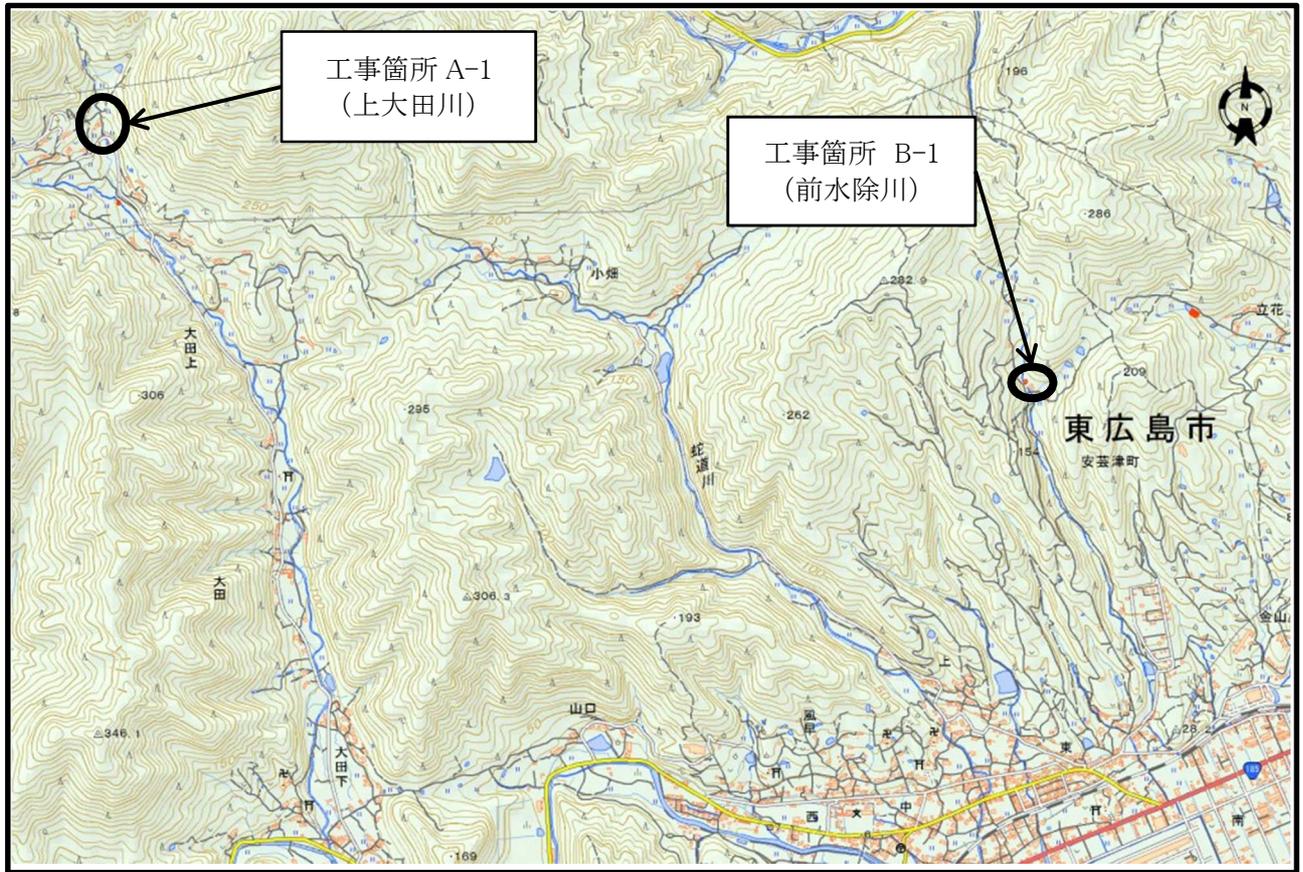
仕様書

施 工 場 所 東広島市安芸津町風早、大田

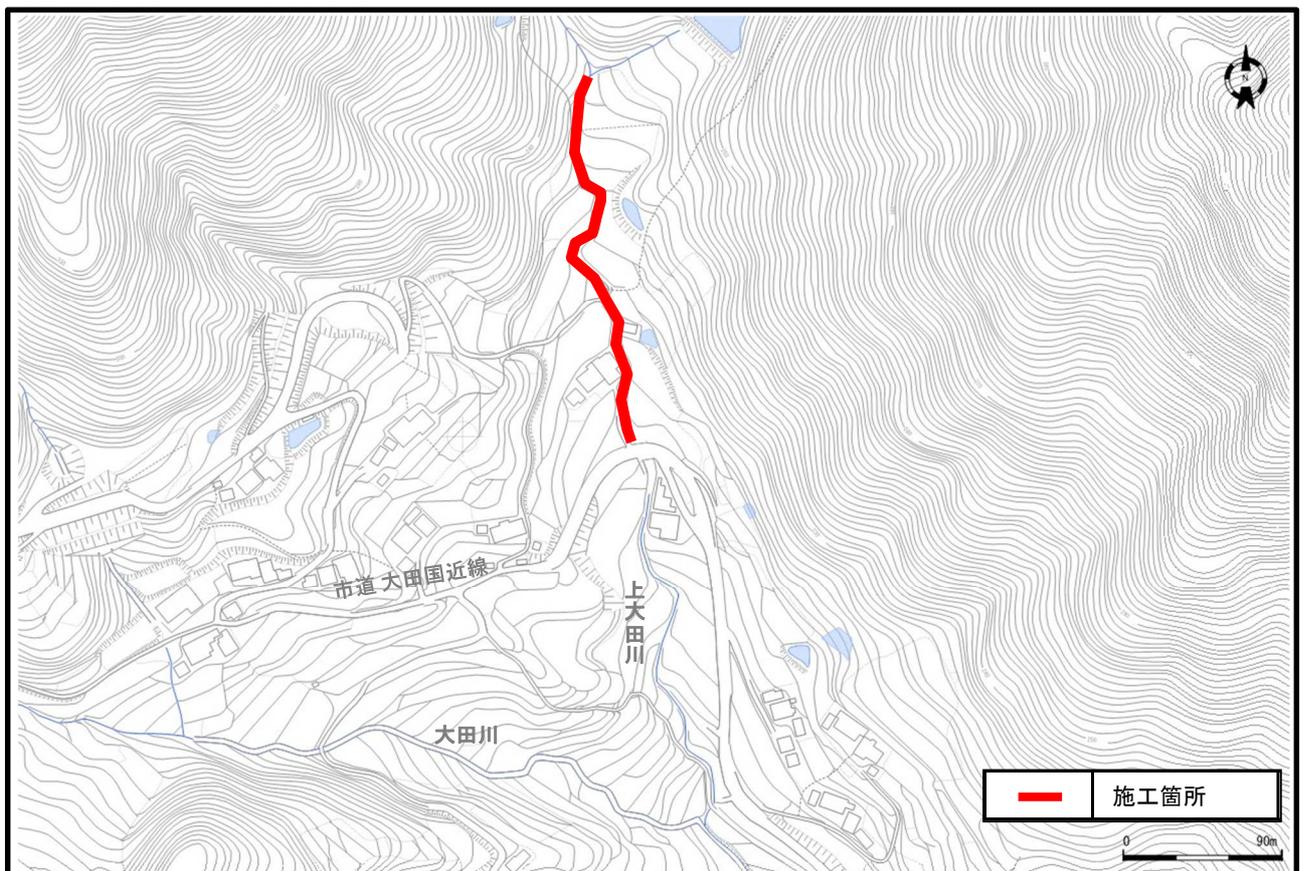
令和7年度 土木施設災害復旧事業
安芸津地区災害復旧工事(7-4)

位置図

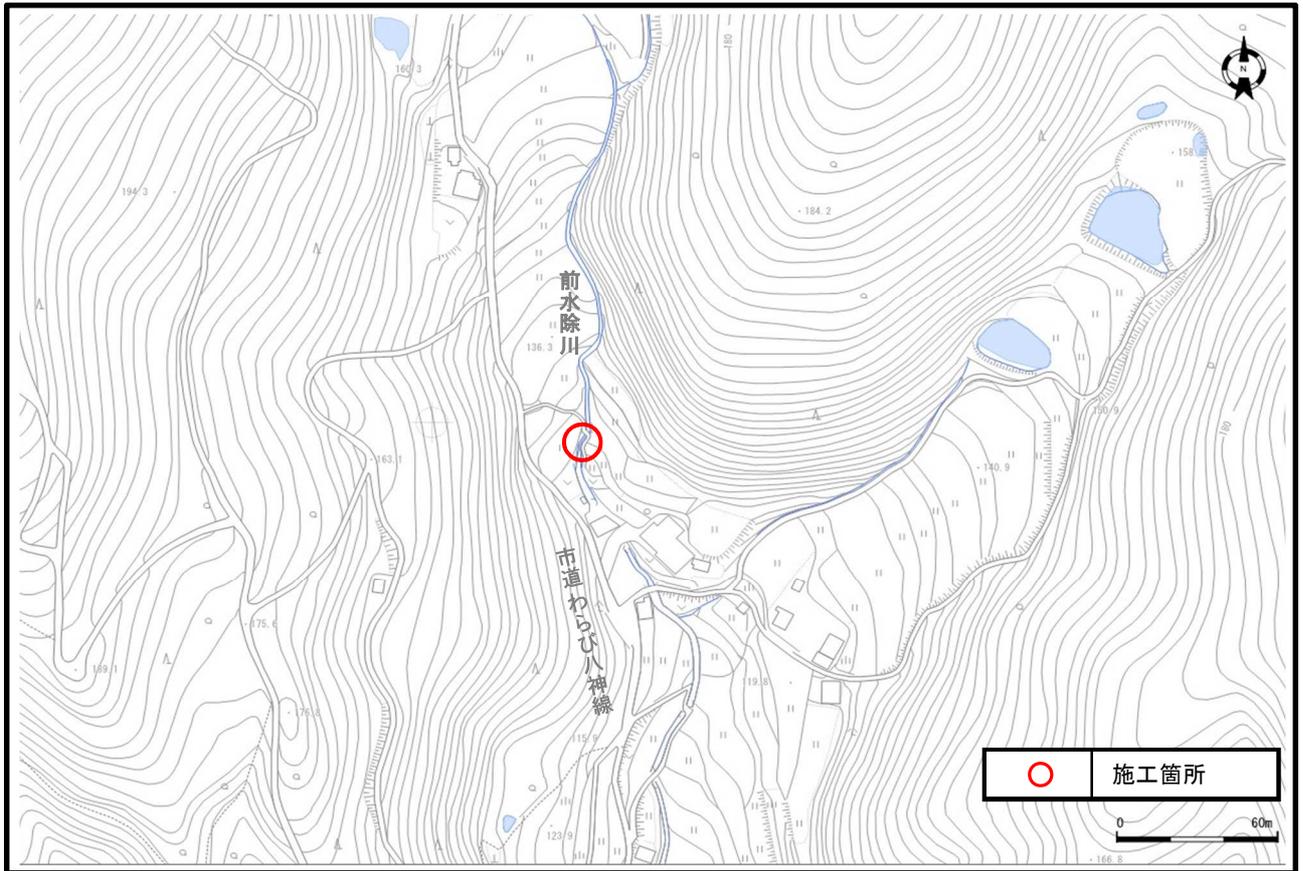
広域図



詳細図(A-1 上大田川)



詳細図(B-1 前水除川)



特記仕様書

(安芸津地区災害復旧工事 (7-4))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム (発注者指定型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法
10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法
11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
12. 法定外の労災保険の付保
13. 週休2日適用工事等
14. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 用地
 - (1) 現場の復旧
 - (2) 借地
2. 公害対策
 - (1) 水替・流入防止施設
 - (2) 濁水・湧水処理
3. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
4. 工事用道路
 - (1) 仮設道路
5. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
6. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
7. その他
 - (1) 支給・貸与品

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工

5. 概算数量方式（法面整形工・法面工）
6. すりつけ工
7. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにおいては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領

による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(発注者指定型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(発注者指定型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広

島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率=工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値(%)=真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- (1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費
(宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。)
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
 - 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象費(労働者送迎費、宿泊費、借上げ費)の割合【土木施設災害復旧事業：11.84%】
 - 2) 現場管理費に占める実績変更対象費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合【土木施設災害復旧事業：1.38%】

- (3) 受注者は、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。なお、実施計画書には根拠となる資料を添付すること。
- (4) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。
- (6) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- (7) 受注者から提出された資料に疑義の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法

建設資材及び仮設材については、調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達をせざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票の写し等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

「調達地域等」とは、建設資材にあつては、広島県土木工事設計資材単価表及び広島県農林土木用資材単価表で示す地区、又は地区の指定がない場合は広島県内を言い、仮設材にあつては、土木工事標準積算基準書（広島県）第X編 参考資料 第2章 工事費の積算 1)間接工事費 1)-1共通仮設費 1 運搬費

(4)リース器材 の運搬で示す仮設材が所在すると推定される場所又は大手リース業者基地等をいう。

11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

12. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

13. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

14. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計

画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	JIS製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	JIS製品以外
	コンクリートブロック	JIS製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

第3章 施工条件

1. 用地

(1) 現場の復旧

工事用仮設道路として使用した土地は、原形に復旧すること。
農地を利用した場合は、地権者と復旧後の状態について同意を得ること。

(2) 借地

あらかじめ市が依頼し承諾を得た土地があるため、次の条件により借地すること。

場所 安芸津町大田1319-1, 1320-1, 1323
期間 工事終期まで
復旧方法 地権者等と協議による

2. 公害対策

(1) 水替・流入防止施設

内容 各施工箇所の掛樋工を施工することを見込んでいる

(2) 濁水・湧水処理

内容 濁水処理（仮締切）を施工することを見込んでいる

3. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

4. 工事用道路

(1) 仮設道路

安全施設 出入口に柵を設置すること。

工事後の処置 原形復旧

維持管理内容 随時粉じん防止の散水、路面補修のため補修材を必要とする場合は別途協議すること。（設計変更の対象とする）

5. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 557m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

6. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(施工箇所)	上大田川
(名称)	大地リサイクルセンター
(所在地)	東広島市西条町大沢字檜ノ村松坂山10175-89
(運搬距離)	4.1 k m

(施工箇所)	前水除川
(名称)	株式会社中岡建設リサイクルプラント
(所在地)	東広島市安芸津町木谷1218-7
(運搬距離)	5.4 k m

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は、上大田川 9.1 k m、前水除川 4.7 k m を見込んでいる。

7. その他

(1) 支給・貸与品

次のとおり支給品を使用すること。引渡し場所は資材置き場とする。

品名	簡易床板 (T-2)
数量	1号渡板工用：3枚 2号渡板工用：2枚 3号渡板工用：2枚 4号渡板工用：2枚 5号渡板工用：2枚
品名	角落し
数量	堤外水路工用：1枚 止壁工用：1枚
品名	台付鉄筋コンクリート管 (バイコン台付管)
数量	呼び径300,長さ2000：5本 呼び径500,長さ2000：3本
品名	円形ボックス
数量	呼び径300,長さ2000：3本
品名	硬質塩化ビニル管 (VP)
数量	呼び径200,長さ4000：2本
品名	差込式分水栓
数量	呼び径200：2個
品名	プレキャストU型側溝 1種
数量	150×150×600：50本 300×300×600：4本 450×450×600：10本
品名	プレキャストU型側溝 3種
数量	400×500×2000：3本
品名	角フリューム
数量	150, L=2000：6本 350, L=2000：8本
品名	グレーチング
数量	U字溝用450用横断 (T-2) L=1000：2枚 400用横断 (T-25) L=1000：5枚 集水柵用 (T-25) 700×700：2枚
品名	縞鋼板
数量	700×1000×3.2mm：1枚 700×500×3.2mm：2枚 800×770×3.2mm：2枚

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. 概算数量方式(法面整形工・法面工)

- (1) 本工事の法面整形工・法面工は、概略設計により算出した数量で積算を行っている。
- (2) 契約図面に基づき現地の照査を監督職員の立ち会いのもとに行い、図面の作成及び数量を算出し、発注者に提出すること。
- (3) 提出した図面について発注者の承諾を受けた後、この図面に基づいて施工を行うこと。
- (4) 発注者は、承諾した図面及び数量を基に、遅滞なく変更契約を行うものとする。

6. すりつけ工

すりつけ工は現地との整合を確認し、施工方法及び数量を事前に監督職員と協議すること。

7. 工事の確認(農地)

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

特記仕様書（施工箇所が点在する工事の積算） 【土木施設災害復旧事業】

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、工事箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

（１）工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

（ア）共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、主たる工種区分は、その工事全体の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積み上げる。

（イ）現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

（２）一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は（１）の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額（P）＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

工事箇所 A:

A1 上大田川

工事箇所 B:

B1 前水除川

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	上大田川			
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m3	560	レベル4
盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土		m3	120	レベル4
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(切土部)	土砂	m2	320	レベル4
法面整形(盛土部)	土砂	m2	280	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	300	レベル4
残土等処分		m3	300	レベル4
法覆護岸工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
埋戻し		式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリートブロック基礎	ck=18N/mm ² , B430 H250	m	69	レベル4
コンクリートブロック積	粗面ブロック	m ²	232	レベル4
足場		式	1	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m ³	121	レベル4
天端コンクリート	ck=18N/mm ²	m	64	レベル4
護岸付属物工		式	1	レベル3
1号小口壁工	ck=18N/mm ² W=300 H=3770	箇所	1	レベル4
7号小口壁工	ck=18N/mm ² W=300 H=1130	箇所	1	レベル4
植生工		式	1	レベル3
種子散布		m ²	310	レベル4
張芝	ワラ芝	m ²	280	レベル4
帯工	1号帯工	式	1	レベル2
護岸付属物工		式	1	レベル3
横帯コンクリート	ck=18N/mm ²	m ³	24	レベル4
足場		式	1	レベル4
流路付属物設置工		式	1	レベル2
底張工		式	1	レベル3
均しコンクリート	ck=18N/mm ²	m ³	4	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
底張コンクリート	ck=18N/mm2	m3	11	レベル4
型枠	一般型枠	式	1	レベル4
目地板	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m2	2	レベル4
渡板工		式	1	レベル3
1号渡板工	T-2用 L=5.9m	式	1	レベル4
2号渡板工	T-2用 L=5.1m	式	1	レベル4
3号渡板工	T-2用 L=5.9m	式	1	レベル4
4号渡板工	T-2用 L=6.0m	式	1	レベル4
5号渡板工	T-2用 L=5.1m	式	1	レベル4
取水施設工		式	1	レベル2
側溝工		式	1	レベル3
堤外水路工	300×300	m	5	レベル4
止壁工	ck=18N/mm2	箇所	1	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	据付 管径300mm	m	18	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	据付 管径500mm	m	6	レベル4
暗渠排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径200mm	m	7	レベル4
暗渠排水管	ポリエチレン管 1種 呼び径40mm	m	220	レベル4
プレキャストU型側溝	鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 150[150×150×600]	m	30	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
プレキャストU型側溝	鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 300B[300×300×600]	m	2	レベル4
プレキャストU型側溝	鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 450[450×450×600]	m	6	レベル4
プレキャストU型側溝	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 400B[400×500×2000]	m	5	レベル4
プレキャストU型側溝	角フリューム150	m	11	レベル4
プレキャストU型側溝	角フリューム350	m	16	レベル4
縦排水路	600×400	式	1	レベル4
集水柵工		式	1	レベル3
集水柵1	700×700×H700 ck=18N/mm ²	箇所	1	レベル4
集水柵2	700×700×H1150 ck=18N/mm ²	箇所	1	レベル4
集水柵3	700×700×H800 ck=18N/mm ²	箇所	1	レベル4
集水柵7	700×700×H1050 ck=18N/mm ²	箇所	1	レベル4
作業土工		式	1	レベル3
床掘り		式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル4
切欠部復旧	ck=18N/mm ²	式	1	レベル4
階段工		式	1	レベル3
階段工	N=4箇所	式	1	レベル4
付帯道路工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚150mm RC-40	m2	569	レベル4
コンクリート舗装	ck=18N/mm2 t=10cm	m2	569	レベル4
張コンクリート		式	1	レベル3
張コンクリート	ck=18N/mm2 t=7cm	m2	12	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し		m3	23	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	23	レベル4
殻処分	コンクリート殻	t	53	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
土留・仮締切工		式	1	レベル3
土のう		式	1	レベル4
仮水路工		式	1	レベル3
暗渠排水管		式	1	レベル4
仮設道復旧工		式	1	レベル1
道路土工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m3	190	レベル4
盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土		m3	250	レベル4
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(切土部)	土砂	m2	30	レベル4
法面整形(盛土部)	土砂	m2	100	レベル4
法面工		式	1	レベル2
植生工		式	1	レベル3
張芝	ワラ芝	m2	130	レベル4
法覆護岸工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	砂質土	式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式	1	レベル3
コンクリートブロック基礎	ck=18N/mm2, B430 H250	m	58	レベル4
コンクリートブロック積	滑面ブロック	m2	165	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m3	64	レベル4
天端コンクリート	ck=18N/mm2	m	58	レベル4
護岸付属物工		式	1	レベル3
小口止	ck=18N/mm2 W=300 H=4150	箇所	3	レベル4
小口止	ck=18N/mm2 W=300 H=2050	箇所	2	レベル4
小口止	ck=18N/mm2 W=300 H=2150	箇所	1	レベル4
雑工		式	1	レベル3
取付工	練石積 控え350	m2	28	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	前水除川			
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	礫質土	m3	4	レベル4
盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土		m3	0.7	レベル4
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(切土部)	ブロック背面部	式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	礫質土	m3	6	レベル4
残土等処分		m3	6	レベル4
法覆護岸工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	礫質土	式	1	レベル4
埋戻し	土砂	式	1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式	1	レベル3
コンクリートブロック基礎	ck=18N/mm ² ,B430 H250 基礎碎石有り	m	3	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリートブロック積	控35cm ck=18N/mm2	m2	6	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m3	3	レベル4
天端コンクリート	ck=18N/mm2	m	3	レベル4
調整コンクリート	ck=18N/mm2	m	3	レベル4
護岸付属物工		式	1	レベル3
1号小口止	ck=18N/mm2 W=300 H=1910	箇所	1	レベル4
2号小口止	ck=18N/mm2 W=300 H=2040	箇所	1	レベル4
雑工		式	1	レベル3
すりつけ工	練石積 控え350	m2	5	レベル4
底張コンクリート	ck=18N/mm2	m3	0.6	レベル4
均しコンクリート	ck=18N/mm2	m3	0.3	レベル4
ふとんかご	120×200×50cm	m	2	レベル4
付帯道路工		式	1	レベル2
コンクリート舗装工		式	1	レベル3
路盤工	RC-40 t=10cm	m2	6	レベル4
コンクリート舗装	ck=18N/mm2 t=10cm	m2	6	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3

工事数量総括表

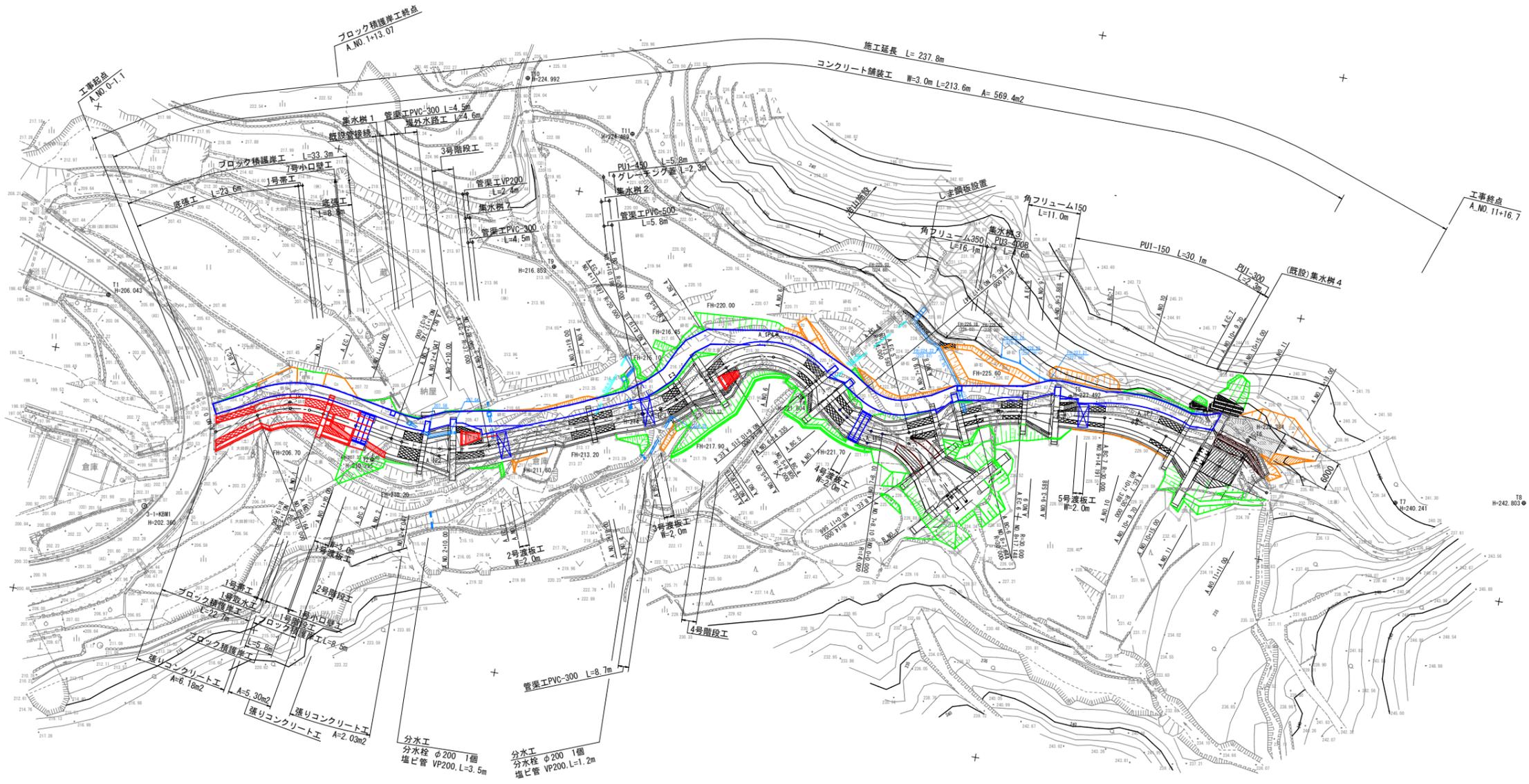
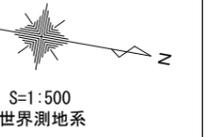
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート管撤去	HP 150	m	2	レベル4
コンクリート構造物取壊し	既設舗装版	m ³	0.7	レベル4
舗装版切断	Co t=100mm	式	1	レベル4
コンクリート取壊し運搬	無筋	m ³	0.7	レベル4
コンクリート取壊し処理	無筋	t	2	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
工事用道路工		式	1	レベル3
仮設道路設置・撤去		式	1	レベル4
土留・仮締切工		式	1	レベル3
土のう		式	1	レベル4
水替工		式	1	レベル3
ポンプ排水		式	1	レベル4
暗渠排水管		式	1	レベル4
汚濁防止工		式	1	レベル3
濁水処理工		式	1	レベル4
* * 直接工事費 * *				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

平面図

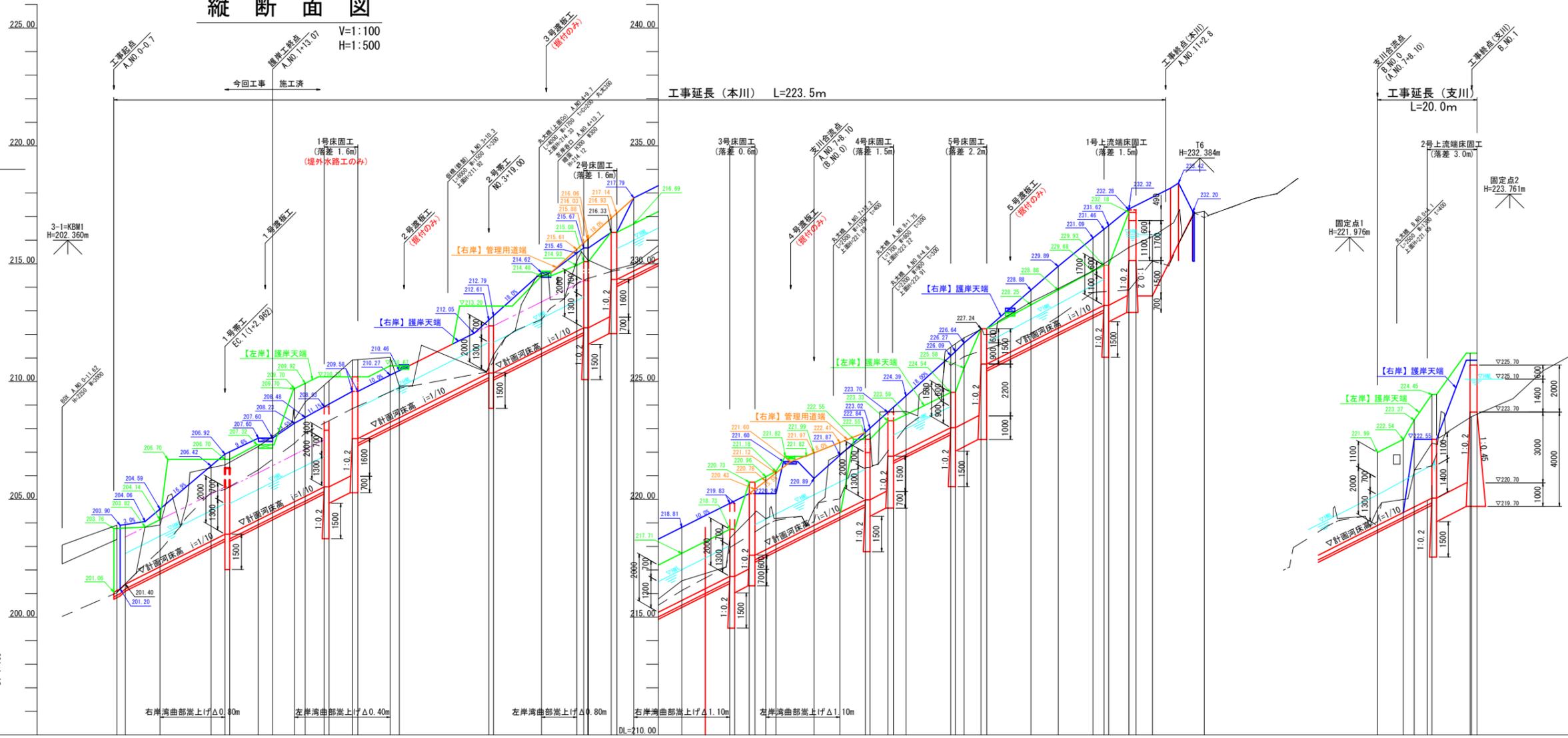
S=1:500



大田川水系上大田川地区			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	1 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

縦断面図

V=1:100
H=1:500



凡例

- 現況地盤線
- - - 最深河床高
- 計画河床高
- ▽ 計画高水位
- 計画右岸護岸天端高
- 計画左岸護岸天端高
- 計画右岸管理用道路高

計画河床勾配		i=1/10	
計画護岸高	右岸	203.93	204.59
	左岸	203.78	204.14
高さ高	右岸	0.45	1.20
	左岸	1.48	2.07
計画高水位		202.70	203.44
計画河床高		201.40	202.14
最深河床高		201.04	201.83
地盤高		203.90	203.91
追加距離		0.000	1.800
単距離		0.000	1.800
測点		A.NO.0	A.NO.1
曲線		IP.1 IA=41-36-36 R=19.000 TL=7.219 CL=13.798 SL=1.325	IP.2 IA=31-27-48 R=37.000 TL=10.422 CL=20.318 SL=1.440

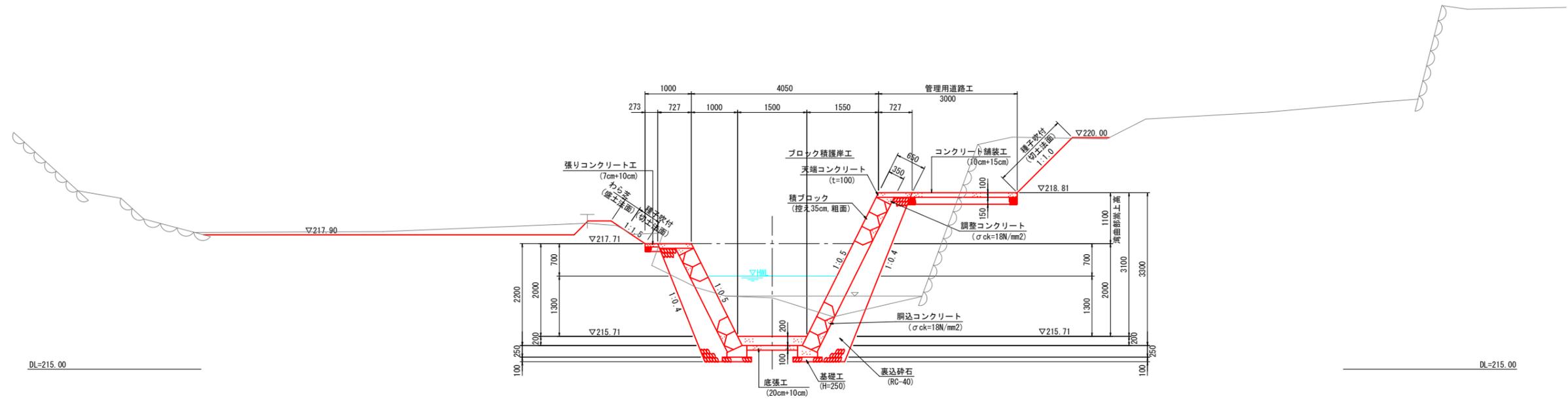
査定設計基準点 T.1, T.3, T.4, T.6による
標高差 (TP標高 - 査定標高)
4.675 ~ 4.691 平均 +4.684m
(TP標高) = (査定方向) + 4.680m

大田川水系上大田川地区	工事名	令和年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	縦断面図	
作成年月日		
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号 2 / 36
会社名		
事業者名		東広島市

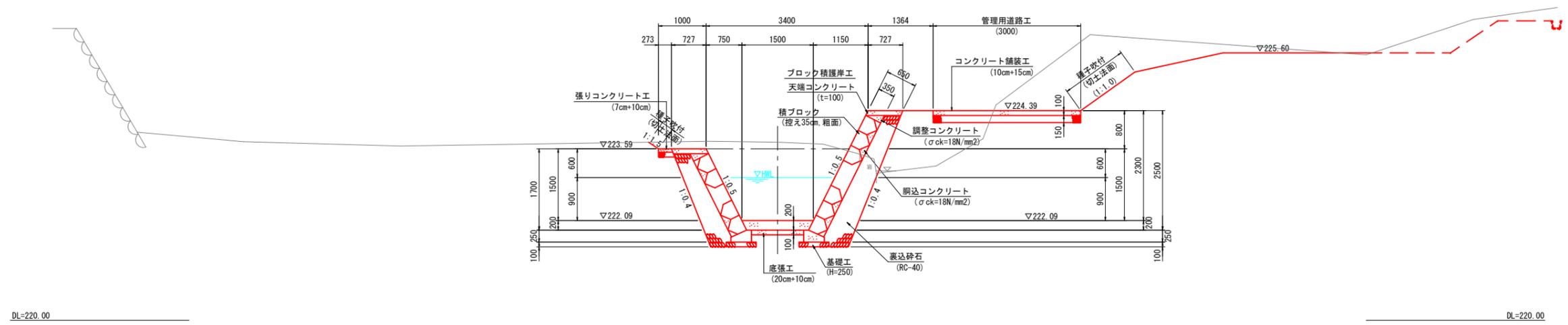
標準断面図

S=1:50

A_NO. 6付近



A_BC. 6 (A_NO. 8+7. 644) 付近



大田川水系上大田川地区

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	3 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

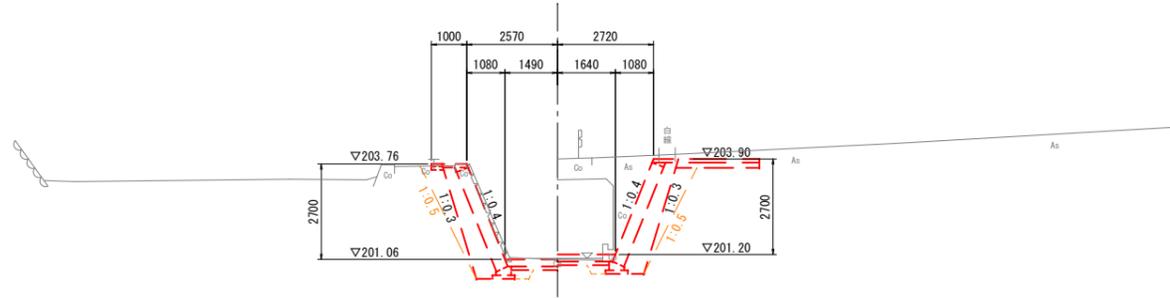
横断面図 (1/14)

S=1:100

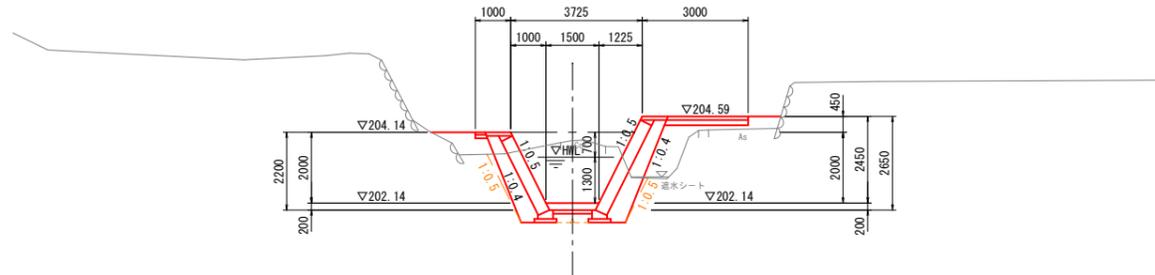
左岸

右岸

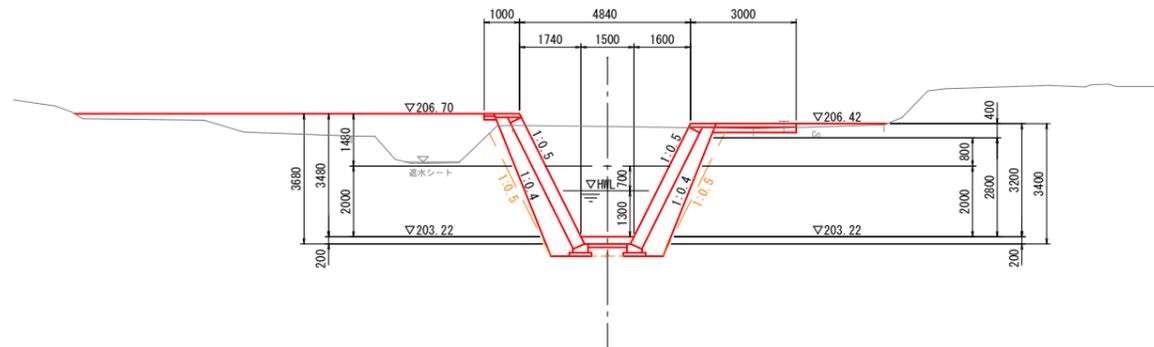
D=0.000
A_NO. 0
GH=203.90
FH=



D=9.164
A_BC. 1 (A_NO. 0+9.164)
GH=203.91
FH=202.14



D=10.836
A_NO. 1
GH=206.34
FH=203.22



記号	護岸工数量
C1	6.6
B	-
I1	-
I2	-
K	1.5
Fu	2.1
SL	3.12 3.12
Gv	1.5 1.5
C(Co)	2.8

記号	護岸工数量
C1	7.5
B	2.5
I1	-
I2	-
Fu	0.6
SL	2.46 2.96
Gv	1.1 1.4
C(Co)	0.4

記号	護岸工数量
C1	18.6
B	7.3
I1	-
I2	-
Fu	1.5
SL	4.11 3.80
Gv	2.1 1.9
C(Co)	0.2

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	基面修正		K
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 0 ~ A_NO. 1

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (1/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

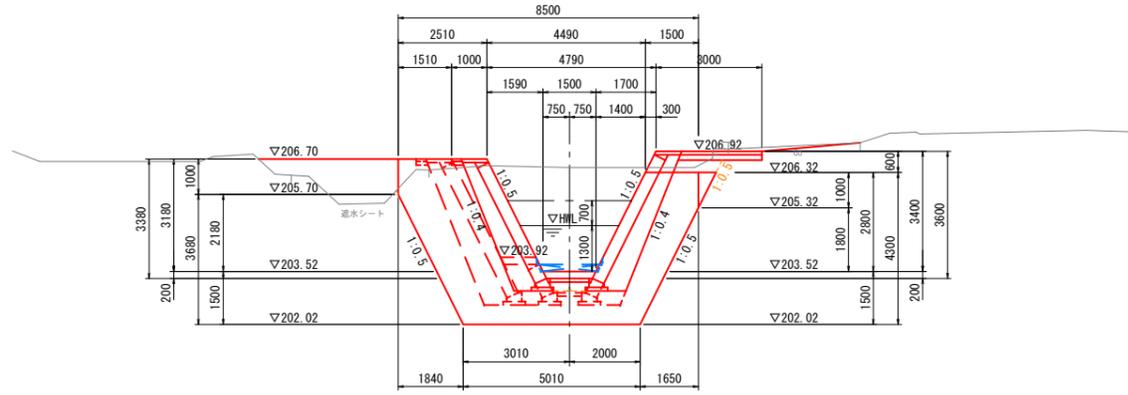
横断面図 (2/14)

S=1:100

D=2.962
A_EC.1 (A_NO. 1+2.962)
GH=206.46
FH=203.52

左岸

1号帯工



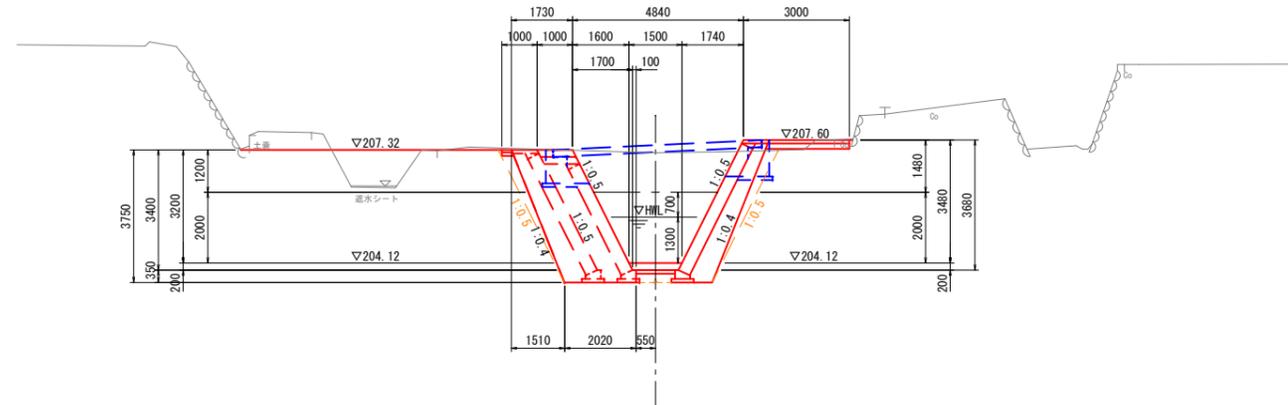
右岸

記号	下護岸工数量	帯工数量	上護岸工数量
C1	17.5	32.2	22.9
B	4.0	3.8	3.4
I1	-	-	-
I2	-	-	-
Fu	1.5	0.3	1.7
SL	3.78	4.02	0.67
Gv	1.9	2.0	0.2
C(Co)	0.3	0.3	0.3

DL=200.00

DL=200.00

D=7.038
A_NO. 1+10.00
GH=207.24
FH=204.12



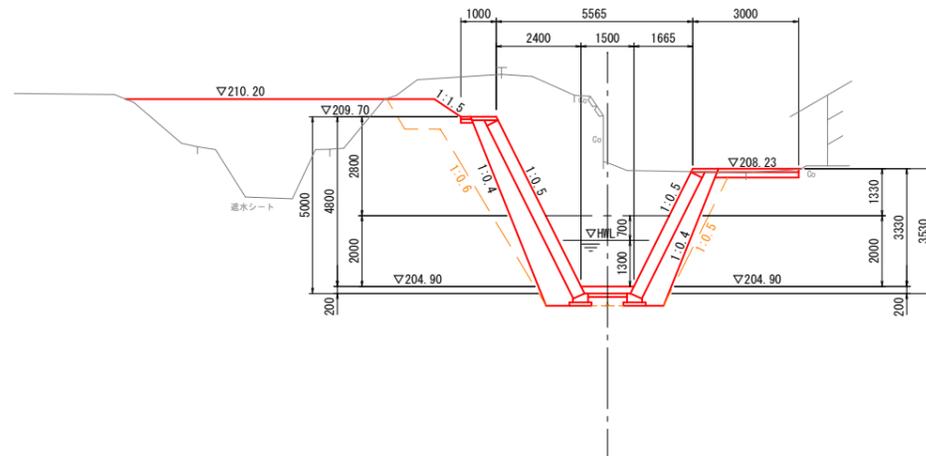
私道橋 W=3.0m

記号	護岸工数量
C1	23.7
B	2.0
I1	-
I2	-
Fu	1.7
SL	4.11
Gv	2.1
C(Co)	0.1

DL=200.00

DL=200.00

D=7.742
A_BC.2 (A_NO. 1+17.742)
GH=208.40
FH=204.90



記号	護岸工数量
C1	32.9
B	11.0
I1	-
I2	0.9
Fu	4.9
SL	5.59
Gv	3.2
C(Co)	1.0

DL=200.00

DL=200.00

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_EC.1 ~ A_BC.2

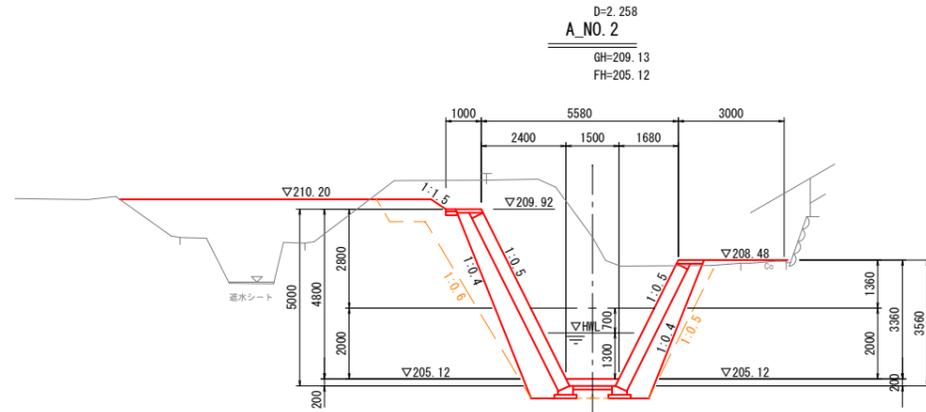
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (2/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	5 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

横断面図 (3/14)

S=1:100

左岸

右岸

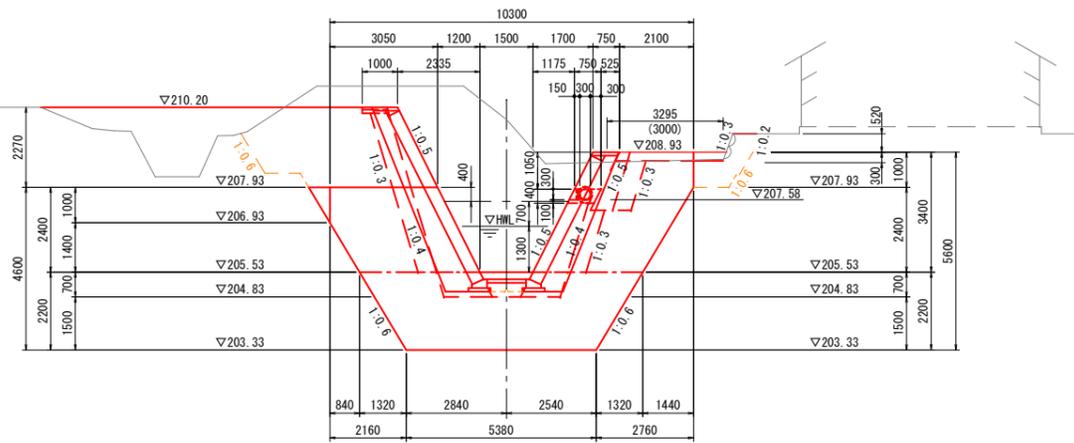


記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	-
I2	0.5
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

A_NO. 2+4.047

GH=205.53
FH=205.53

1号垂直壁工

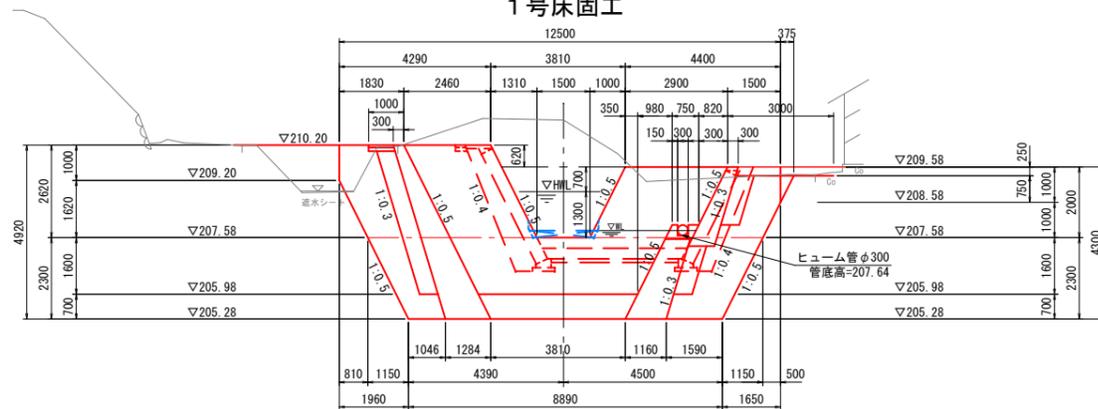


記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	-
I2	-	-	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

A_NO. 2+10.00

D=10.000
GH=210.91
FH=207.58
205.98

1号床固工



記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	-
I2	-	-	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 2 ~ A_NO. 2+10.0

工事名	令和5年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (5-5)		
図面名	横断面図 (3/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

DL=200.00

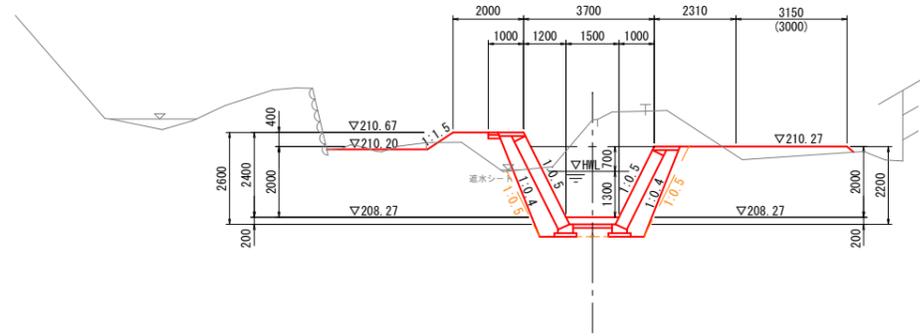
横断面図 (4/14)

S=1:100

D=8.060
A_EC. 2 (A_NO. 2+18.060)
GH=211.03
FH=208.27

左岸

右岸

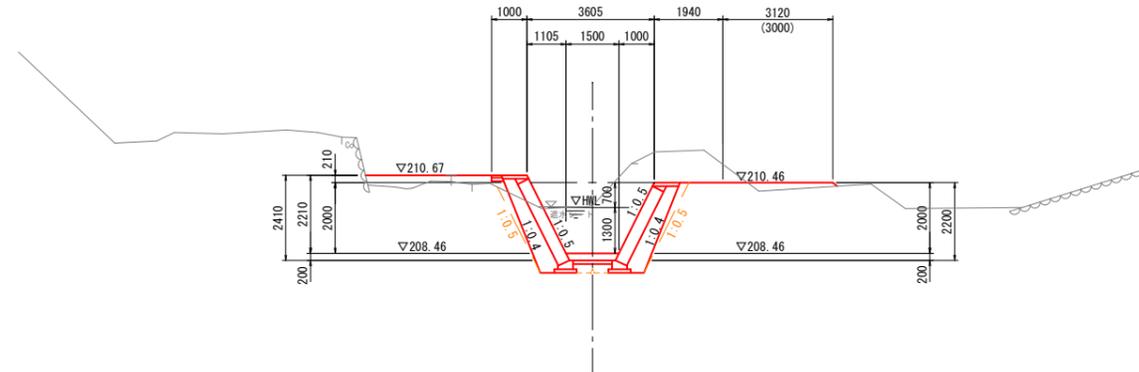


DL=205.00

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	0.3
I2	0.5
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=205.00

D=1.940
A_NO. 3
GH=209.81
FH=208.46



DL=205.00

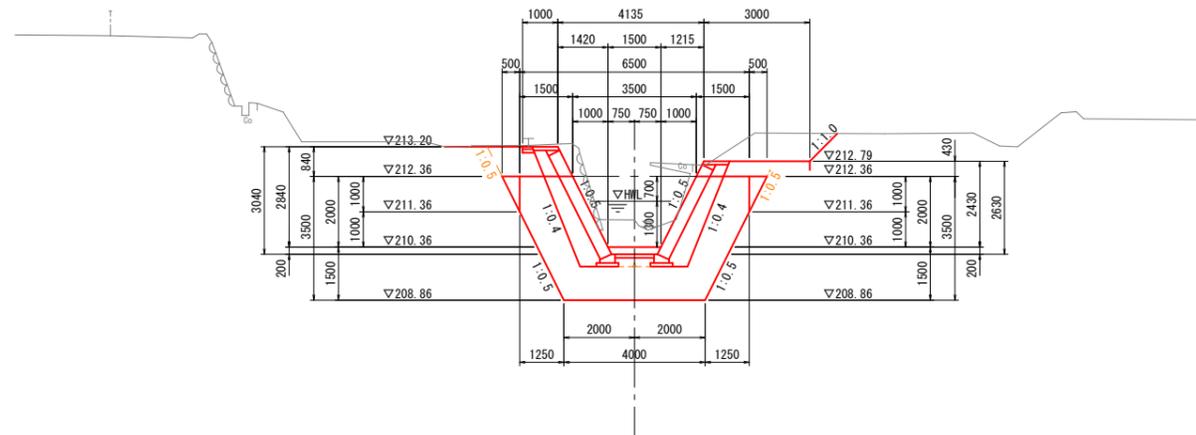
記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	-
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=205.00

里道橋 W=2.0m

D=20.000
A_NO. 4
GH=211.13
FH=210.36

2号帯工



DL=205.00

記号	護岸工数量	帯工数量
C1	-	-
B	-	-
I1	1.1	1.1
I2	-	-
Fu	-	-
SL	-	-
Gv	-	-
C(Co)	-	-

DL=205.00

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_EC. 2 ~ A_NO. 4

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (4/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	7 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

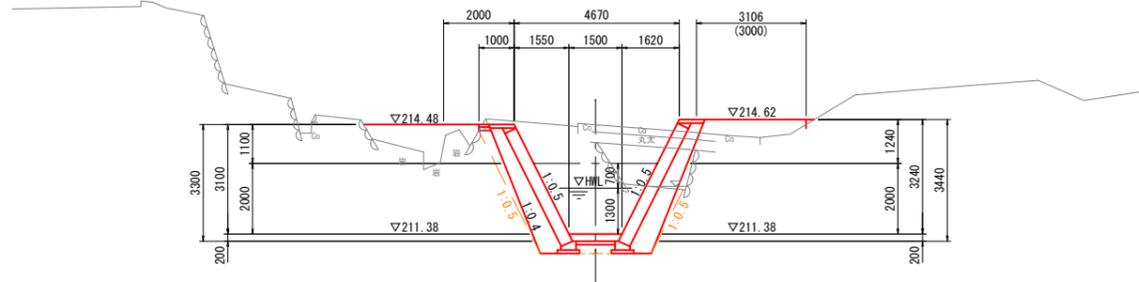
横断面図 (5/14)

S=1:100

左岸

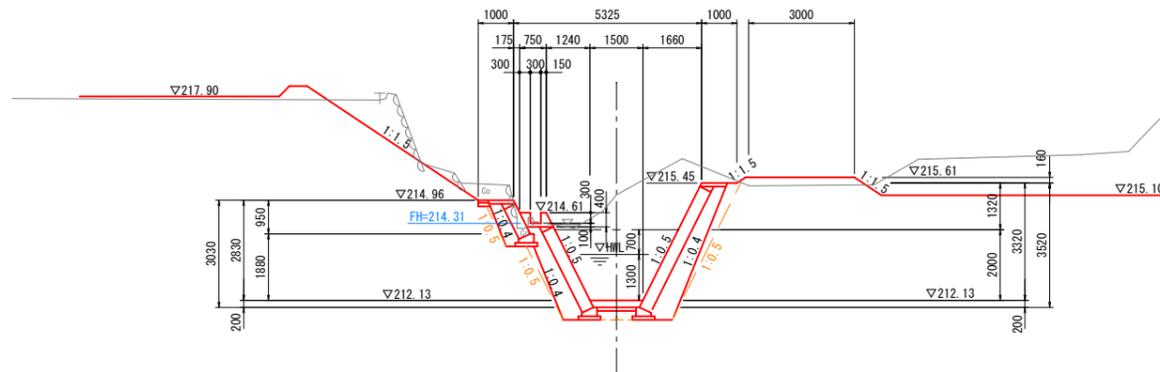
右岸

D=10.198
A_BC.3 (A_NO.4+10.198)
GH=214.47
FH=211.38



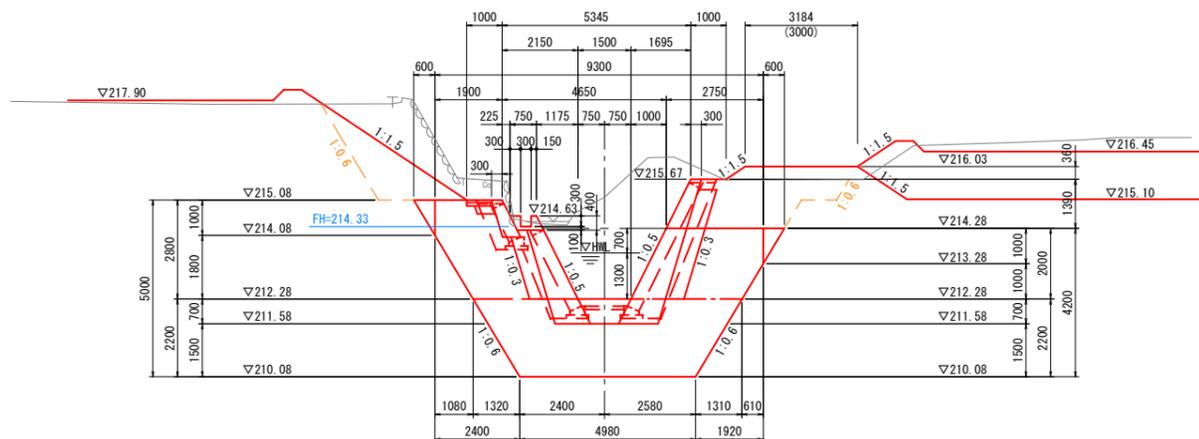
里道橋 W=2.0m

D=7.499
A_EC.3 (A_NO.4+17.697)
GH=215.12
FH=212.13



D=2.303
A_NO.5
GH=215.16
FH=212.28

2号垂直壁工



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	-
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	5.1
I2	1.4
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	4.9
I2	-	7.5	2.6
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_BC.3 ~ A_NO.5

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (5/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

DL=210.00

DL=210.00

DL=210.00

DL=210.00

DL=210.00

DL=210.00

横断面図 (6/14)

S=1:100

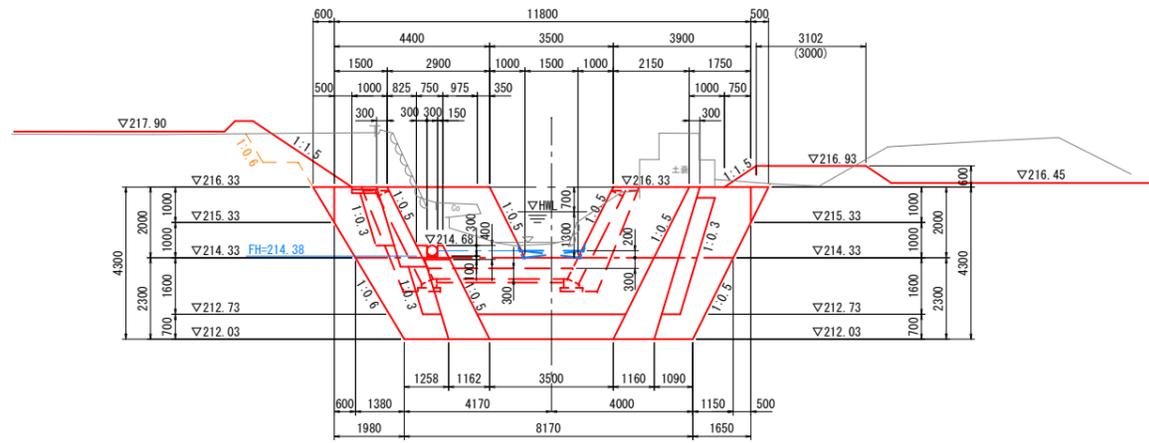
D=5.000
A_NO. 5+5.00

GH=214.72
FH=214.33
212.73

2号床固工

左岸

右岸



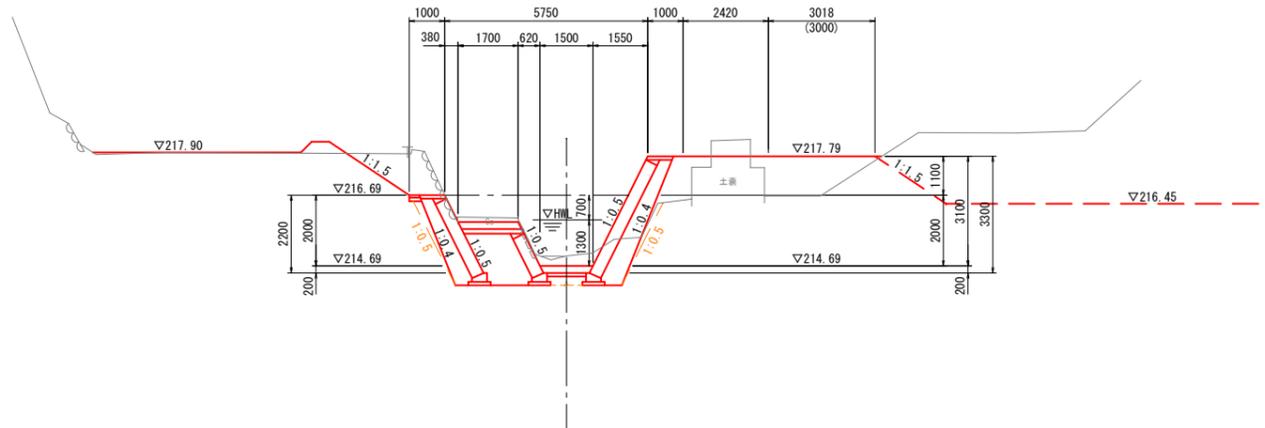
DL=210.00

記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	2.5	-	3.1
I2	2.0	4.5	1.4
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

DL=210.00

D=4.805
A_BC. 4 (A_NO. 5+9.805)

GH=214.97
FH=214.69



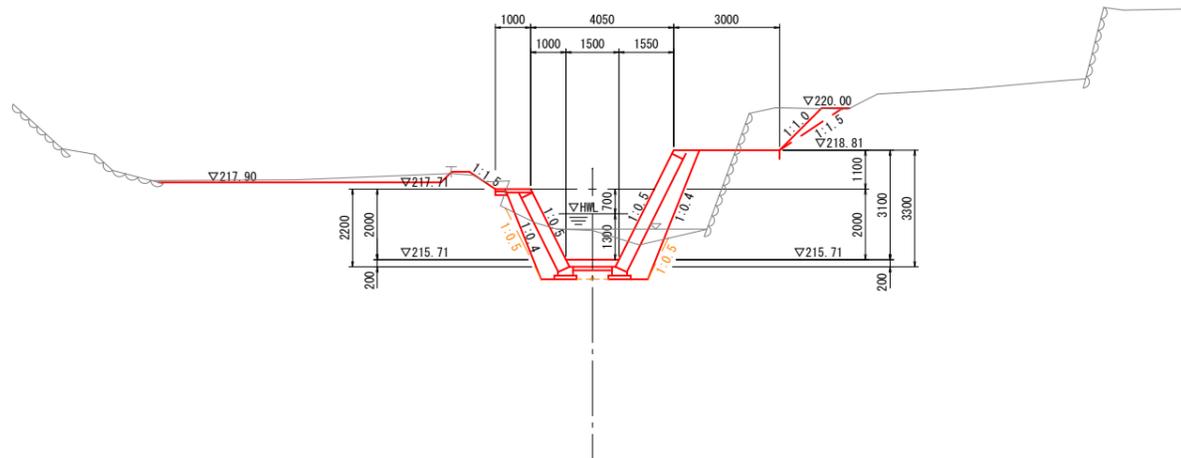
DL=210.00

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	2.1
I2	0.6
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=210.00

D=10.195
A_NO. 6

GH=216.54
FH=215.71



DL=210.00

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	2.2
I2	0.4
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=210.00

数量記号一覧表

工種	種別	規格, 細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 5+5.0 ~ A_NO. 6

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (6/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	9 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

横断面図 (7/14)

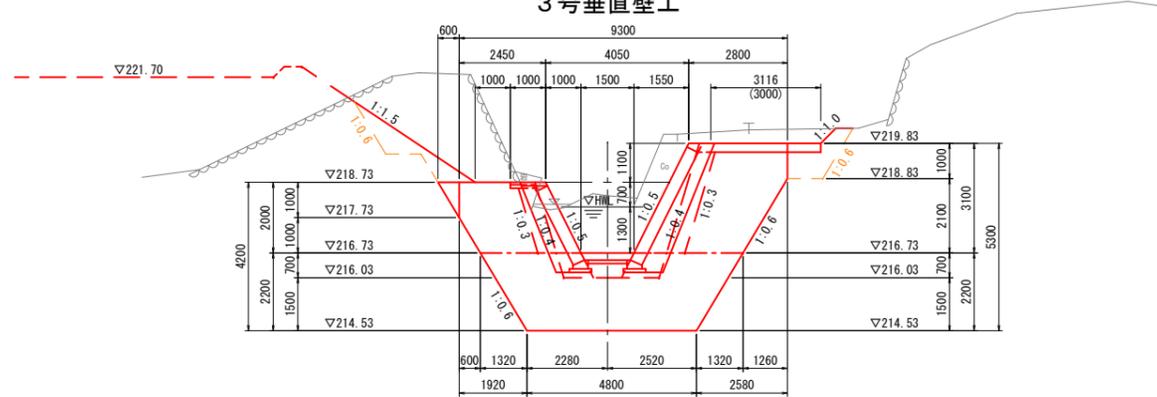
D=10.215 S=1:100
A_EC.4 (A_NO.6+10.215)

GH=218.35
FH=216.73

3号垂直壁工

左岸

右岸



記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	4.9	-	4.9
I2	-	4.9	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

DL=210.00

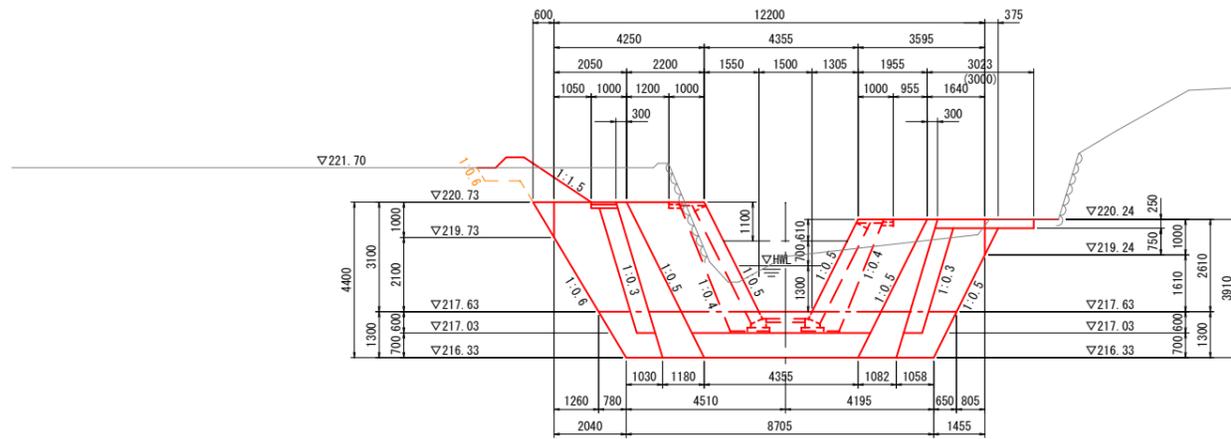
DL=210.00

A_NO.6+14.335

GH=217.63
FH=217.03

3号床固工

DL=215.00



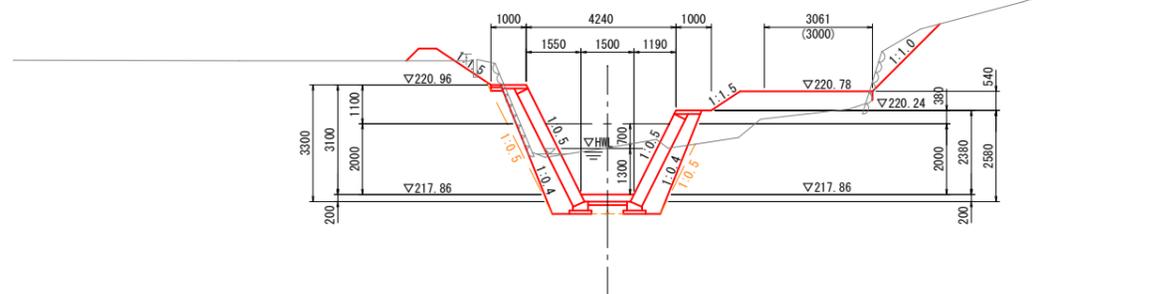
記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	1.8
I2	2.3	2.3	0.5
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

DL=215.00

A_BC.5 (A_NO.6+17.847)

D=7.632
GH=219.18
FH=217.86

DL=215.00



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	3.8
I2	1.8
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=215.00

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取捨工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_EC.4 ~ A_BC.5

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (7/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	10 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

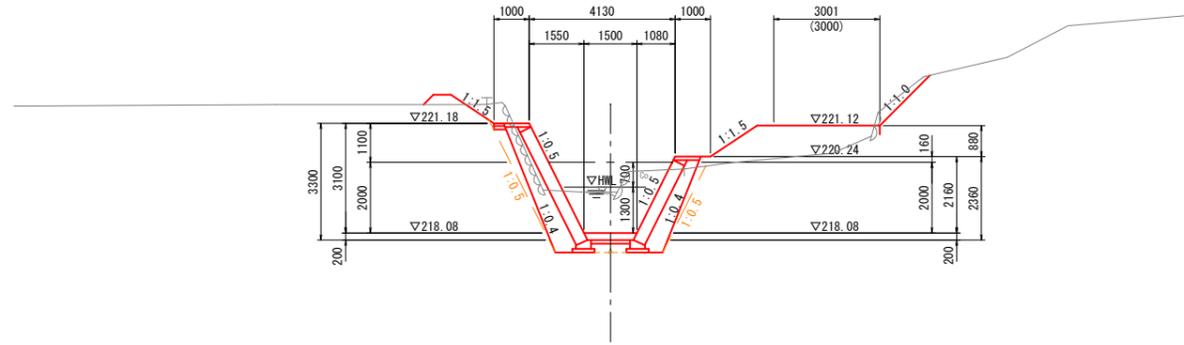
横断面図 (8/14)

S=1:100

左岸

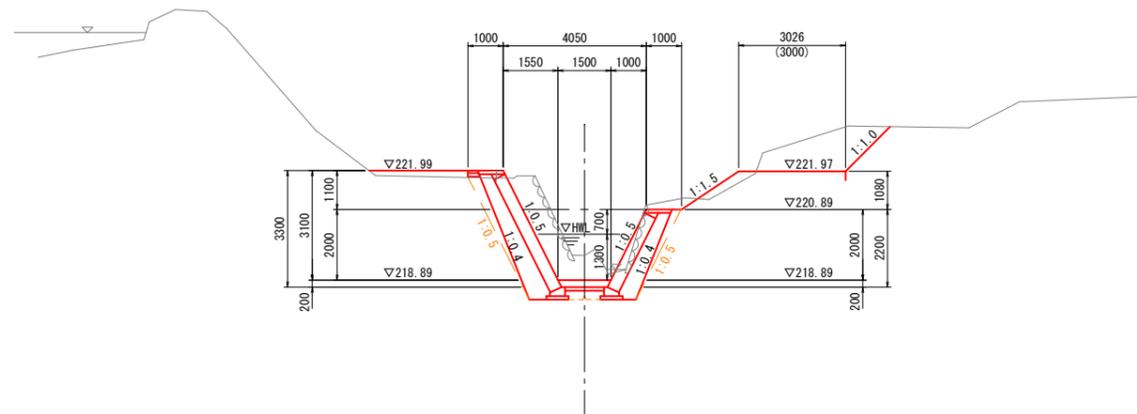
右岸

D=2.153
A_NO. 7
GH=219.19
FH=218.08

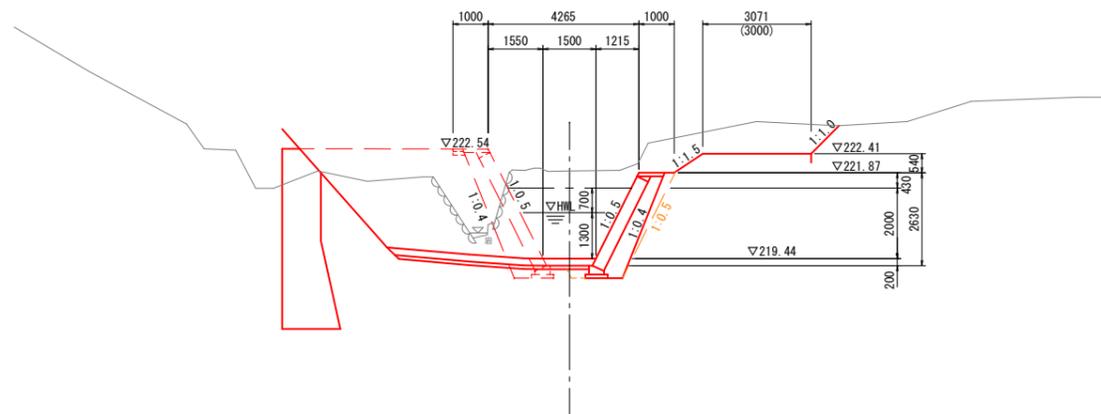


私道橋 W=2.0m

D=8.100
A_NO. 7+8.10 (B_NO. 0)
GH=219.59
FH=218.89



D=5.493
A_EC. 5 (A_NO. 7+13.593)
GH=221.92
FH=219.44



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	2.8
I2	2.3
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	2.3
I2	1.4
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	2.0
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 7 ~ A_EC. 5

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (8/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	11 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

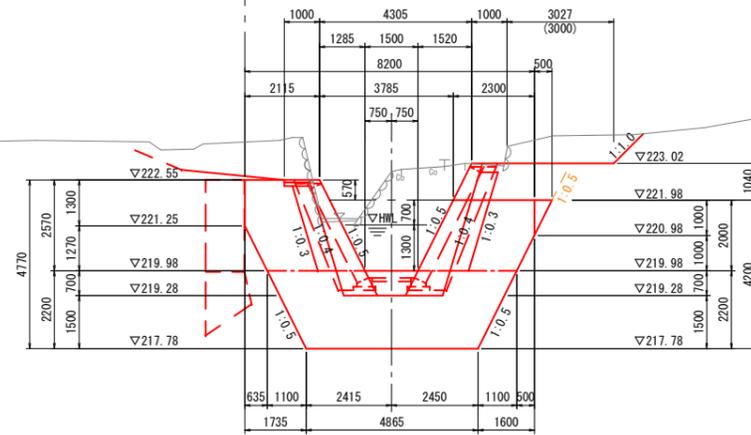
横断面図 (9/14)

S=1:100

左岸

右岸

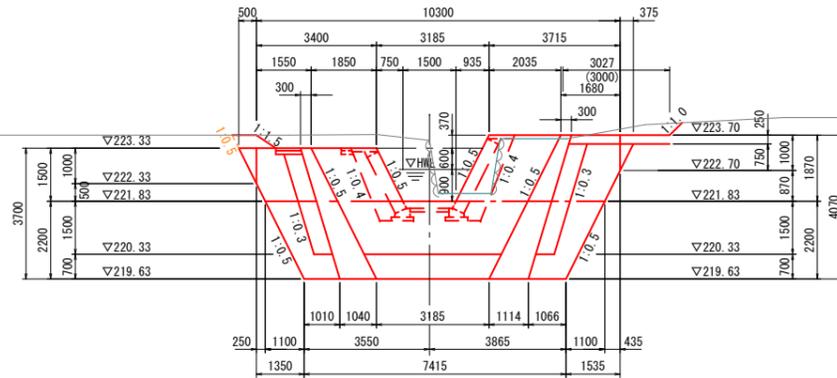
D=6.407
A_NO. 8
GH=222.79
FH=219.98
2号上流床固工
4号垂直壁工



記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	1.2	1.2	1.2
I2	-	-	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

A_NO. 8+ 3.80

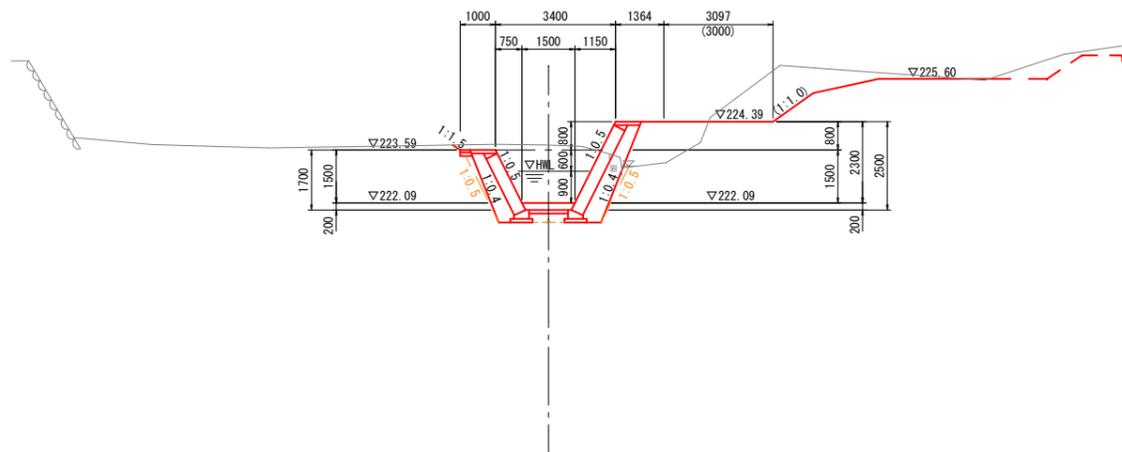
GH=221.83
FH=220.33
4号床固工



記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	0.5	0.5	1.2
I2	0.7	0.7	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

D=7.644
A_BC. 6 (A_NO. 8+7.644)

GH=223.73
FH=222.09



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	1.7
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 8 ~ A_BC. 6

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (9/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	12 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

横断面図 (10/14)

S=1:100

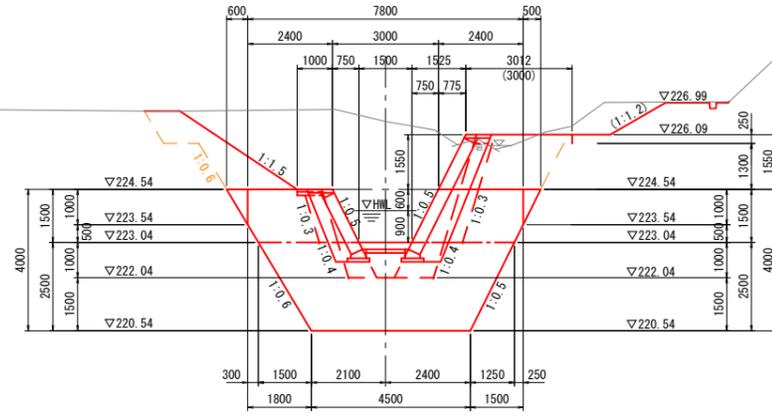
D=9.504
A_EC.6 (A_NO.8+17.148)

GH=226.46
FH=223.04

5号垂直壁工

左岸

右岸



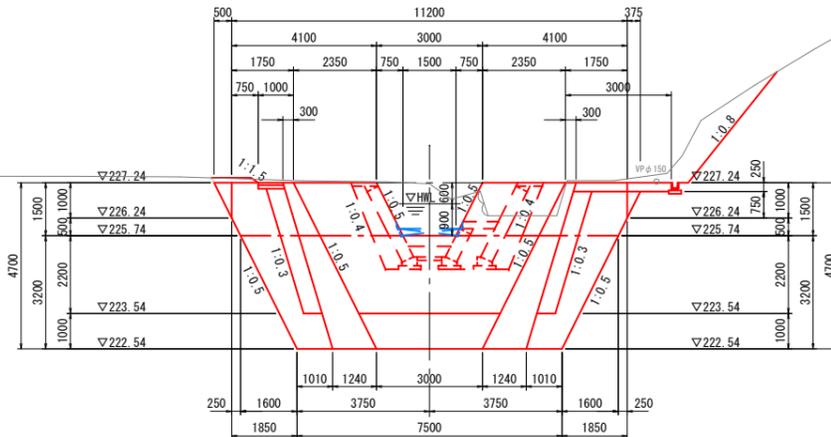
D=2.852
A_NO.9

GH=226.86
FH=223.23

A_NO.9+3.588

GH=225.74
FH=223.54

5号床固工



記号	護岸工数量	垂直壁工数量
C1	-	-
B	-	-
I1	5.8	1.8
I2	-	4.0
Fu	-	-
SL	-	-
Gv	-	-
C(Co)	-	-

記号	側壁工数量
C1	-
B	-
I1	1.8
I2	1.6
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	4.0	4.0	4.2
I2	0.2	0.2	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_EC.6~A_NO.9+3.588

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (10/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	13 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

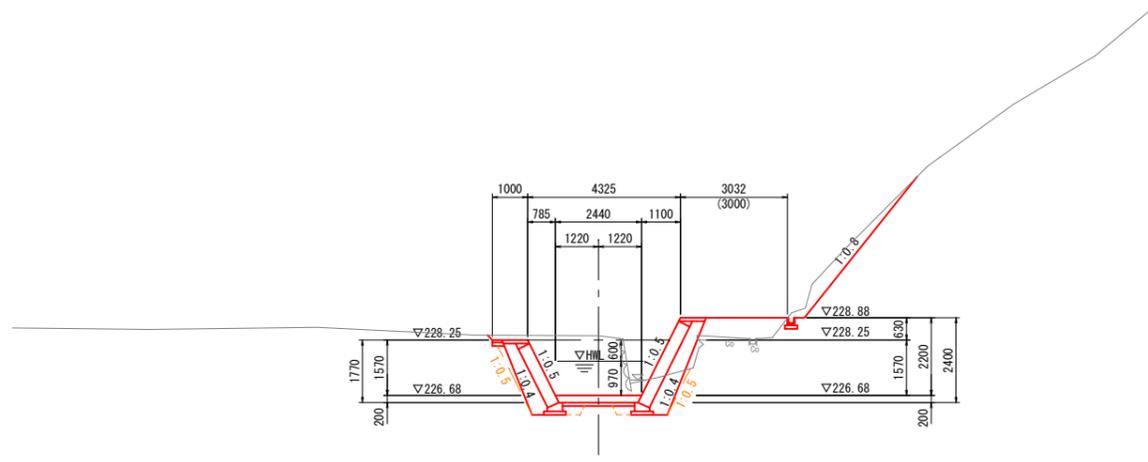
横断面図 (11/14)

S=1:100

D=14.191
A_BC.7 (A_NO.9+14.191)
GH=228.37
FH=226.68

左岸

右岸

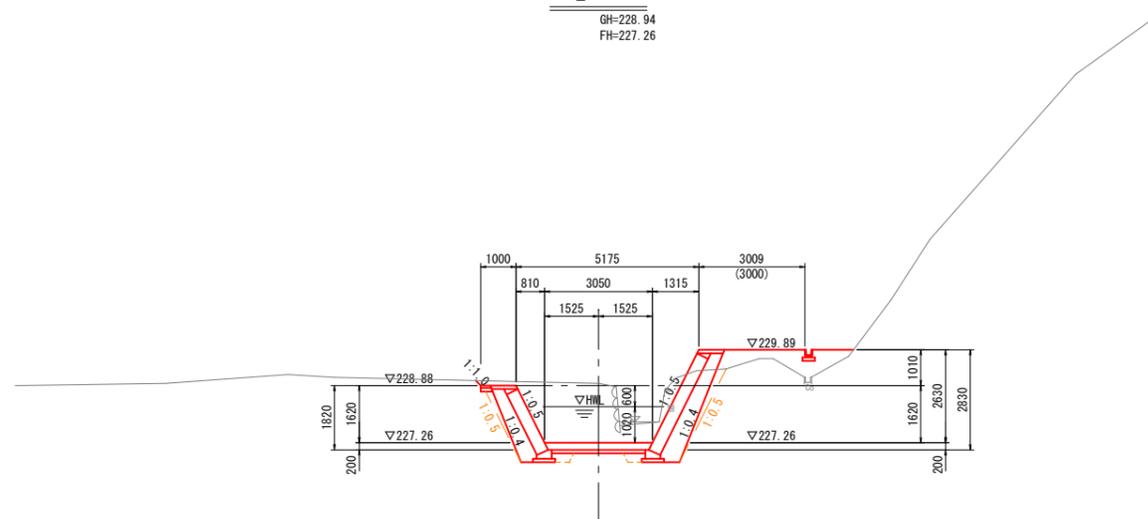


記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	5.3
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=225.00

DL=225.00

D=5.809
A_NO.10
GH=228.94
FH=227.26

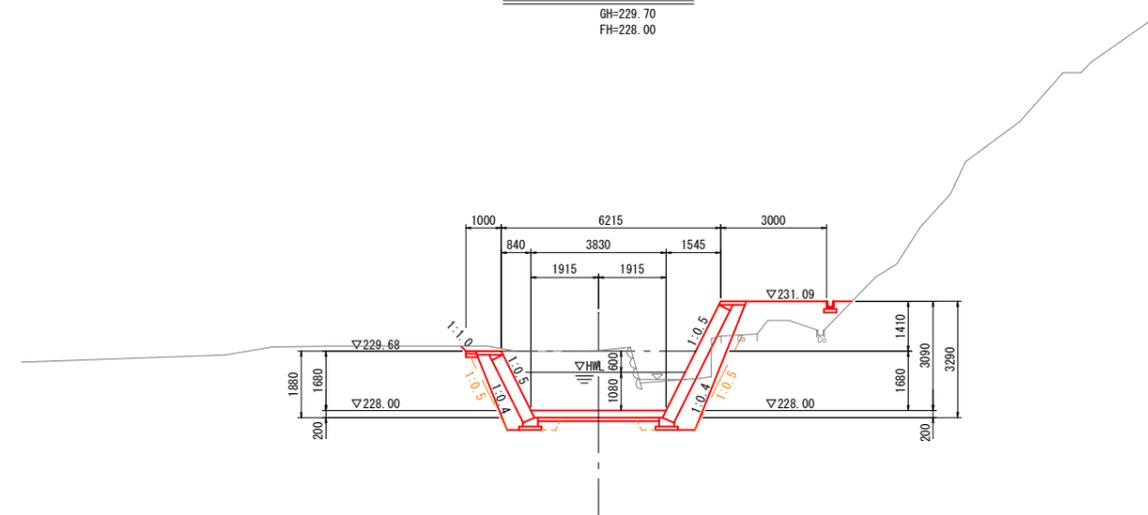


記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	0.2
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=225.00

DL=225.00

D=7.389
A_EC.7 (A_NO.10+7.389)
GH=229.70
FH=228.00



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	0.2
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

DL=225.00

DL=225.00

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_BC.7 ~ A_EC.7

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (11/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	14 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

横断面図 (12/14)

S=1:100

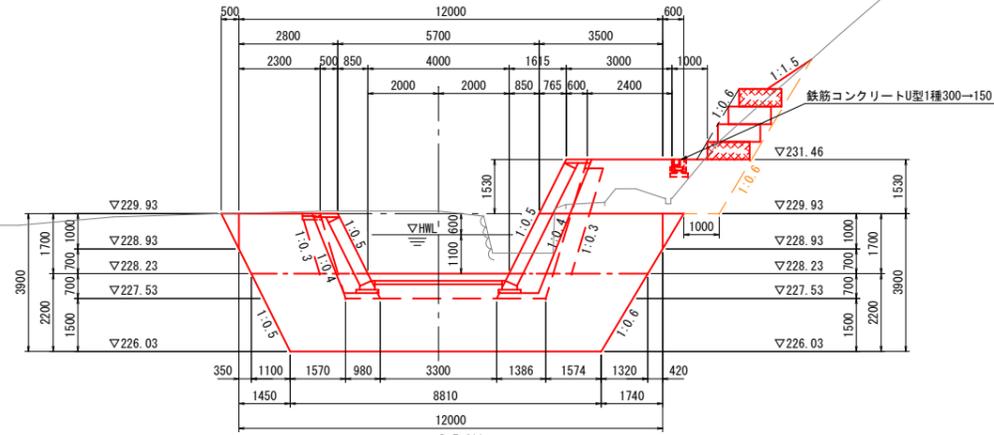
左岸

右岸

A_NO. 10+9.70

GH=228.23
FH=228.23

1号上流端垂直壁工

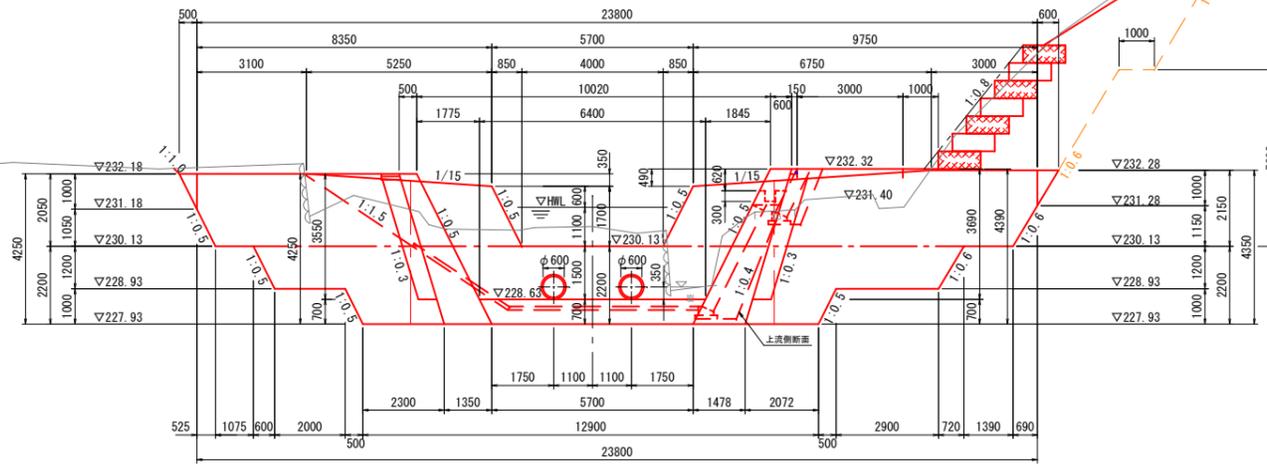


記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	-
I2	-	1.5	-
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

A_NO. 10+15.00

GH=230.69
FH=230.13
228.63

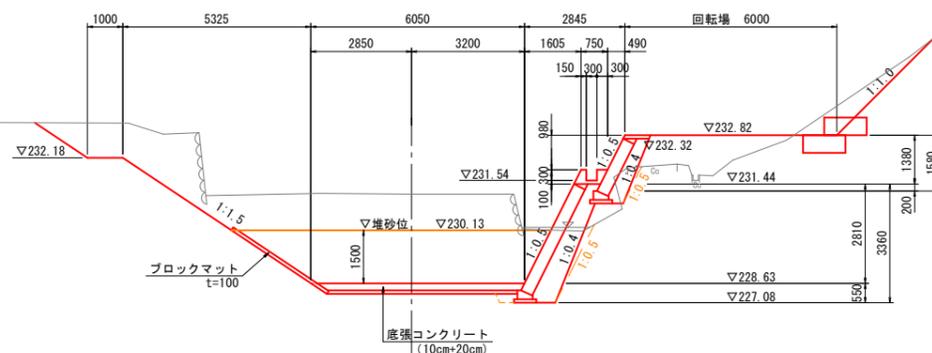
1号上流端床固工



記号	側壁工数量	床固工数量	護岸工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	5.1
I2	-	6.7	1.3
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

A_NO. 11

GH=231.15
FH=228.63



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	12.6
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 10+9.70~A_NO. 11

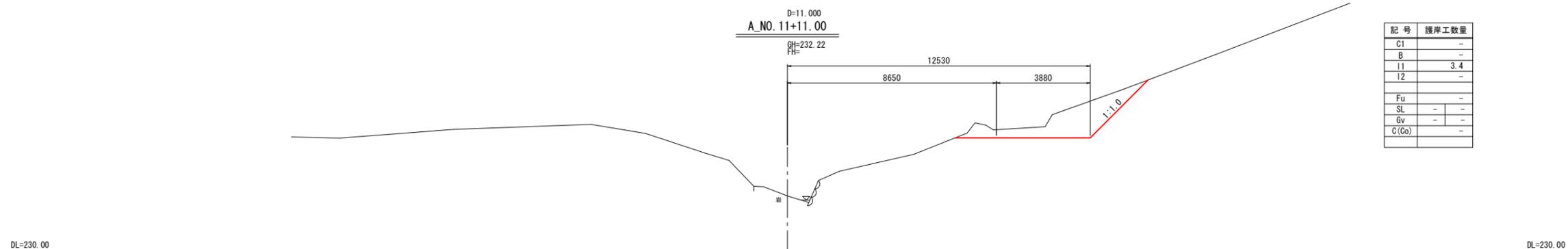
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (12/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	15 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

横断面図 (13/14)

S=1:100

左岸

右岸



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	3.4
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

数量記号一覧表

工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
		盛土法面整形	I2
積	埋戻		Fu
	ブロック積	法長	SL
取	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (本川) A_NO. 11+11.00

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (13/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	16 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

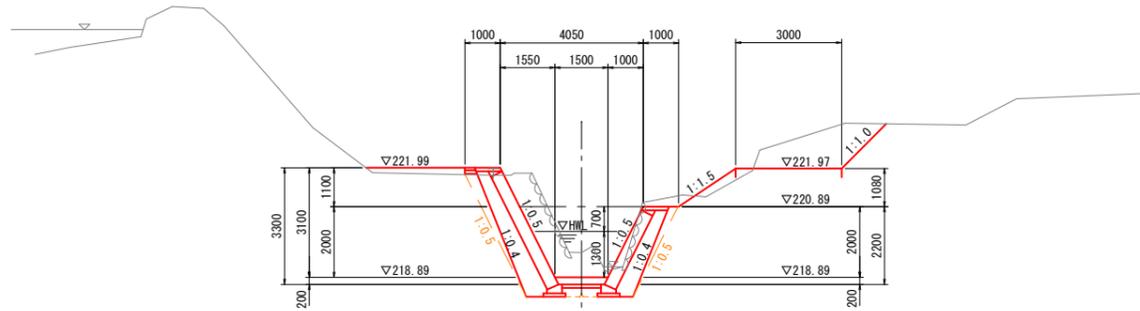
横断面図 (14/14)

S=1:100

左岸

右岸

D=0.000
B_NO. 0 (A_NO. 7+8. 10)
GH=219. 59
FH=218. 89



記号	護岸工数量
C1	-
B	-
I1	-
I2	-
Fu	-
SL	-
Gv	-
C(Co)	-

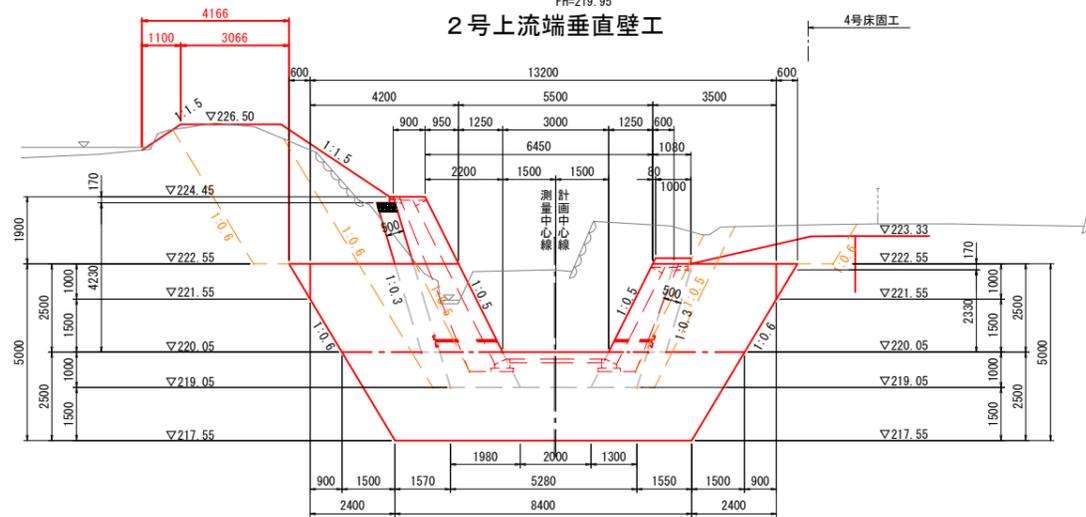
DL=215.00

DL=215.00

D=11.566
B_EC. 1 (B_NO. 0+11. 566)
GH=222. 38
FH=219. 95

2号上流端垂直壁工

4号床固工



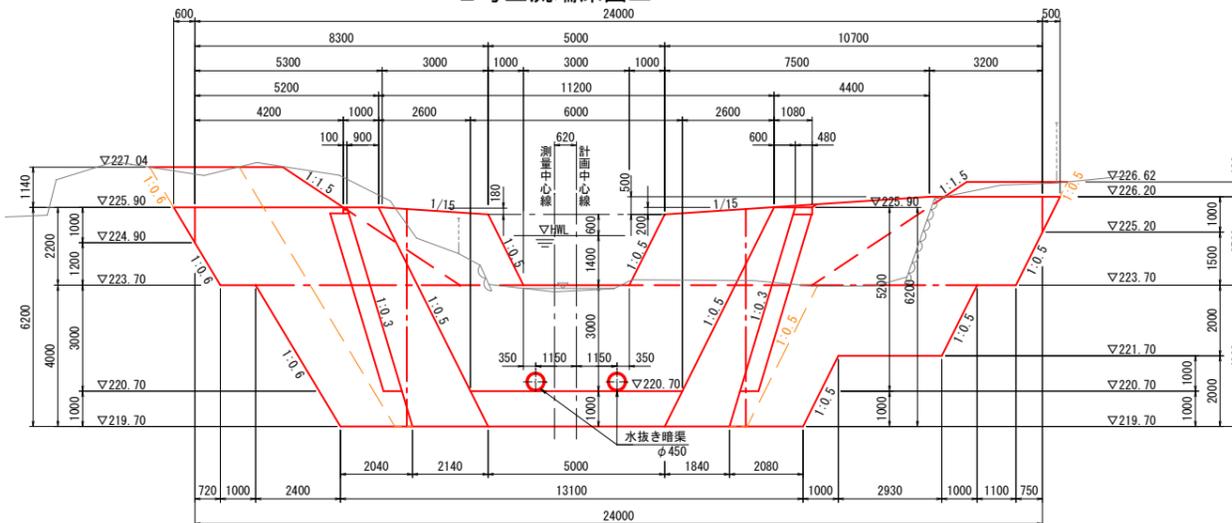
記号	護岸工数量	垂直壁工数量	側壁工数量
C1	-	-	-
B	-	-	-
I1	-	-	-
I2	5.0	5.0	5.0
Fu	-	-	-
SL	-	-	-
Gv	-	-	-
C(Co)	-	-	-

DL=215.00

DL=215.00

D=8.434
B_NO. 1
GH=223. 51
FH=223. 00
220. 60

2号上流端床固工



記号	側壁工数量	床固工数量
C1	-	-
B	-	-
I1	-	-
I2	2.9	2.9
Fu	-	-
SL	-	-
Gv	-	-
C(Co)	-	-

DL=218.00

DL=218.00

数量記号一覧表

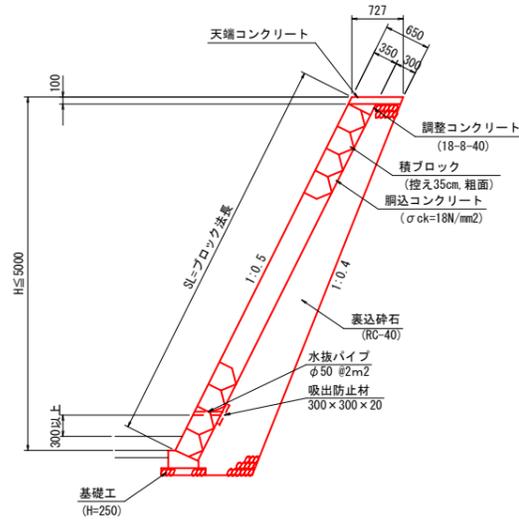
工種	種別	規格、細別	記号
土	片切	機械掘削・土砂	C1
	築堤盛土		B
	法面整形	切土法面整形	I1
工		盛土法面整形	I2
	埋戻		Fu
積工	ブロック積	法長	SL
	裏込砕石	裏込砕石立積	Gv
取壊工	コンクリート	立積(無筋構造物)	C(Co)

大田川水系上大田川地区 (支川) B_NO. 0 ~ B_NO. 1

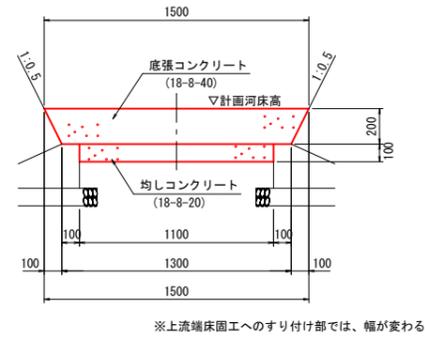
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	横断面図 (14/14)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	17 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

護岸工構造図

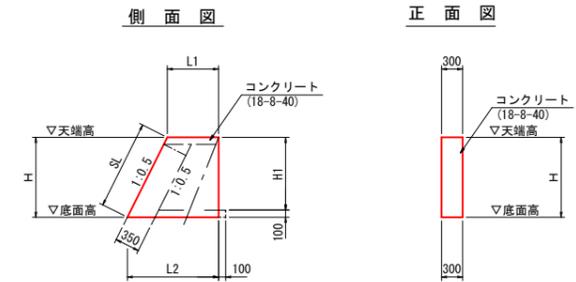
ブロック積護岸工 (N=1:0.5) S=1:50



底張工 S=1:20



小口壁工 S=1:50

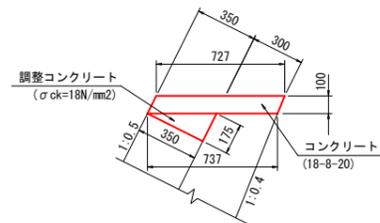


7号 寸法表 単位:m

号数	位置	底面高	天端高	H	H1	L1	L2	SL
7号	右岸 A.No.1+9.77	206.47	207.60	1.130	1.030	0.726	1.291	1.263

※ 1号小口壁工は、取水施設構造図に表記

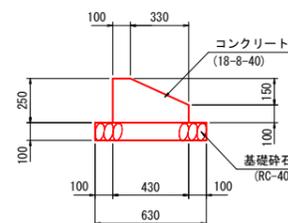
天端コンクリート S=1:20



材料表 10m当り

種別	算式	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.727 + 0.737) \times 0.100 \times 10.0$	0.732 m ³
型枠	$(1.118 + 1.077) \times 0.100 \times 10.0$	2.195 m ²
調整コンクリート	$1/2 \times 0.350 \times 0.175 \times 10.0$	0.306 m ³

基礎工 S=1:20



材料表 10m当り

種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.828
型枠	小型構造物	m ²	3.500
基礎砕石	RC-40, t=100mm	m ²	6.300

7号 材料表 1箇所当たり

号数	種別	算式	数量
7号	側面積	$1/2 \times (0.726 + 1.291) \times 1.130$	1.140 m ²
	コンクリート	1.140×0.300	0.342 m ³
	型枠	$1.140 \times 2 + 1.130 \times 0.300$	2.619 m ²
	化粧型枠	1.263×0.300	0.379 m ²

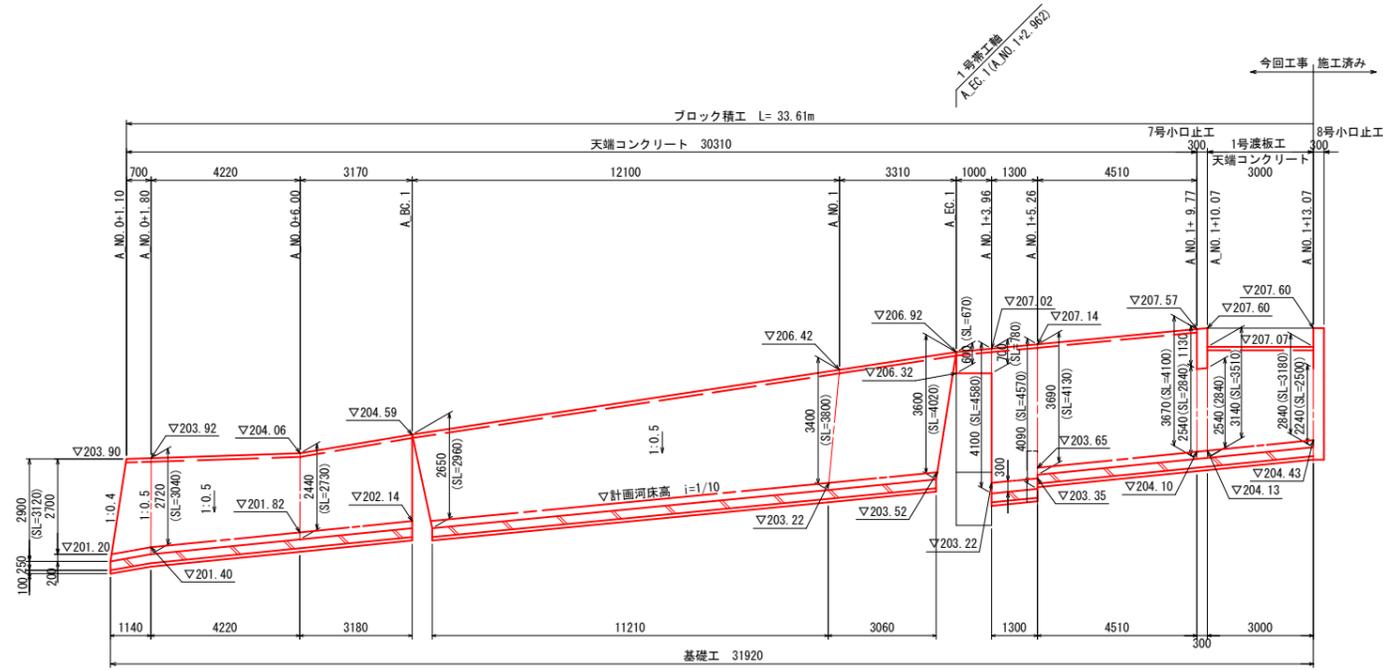
大田川水系上大田川地区

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	護岸工構造図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	18 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

護岸工展開図(1/2)

S=1:100

右岸(1)



DL=195.00

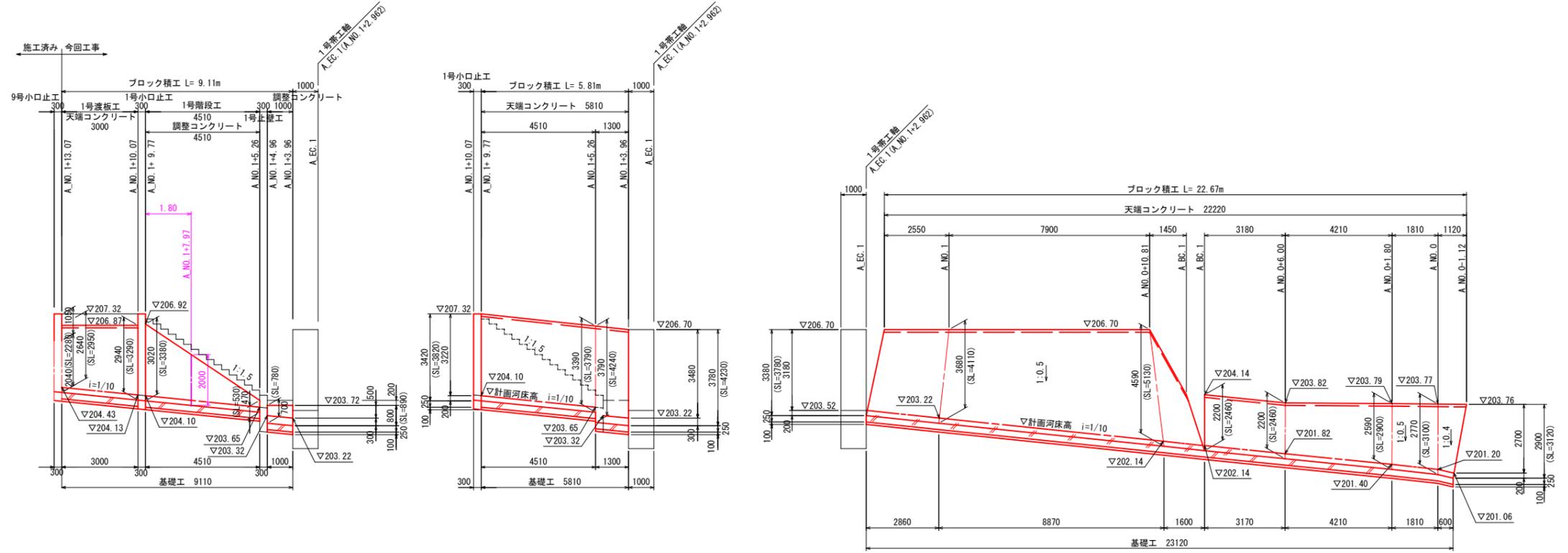
大田川水系上大田川地区 本川右岸(1)

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	護岸工展開図(1/2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	19 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

護岸工展開図 (2/2)

S=1:100

左岸 (1)



DL=200.00

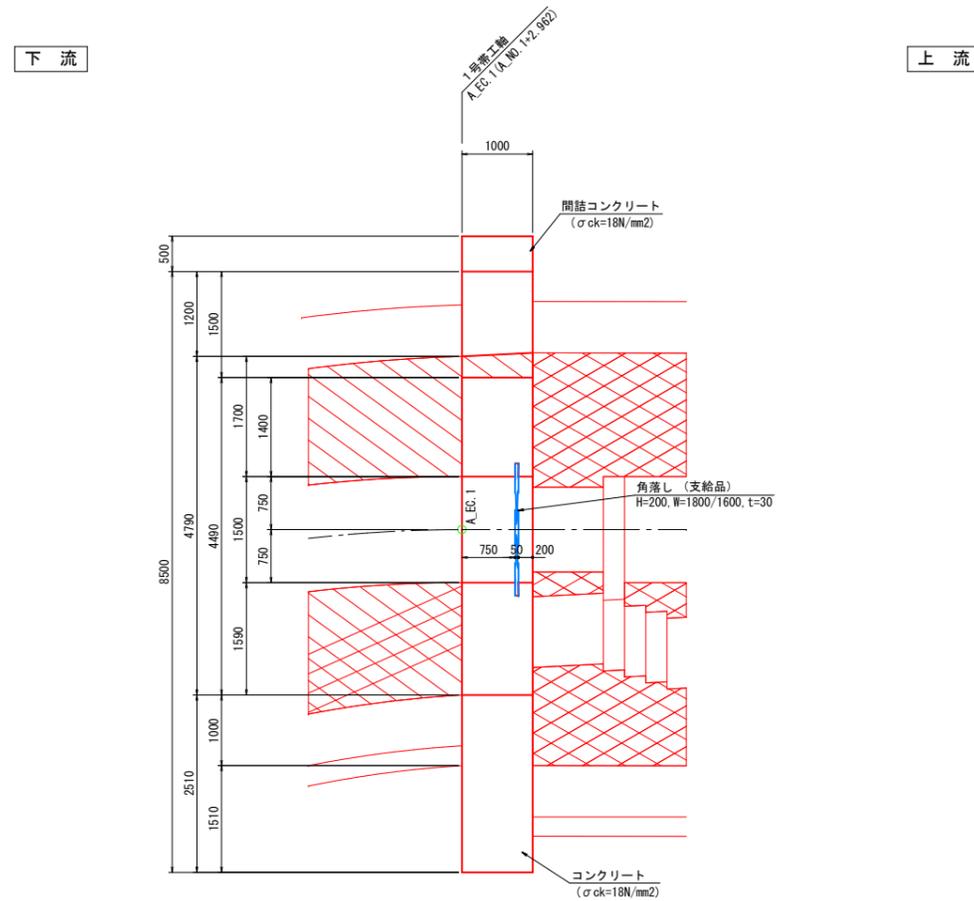
大田川水系上大田川地区 本川左岸(1)

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	護岸工展開図 (2/2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	20 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

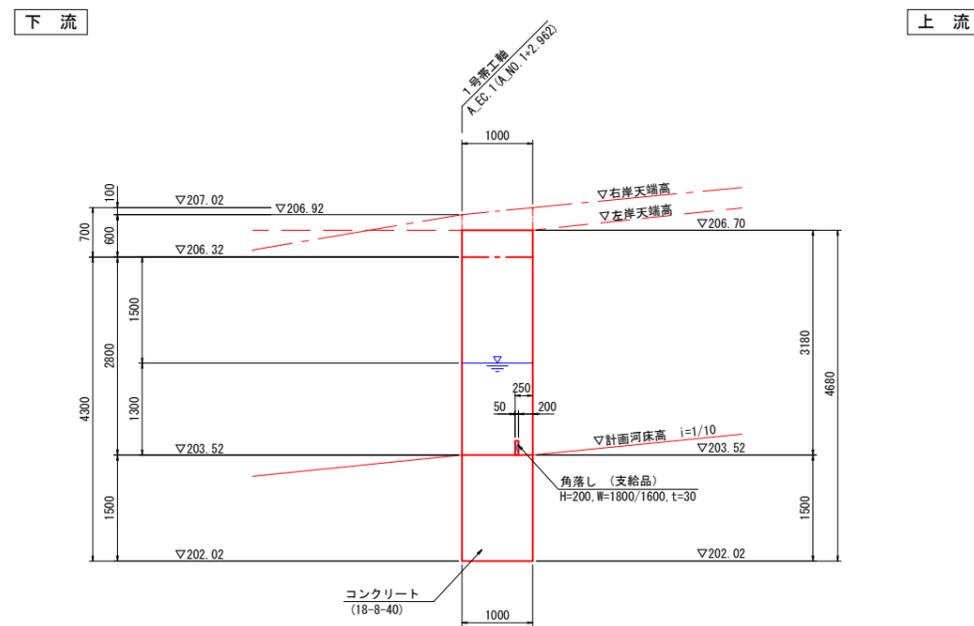
1号帯工構造図

S=1:50

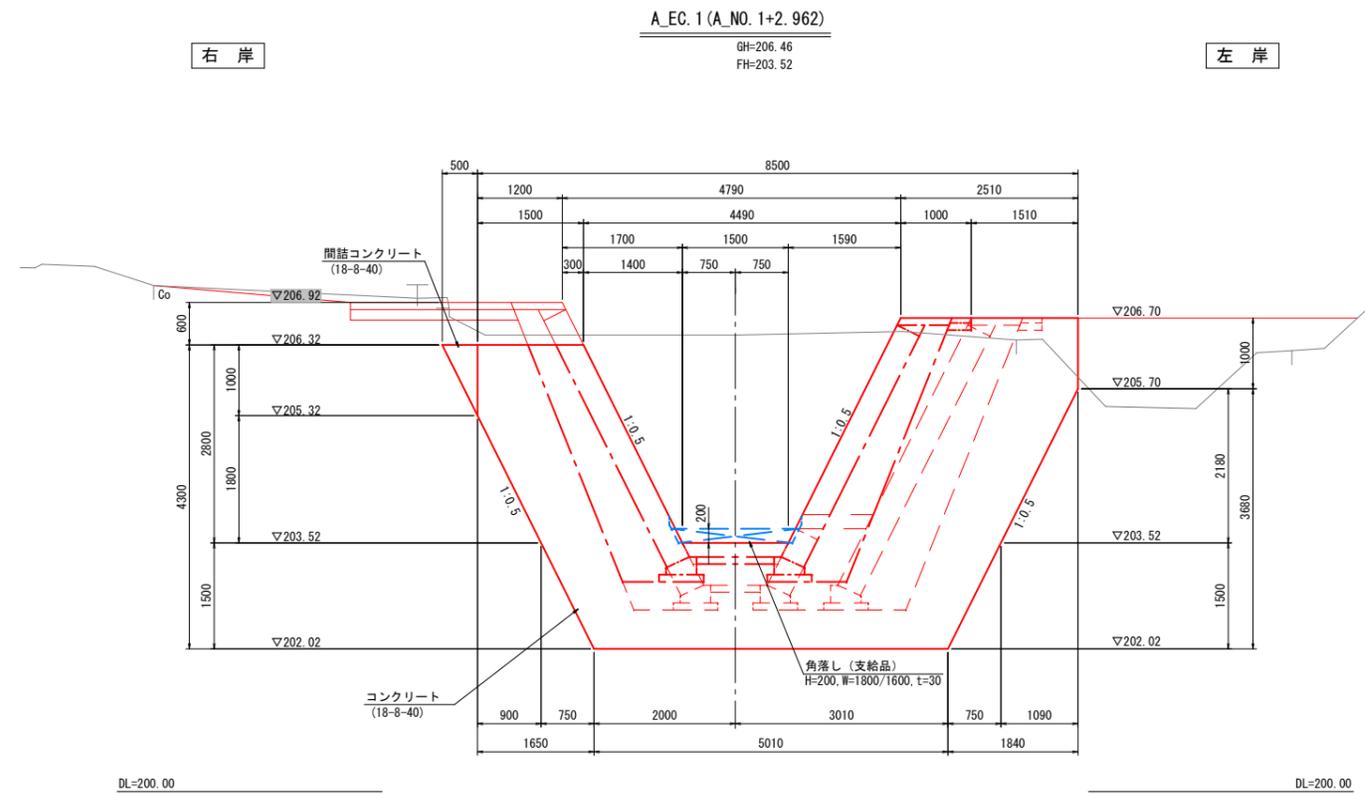
平面図



側面図

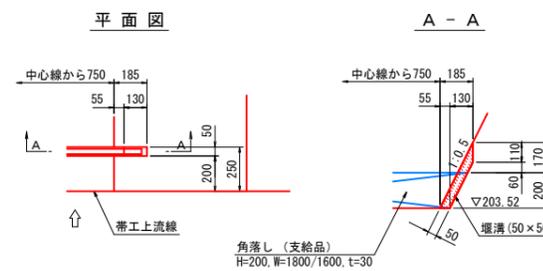


正面図



堰溝詳細図

S=1:20



DL=200.00

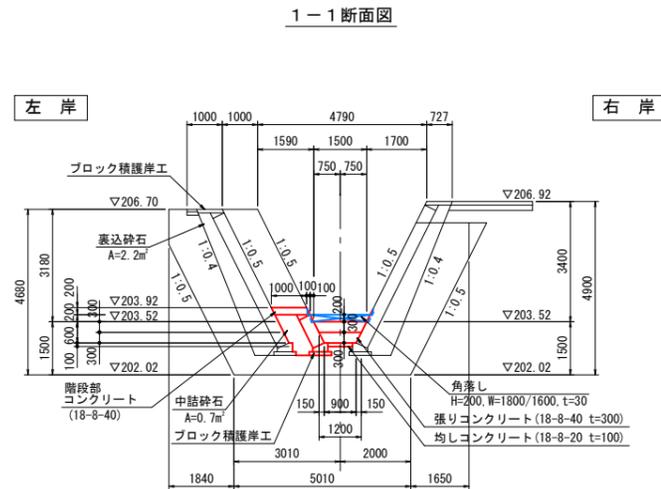
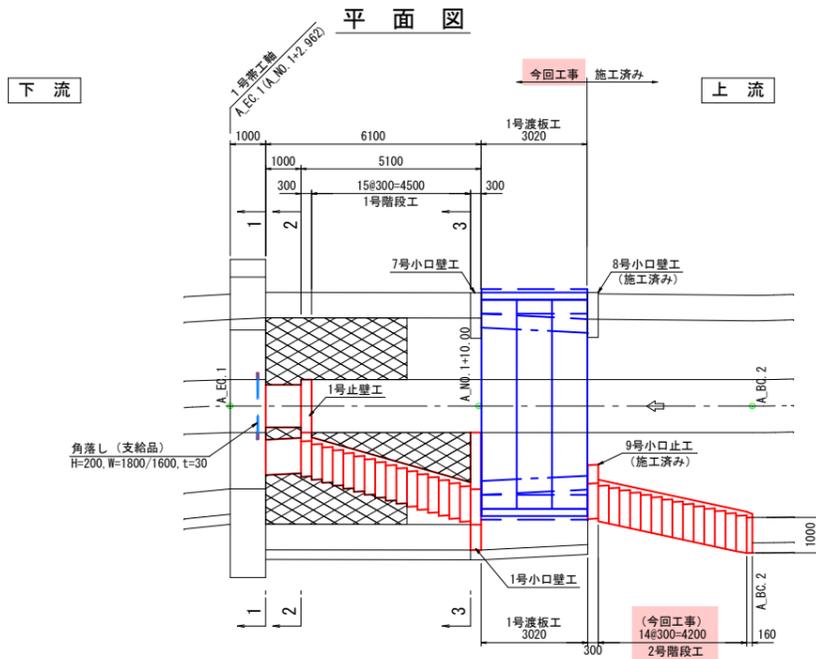
DL=200.00

大田川水系上大田川地区 (本川)

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	1号帯工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	21 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

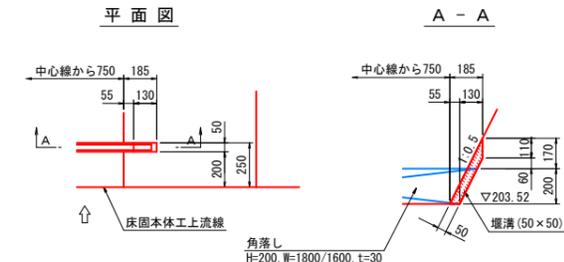
1号取水施設工構造図

S=1:100



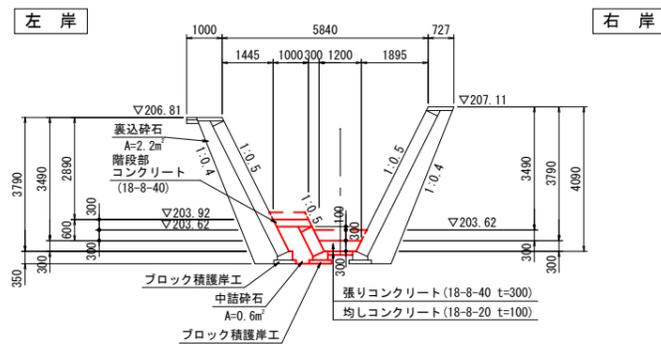
堰溝詳細図

S=1:20



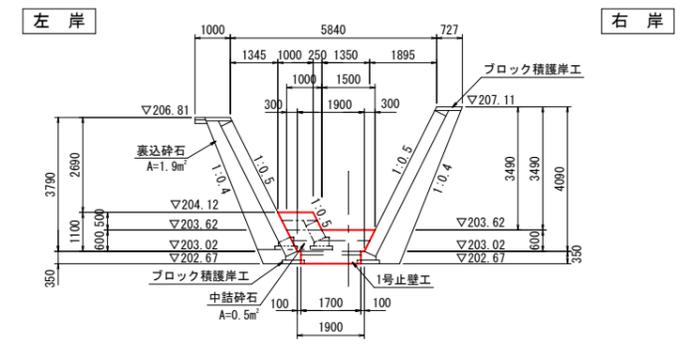
2-2断面図

(下流側)

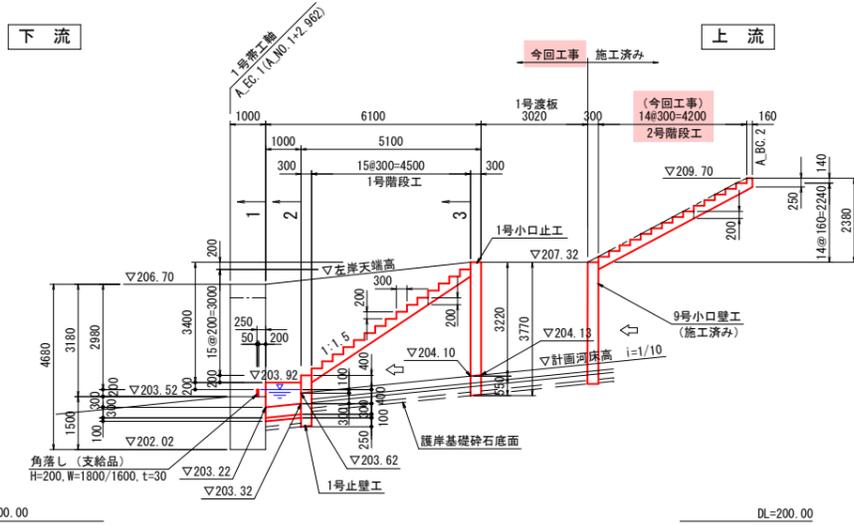


2-2断面図

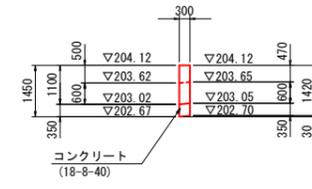
(上流側)



側面図

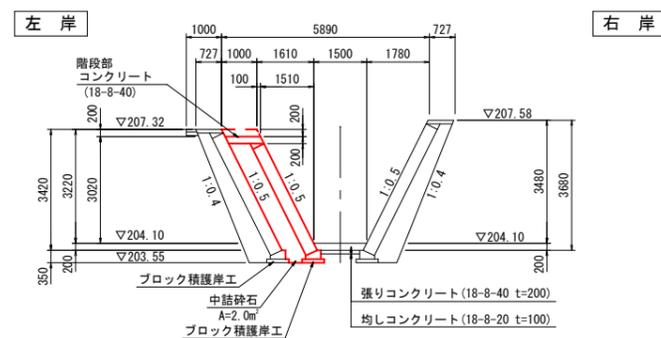


1号止壁工断面図



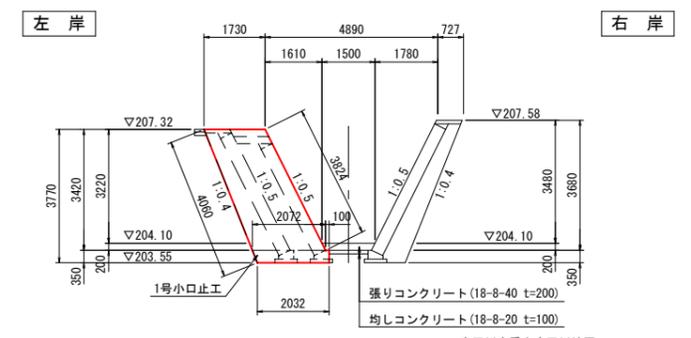
3-3断面図

(下流側)

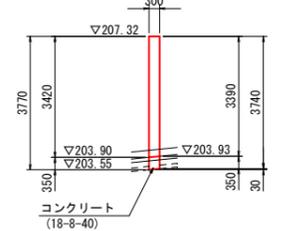


3-3断面図

(上流側)



1号小口壁工正面図



1号小口止工 材料表

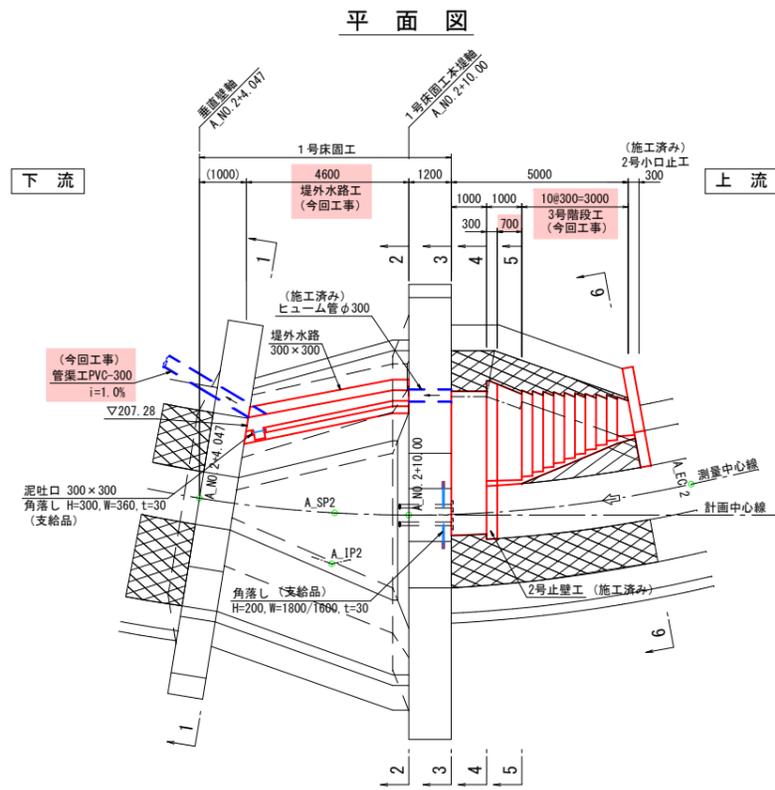
種別	算式	1箇所当たり数量
側面積	$1/2 \times (1.730 + 2.072) \times 3.420 = 6.501$ $1/2 \times (2.172 + 2.032) \times 0.350 = 0.736$	7.237 m ²
コンクリート	7.237×0.300	2.171 m ³
化粧型枠	$7.237 \times 2 + (3.824 + 4.060 + 0.350) \times 0.300$	16.944 m ²
化粧型枠	3.824×0.300	1.147 m ²

大田川水系上大田川地区

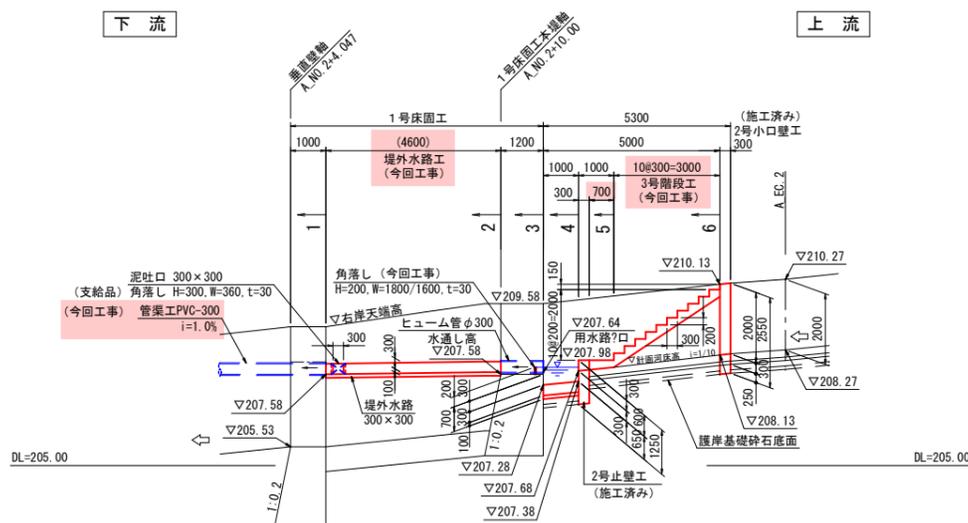
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	1号取水施設工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	22 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

2号取水施設工構造図

S=1:100

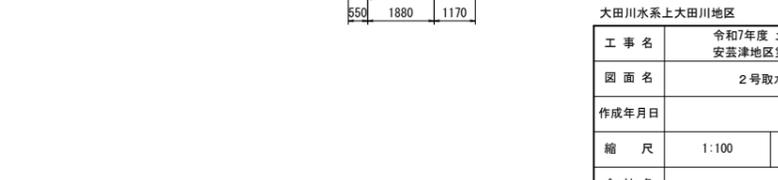
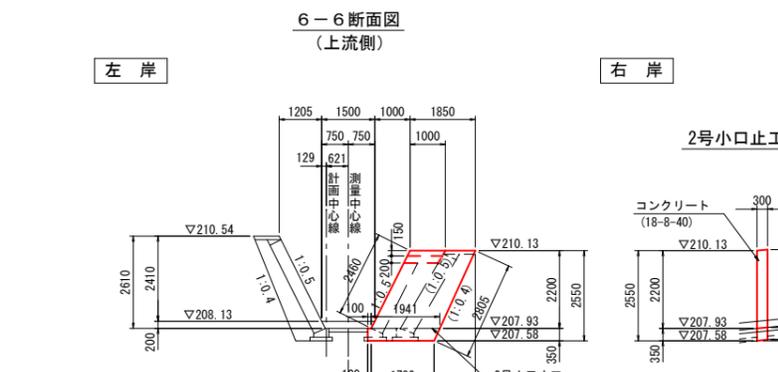
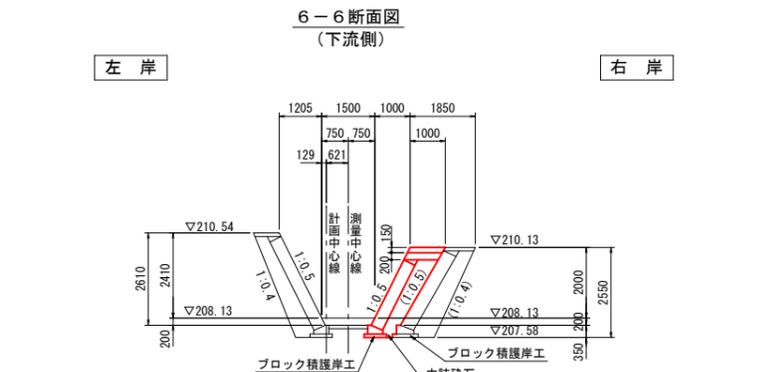
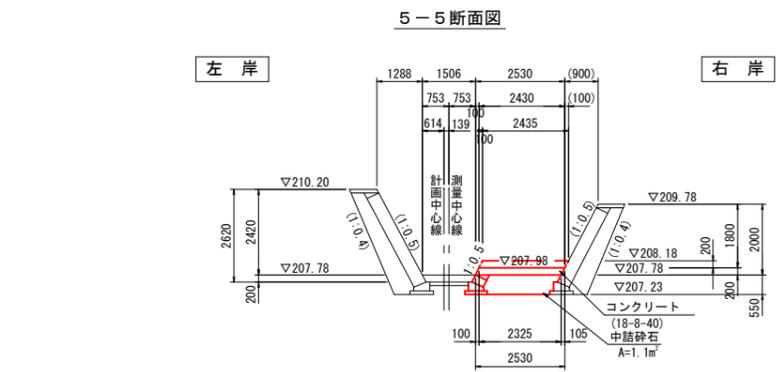
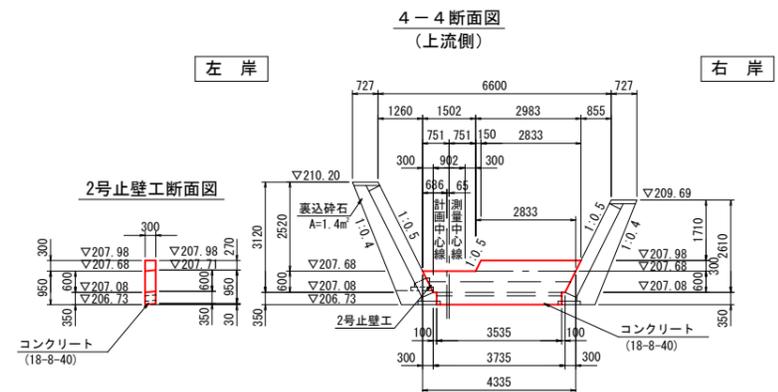
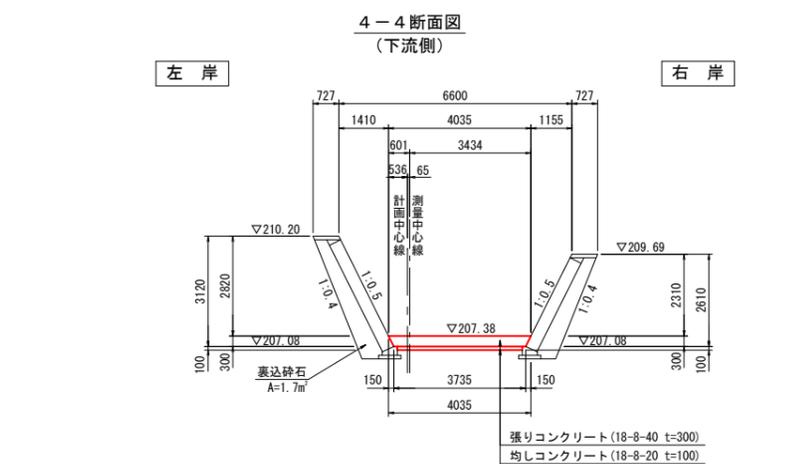
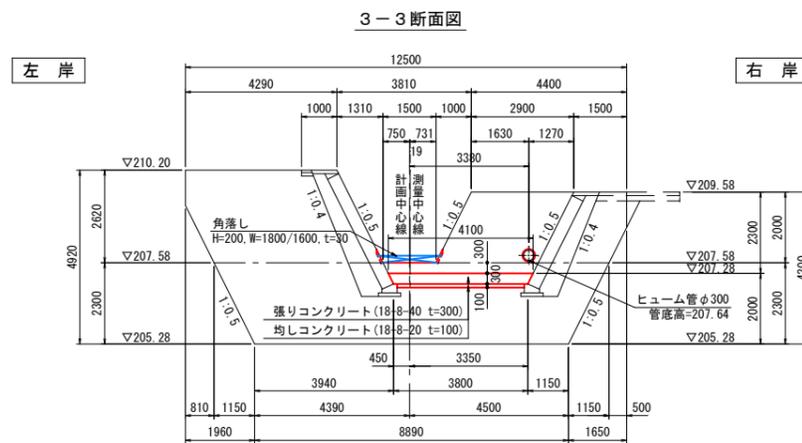
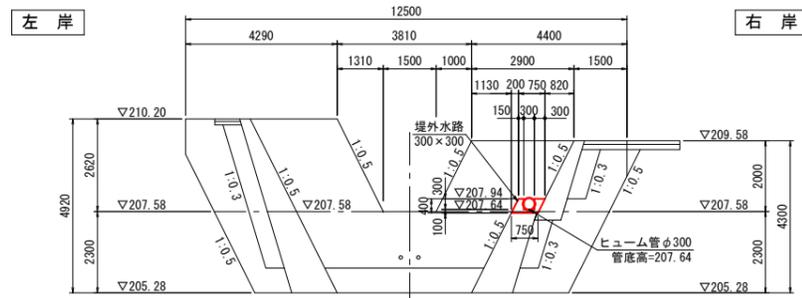
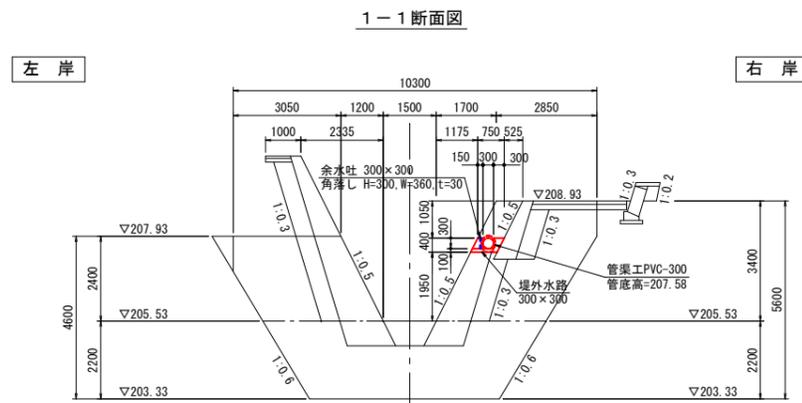
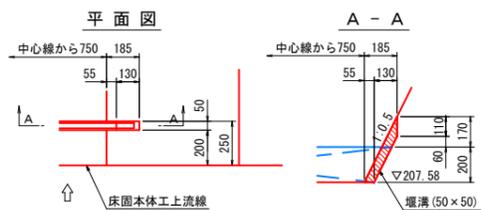


側面図



堰溝詳細図

S=1:20



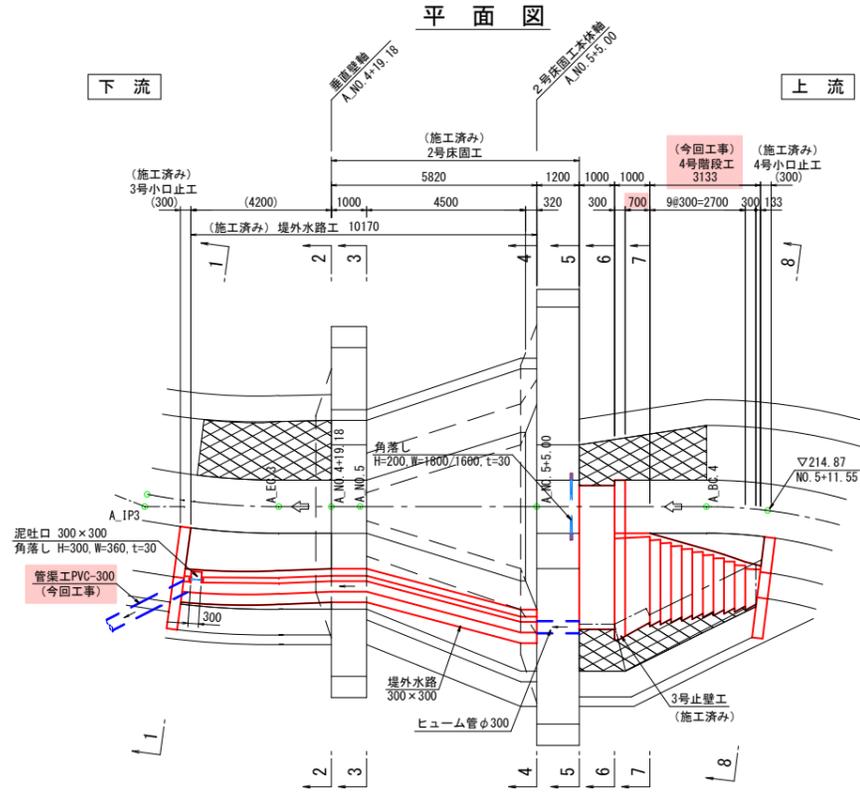
※ 堤外水路工及び3号階段工、管渠工が今回工事

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	2号取水施設工構造図		
作成年月日		縮尺	1:100
会社名		図面番号	23 / 36
事業者名	東広島市		

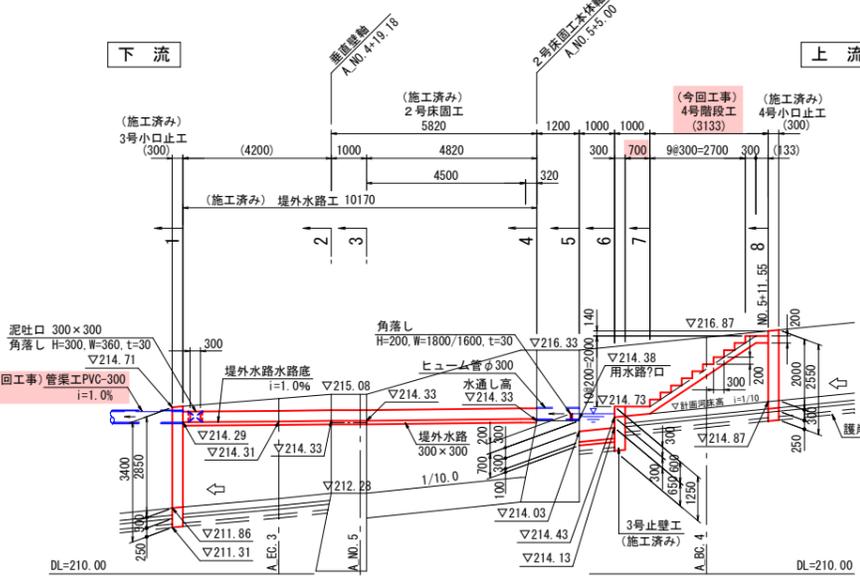
3号取水施設工構造図

S=1:100

平面図

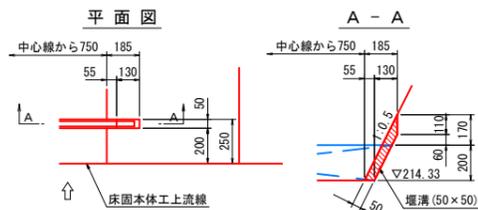


側面図

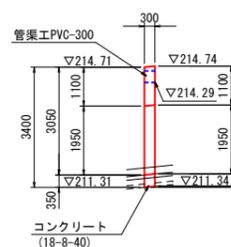


掘溝詳細図

S=1:20



3号小口止工断面図



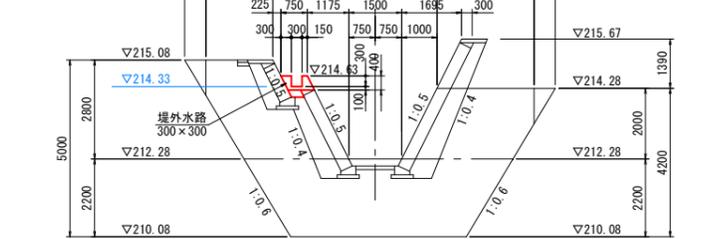
1-1断面図

左岸 右岸



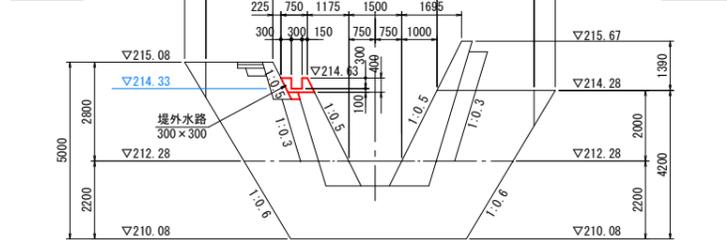
2-2断面図

左岸 右岸



3-3断面図

左岸 右岸



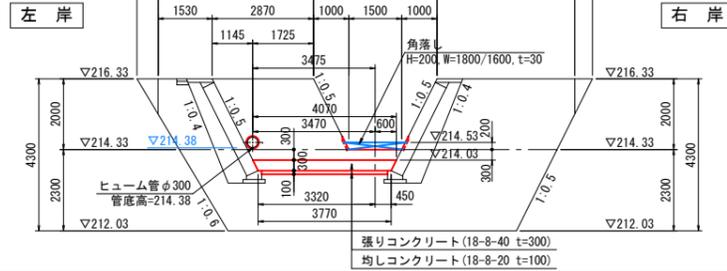
4-4断面図

左岸 右岸



5-5断面図

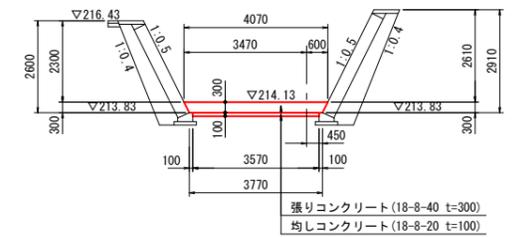
左岸 右岸



左岸

6-6断面図 (下流側)

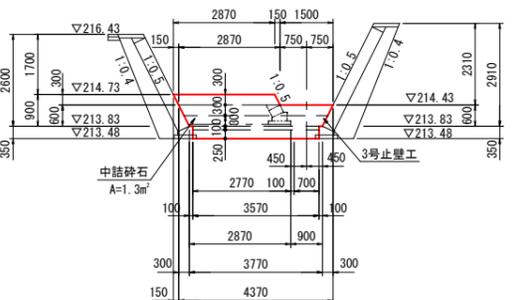
右岸



左岸

6-6断面図 (上流側)

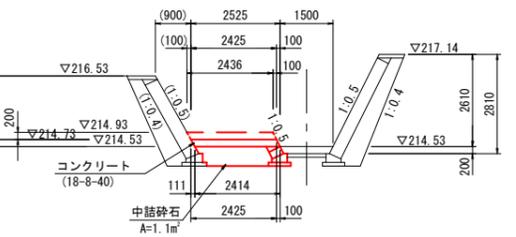
右岸



左岸

7-7断面図

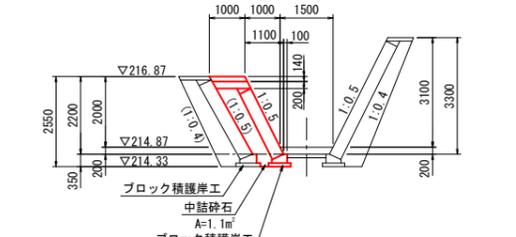
右岸



左岸

8-8断面図 (下流側)

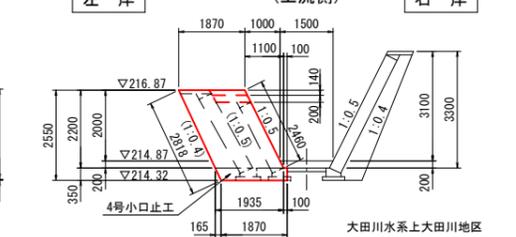
右岸



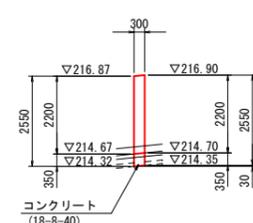
左岸

8-8断面図 (上流側)

右岸



4号小口止工断面図



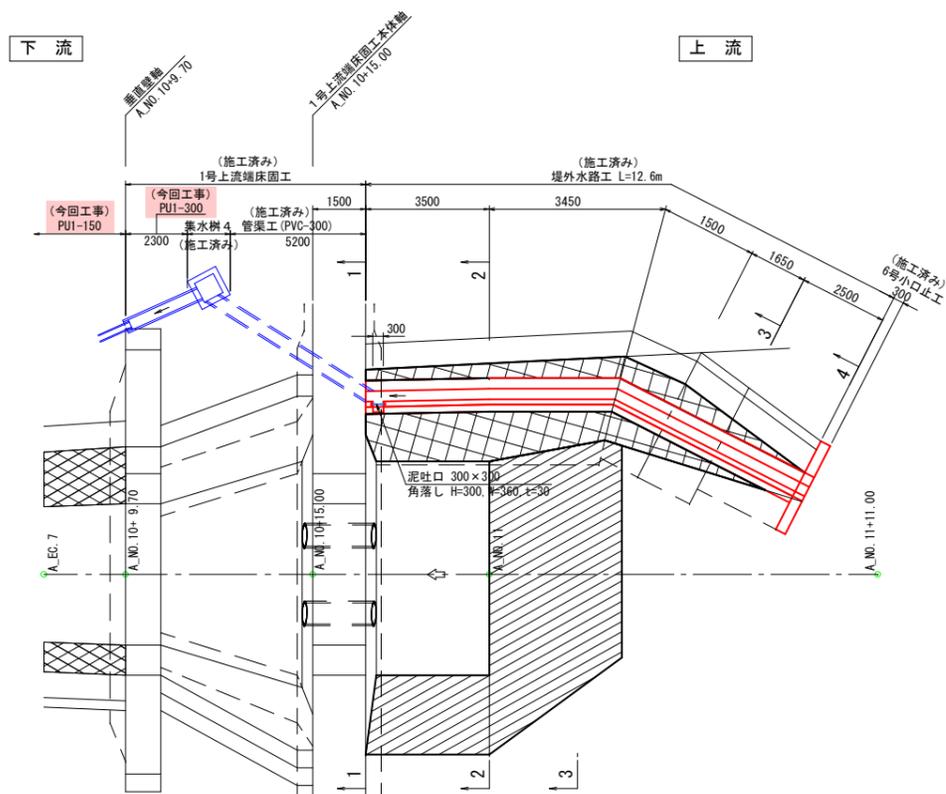
※ 4号階段工及び管渠工が今回工事

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業
図面名	安芸津地区災害復旧工事 (7-4) 3号取水施設工構造図
作成年月日	
縮尺	1:100 図面番号 24 / 36
会社名	
事業者名	東広島市

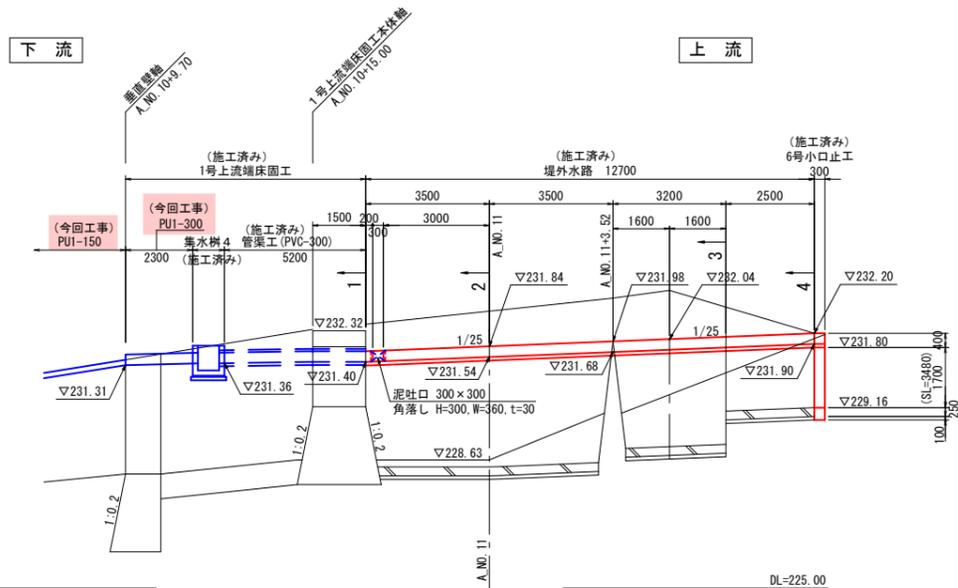
5号取水施設工構造図

S=1:100

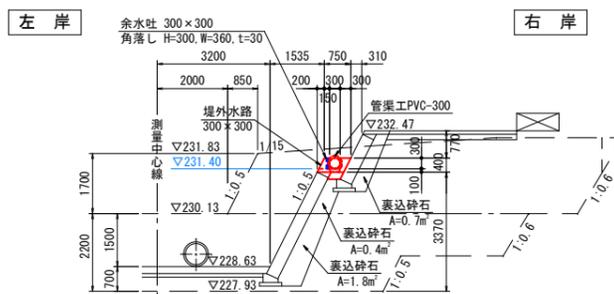
平面図



側面図



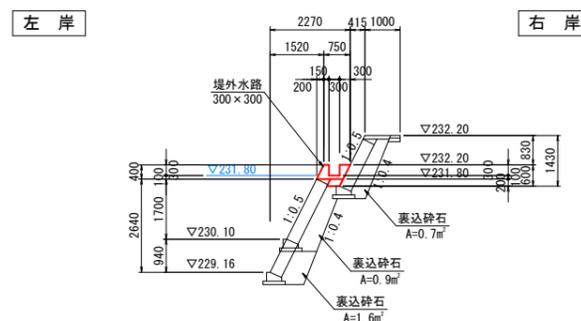
1-1断面図



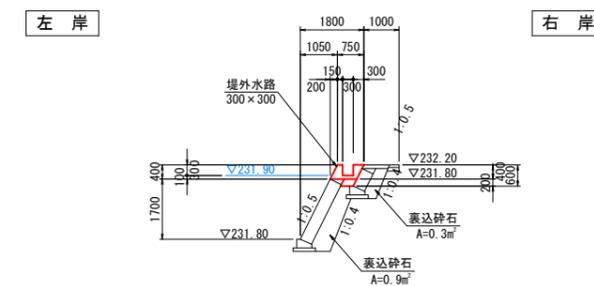
2-2断面図



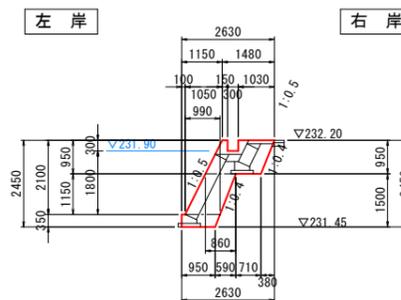
3-3断面図



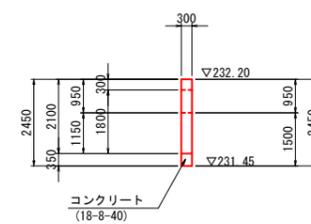
4-4断面図



4-4断面図
(上流側)

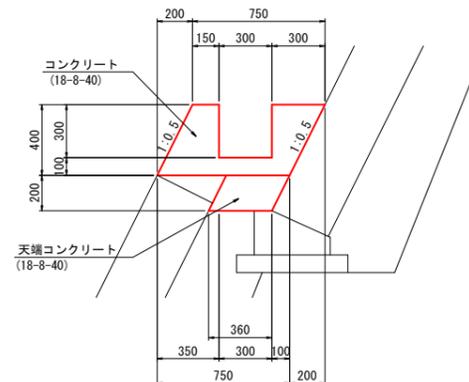


6号小口止工断面図



堤外水路構造図

S=1:20



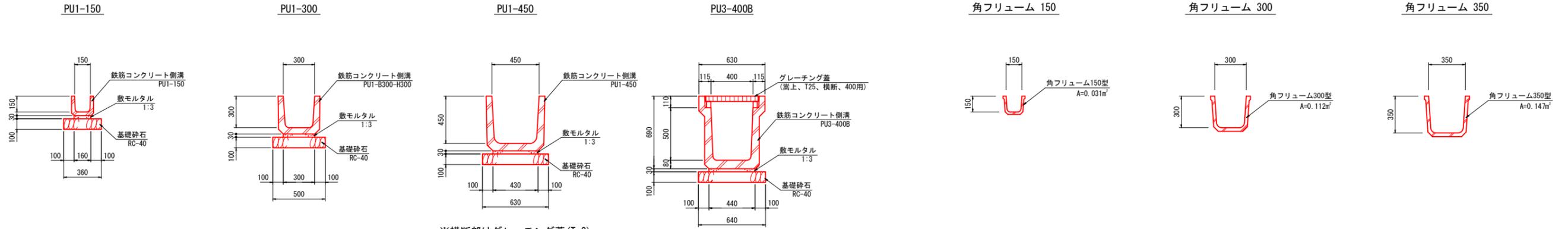
※ 管渠工（集水樹4より下流）が今回工事

大田川水系上大田川地区			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	5号取水施設工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	25 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

水路工構造図 (1/3)

S=1:20

U型水路工



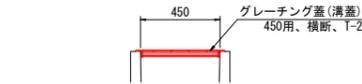
※横断部はグレーティング蓋 (T-2)

材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
鉄筋コンクリート側溝	PU1-150	個	16.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.05
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	m ²	3.6

材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
鉄筋コンクリート側溝	PU1-B300-H300	個	16.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.09
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	m ²	5.0



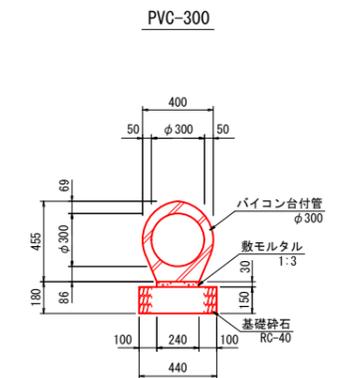
材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
鉄筋コンクリート側溝	PU1-450	個	16.5
敷モルタル	1:3	m ³	0.13
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	m ²	6.3
グレーティング蓋	450用横断、T-2	枚	10.0

材料表 10m当り

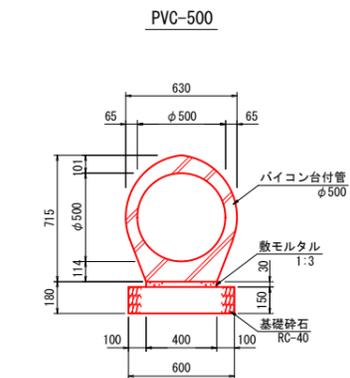
名称	規格	単位	数量
鉄筋コンクリート側溝	PU3-B400-H500	個	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.13
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	m ²	6.4
グレーティング蓋	400用横断、T-25	枚	10.0

管渠工 [参考図]



材料表 10m当り

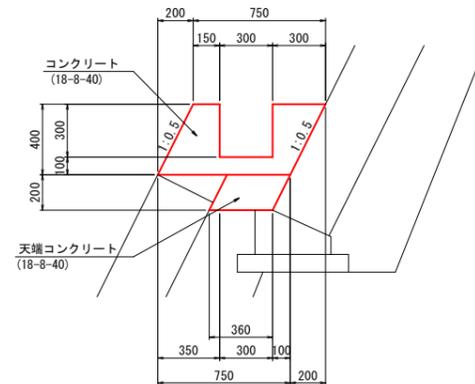
名称	規格	単位	数量
バイコン台付管	φ300	本	5.00
敷モルタル	1:3	m ³	0.07
基礎砕石	RC-40 (t=15cm)	m ²	4.4



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
バイコン台付管	φ500	本	4.00
敷モルタル	1:3	m ³	0.12
基礎砕石	RC-40 (t=15cm)	m ²	6.0

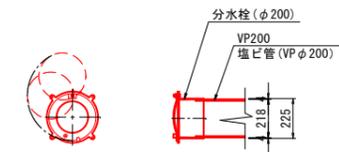
堤外水路



材料表 10m当り

種別	算式	数量
コンクリート	$(0.75 \times 0.40 - 0.30 \times 0.30) \times 10.0$	2.100 m ³
型枠	$(0.40 \times 1.118 + 0.30 \times 2) \times 10.0$	10.472 m ²
天端コンクリート	$0.36 \times 0.20 \times 10.0$	0.720 m ³

分水工



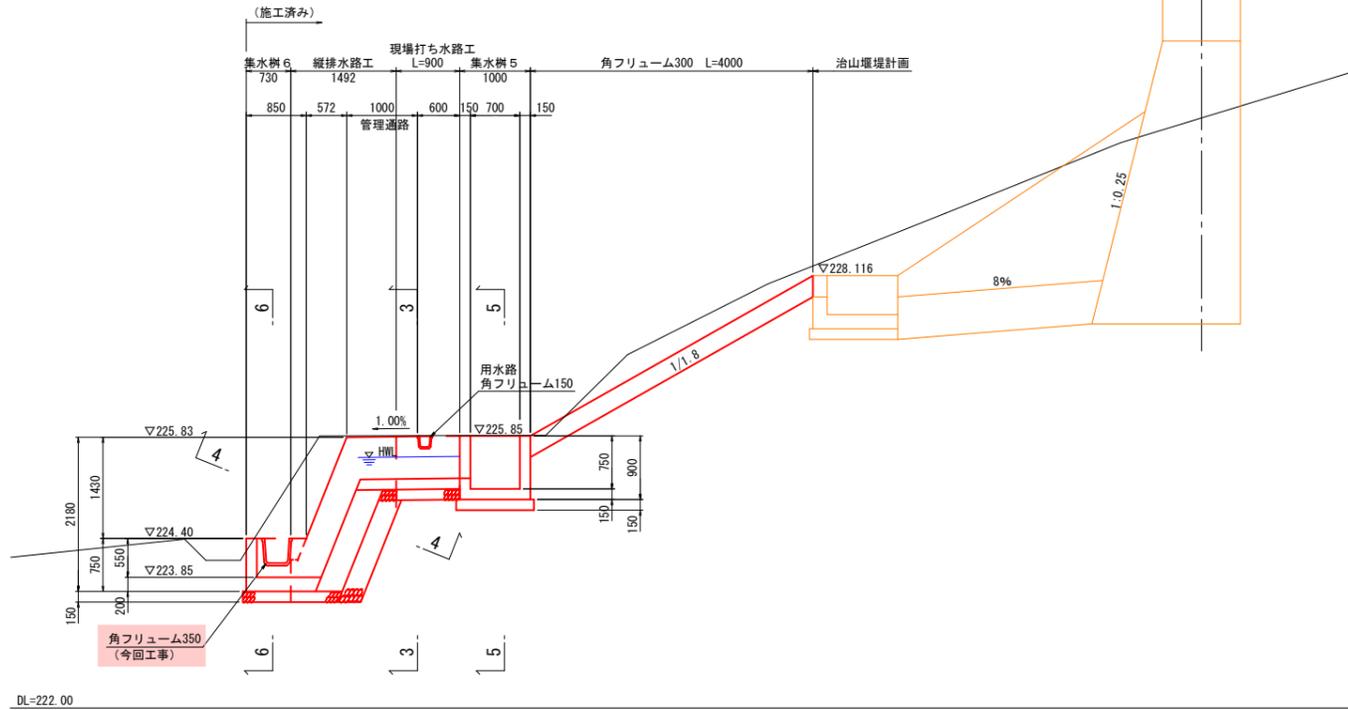
※ 材料（プレキャスト製品、グレーティング及び塩ビ製品）は支給とする
但し、プレキャスト製品（PVC-300）の一部は購入とする

大田川水系上大田川地区

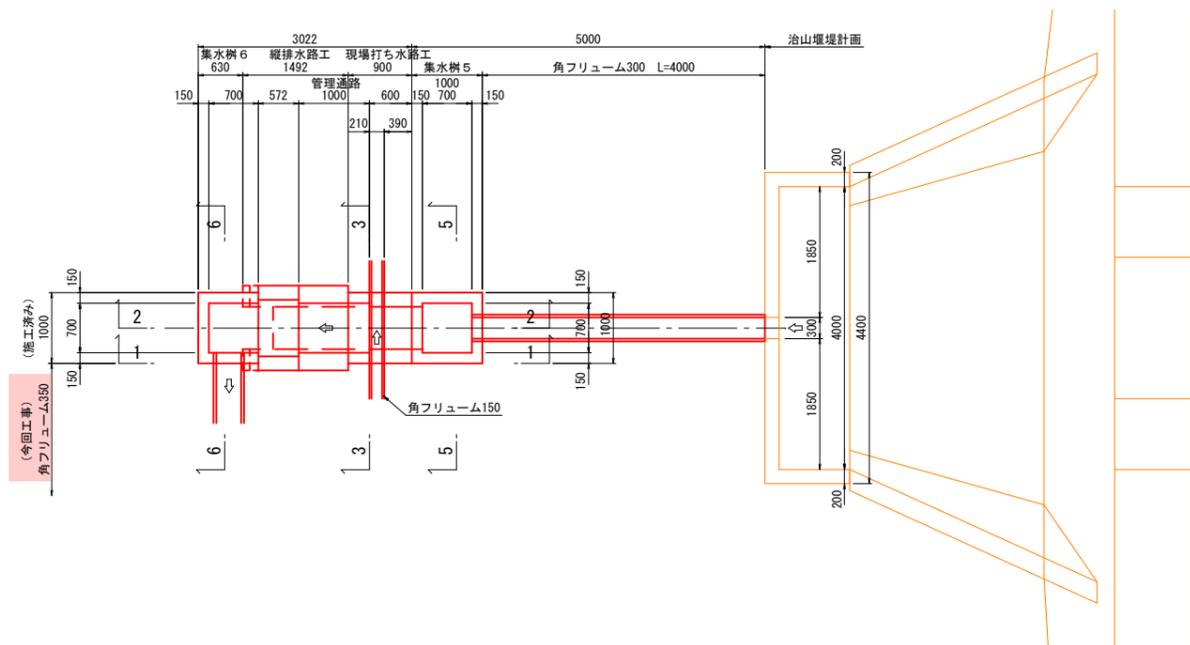
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	水路工構造図 (1/3)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	26 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

水路工構造図 (2/3)

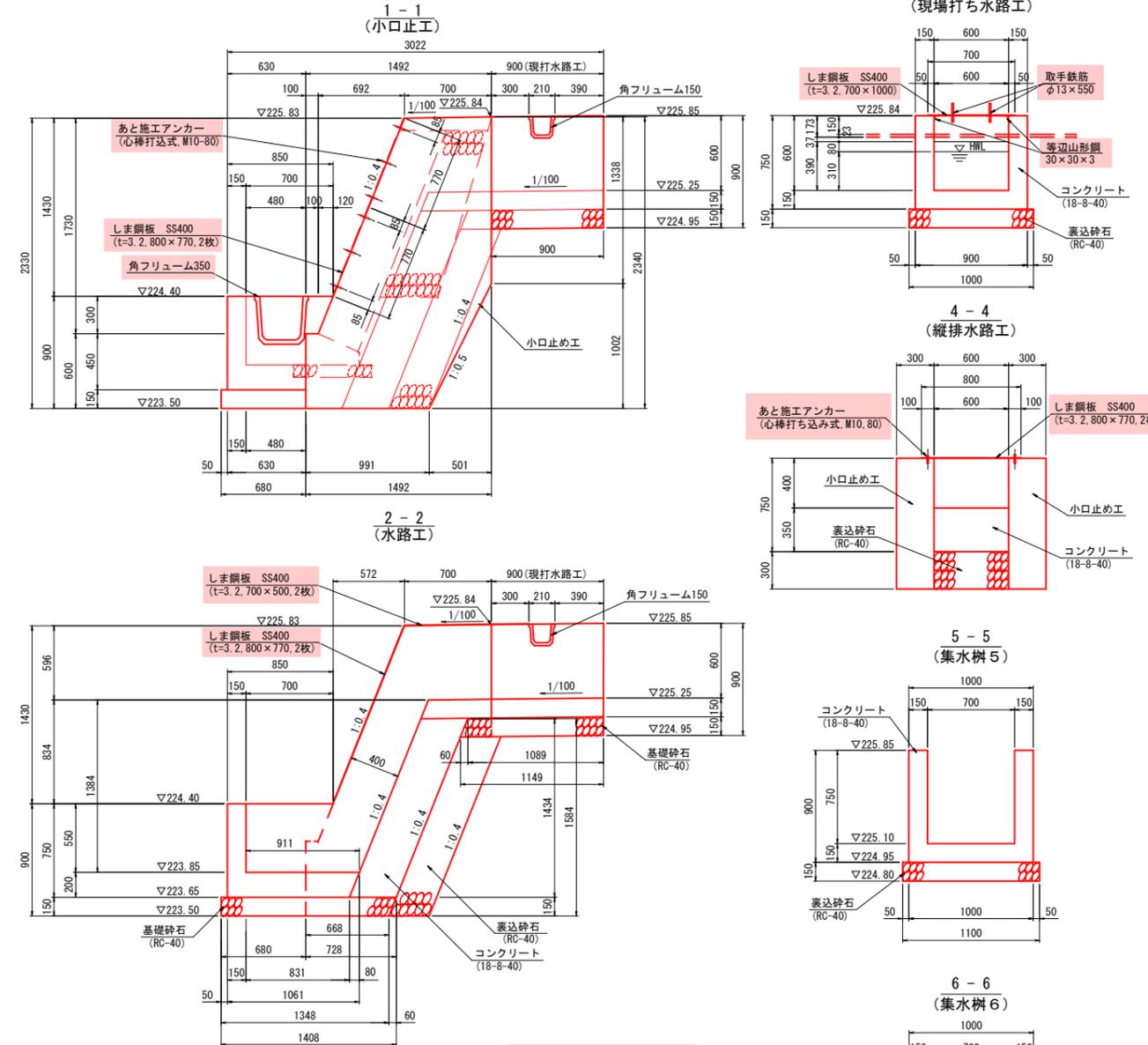
側面図
S=1:50



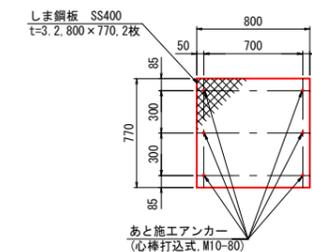
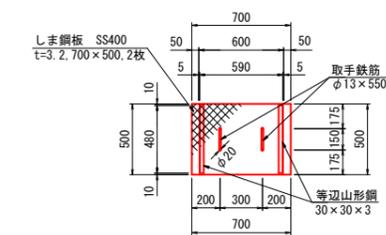
平面図
S=1:50



断面図
S=1:25



しま鋼板構造図
S=1:25



※ 角フリーム (集水樹6より下流) 及びしま鋼板 (支給品) 設置が今回工事

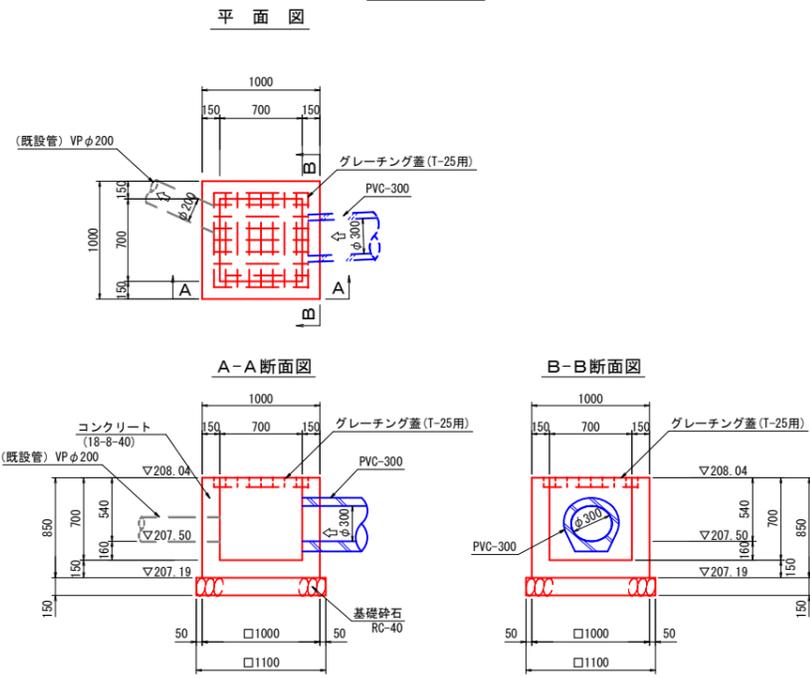
大田川水系上大田川地区	
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	水路工構造図 (2/3)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 27 / 36
会社名	
事業者名	東広島市

水路工構造図 (3/3)

S=1:30

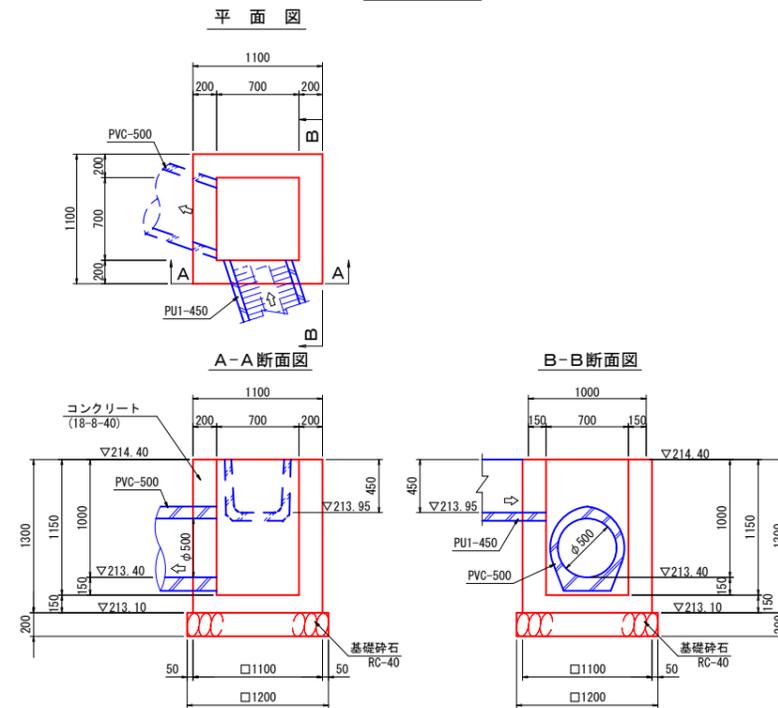
樹工

集水樹 1



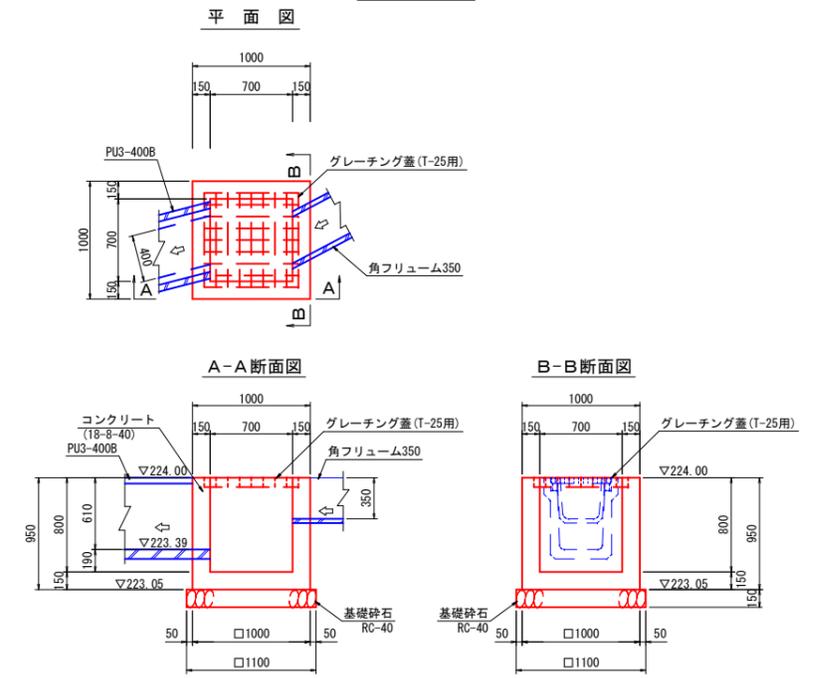
※ 既設管の布設状況により形状変更を行う

集水樹 2



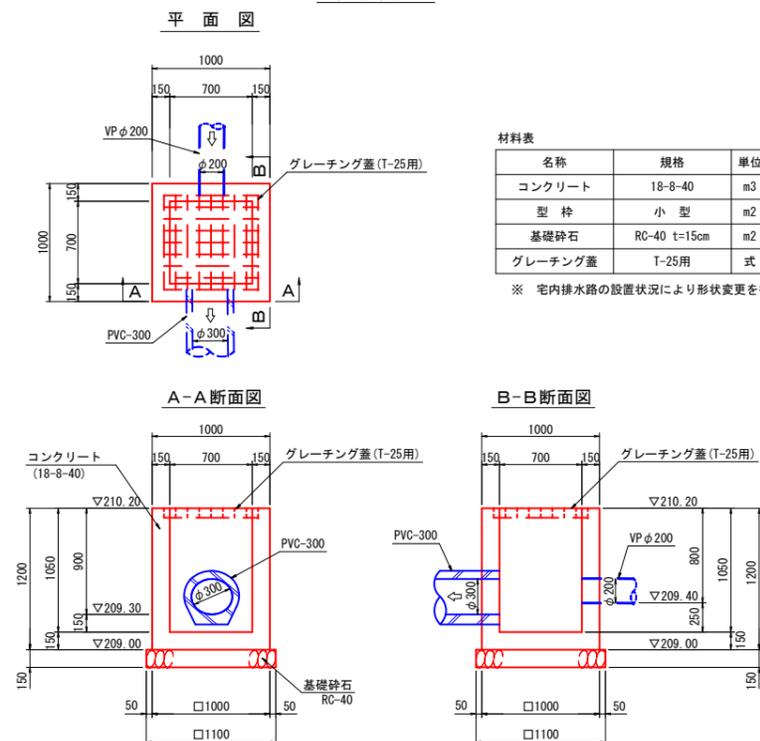
※ 既設管の布設状況により形状変更を行う

集水樹 3



※ 既設管の布設状況により形状変更を行う

集水樹 7



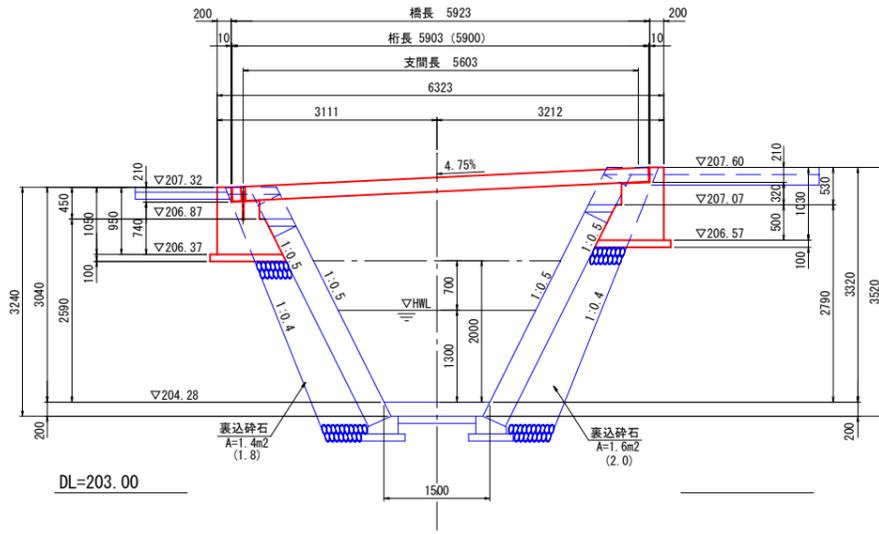
※ 宅内排水路の設置状況により形状変更を行う

大田川水系上大田川地区

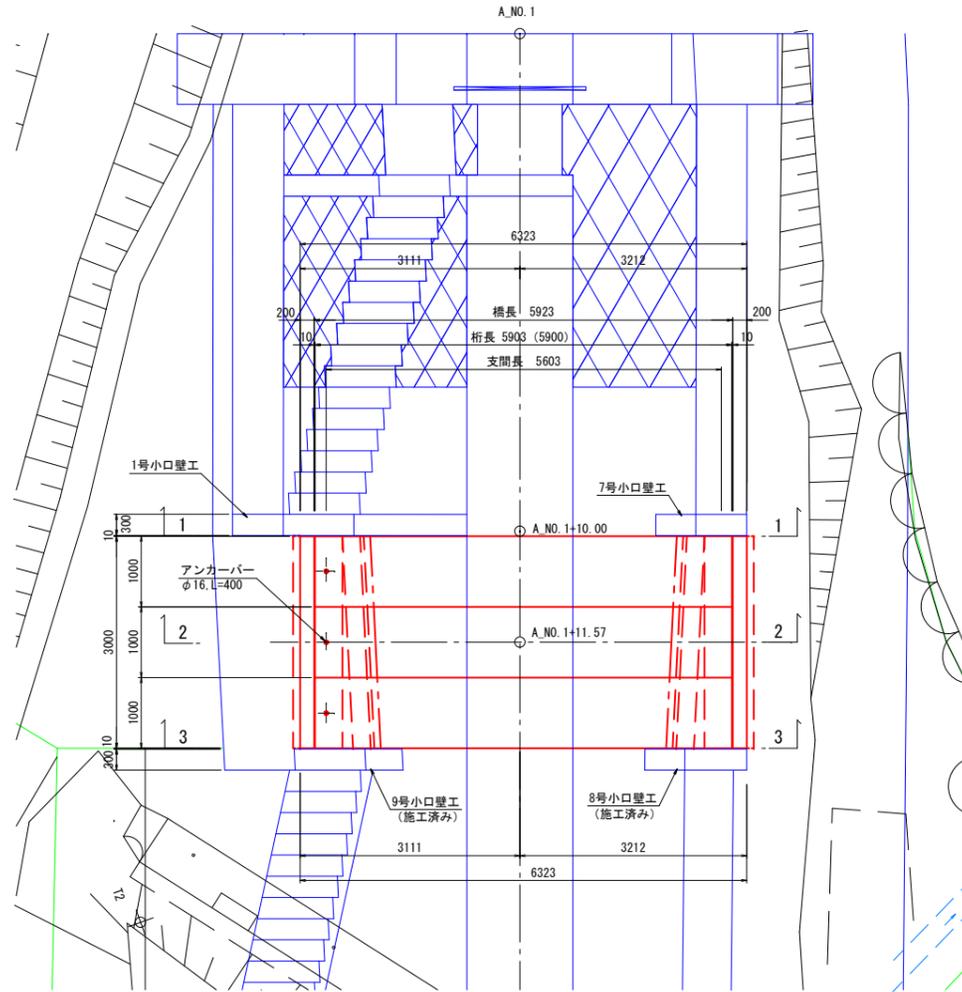
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	水路工構造図 (3/3)		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	28 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

1号渡板工一般図 [No1+11.57]

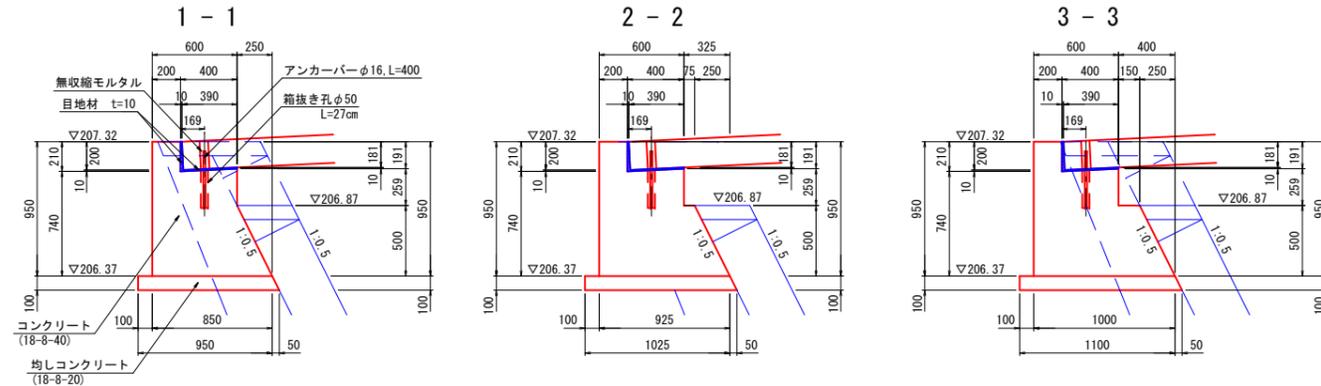
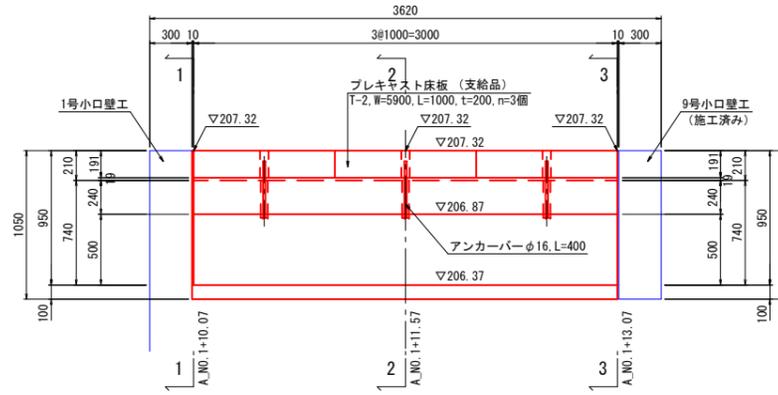
側面図 S=1:50
(A_NO.1+11.57)



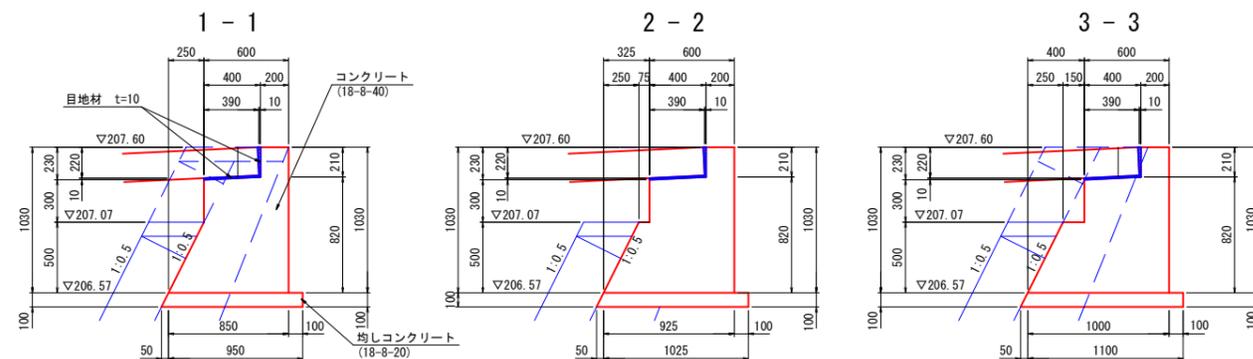
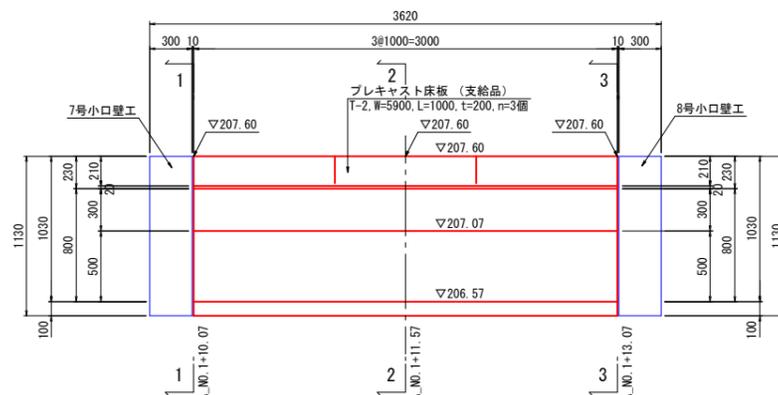
平面図 S=1:50



左岸橋台構造図 S=1:25
側面図



右岸橋台構造図 S=1:25
側面図



大田川水系上大田川地区	
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	1号渡板工一般図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 29 / 36
会社名	
事業者名	東広島市

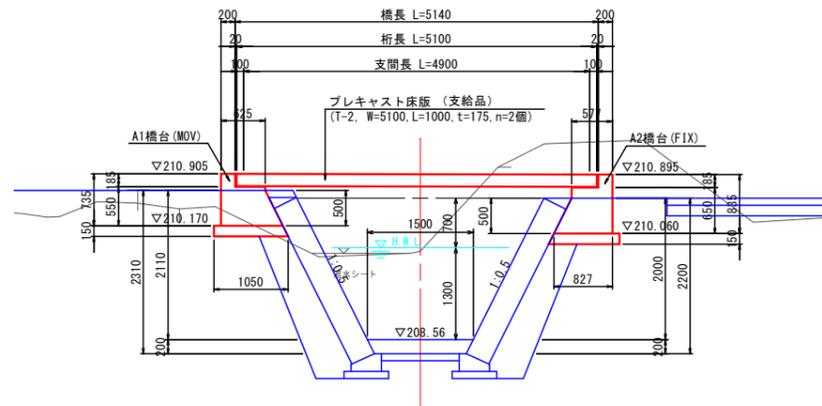
2号渡板工一般図

(A_NO. 3+1.000)

横断図 S=1:50

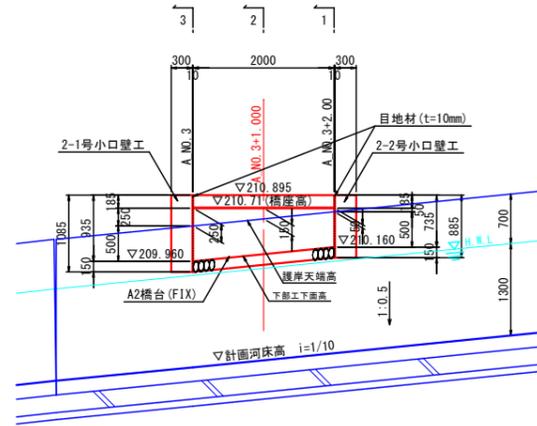
左岸

右岸

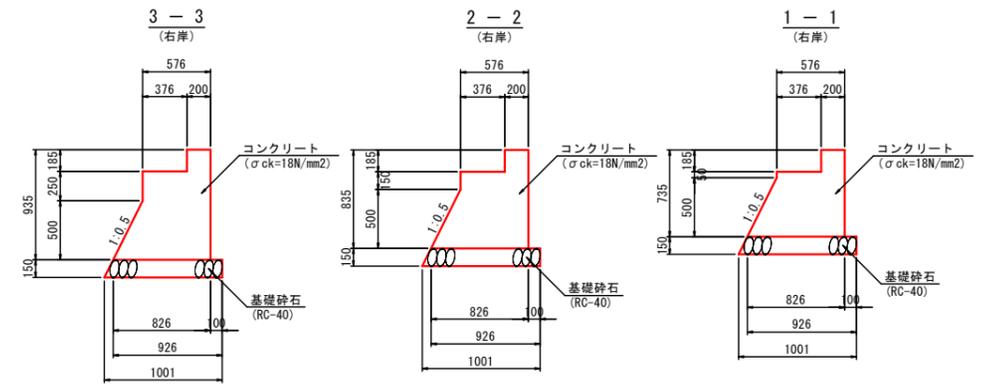


横断図 S=1:50

右岸



下部工詳細図 S=1:30

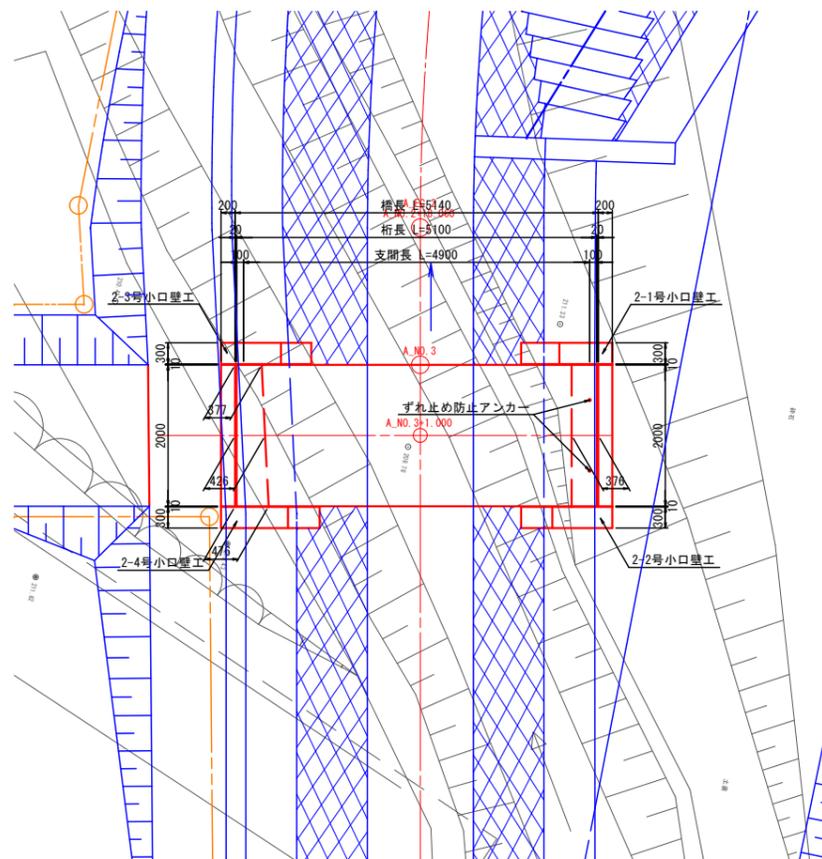


DL=205.00

平面図 S=1:50

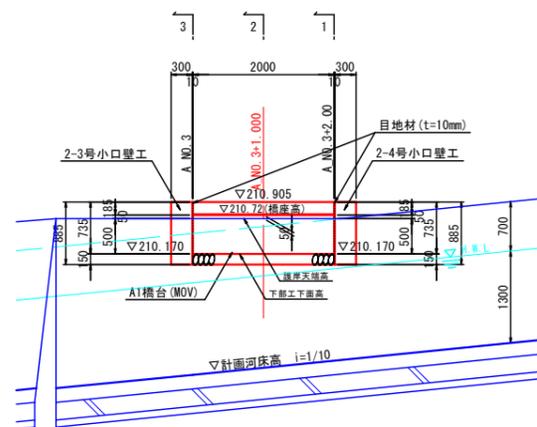
左岸

右岸



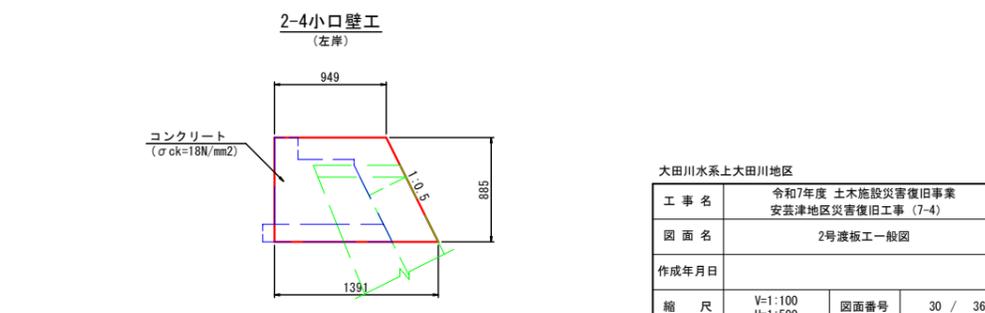
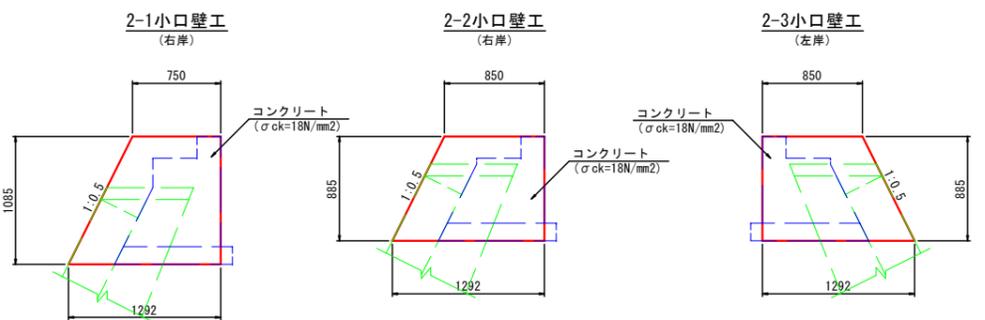
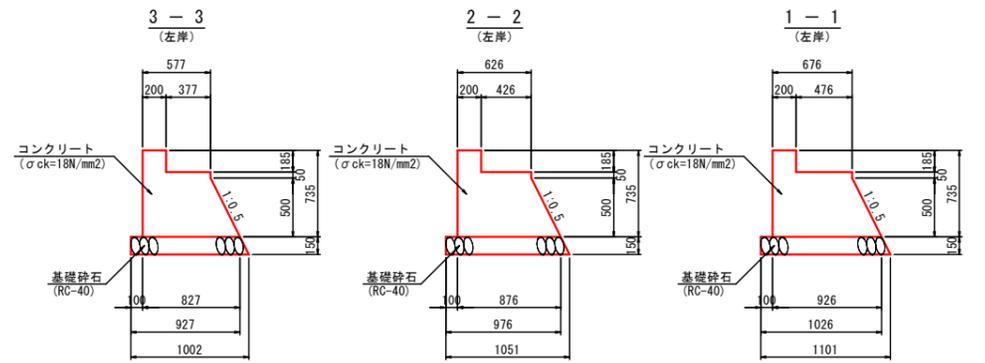
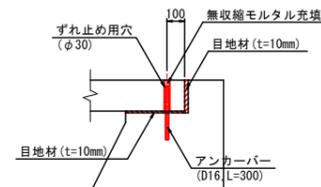
DL=205.00

左岸



DL=205.00

支承部詳細図 S=1:20

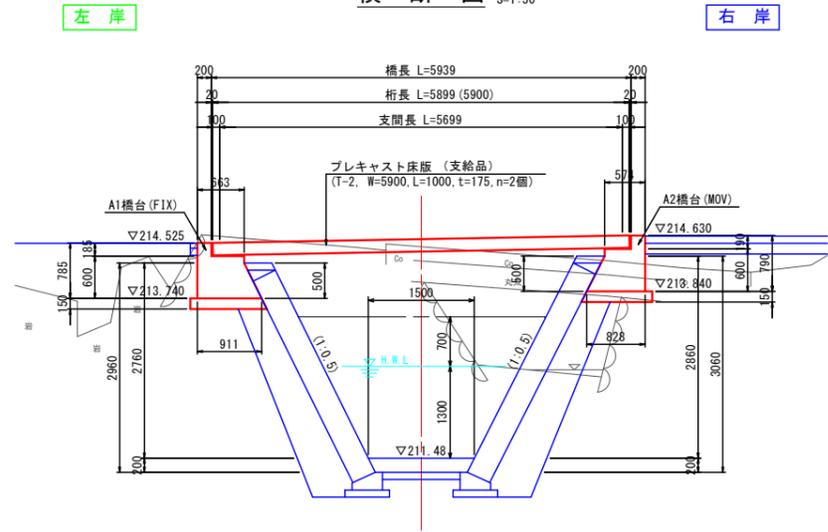


※ プレキャスト床板（支給品）の据付のみが今回工事

大田川水系上大田川地区			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	2号渡板工一般図		
作成年月日			
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	30 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

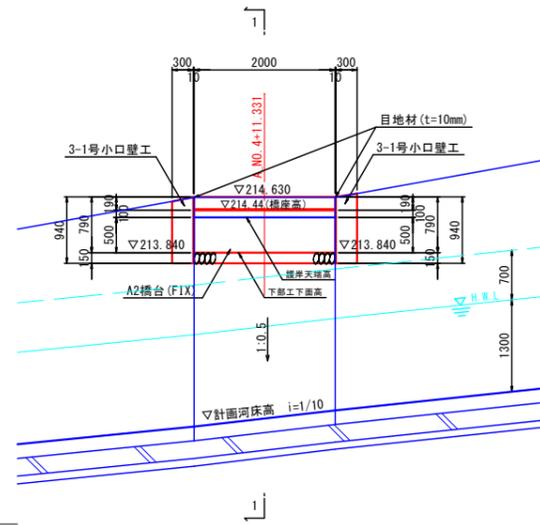
3号渡板工一般図 (A_NO. 4+11.198)

横断図 S=1:50



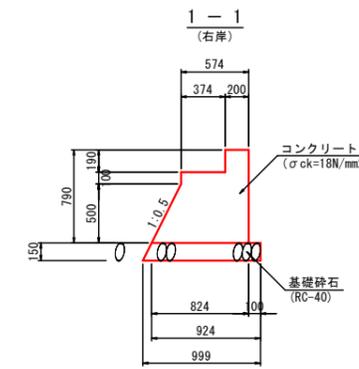
DL=210.00

横断図 S=1:50

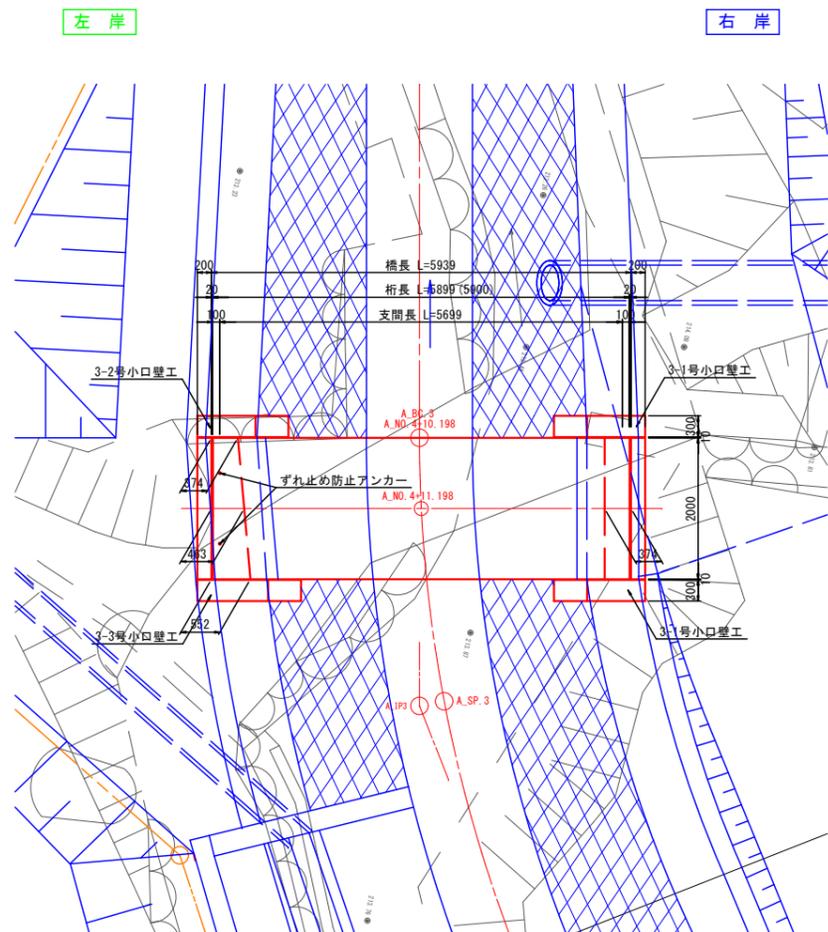


DL=210.00

下部工詳細図 S=1:30

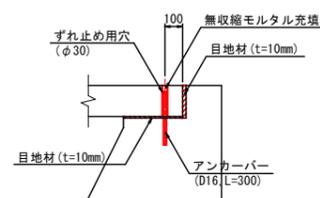


平面図 S=1:50

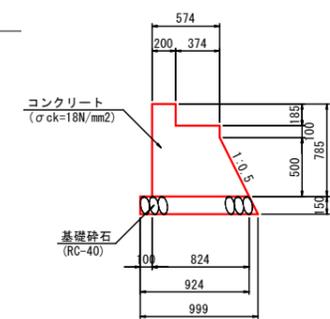


DL=210.00

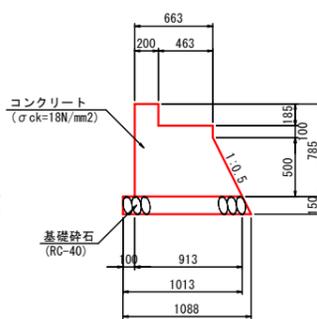
支承部詳細図 S=1:20



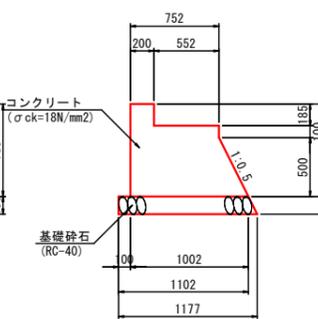
3-3 (左岸)



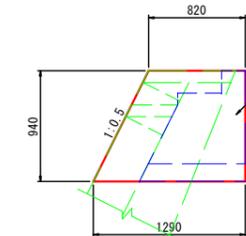
2-2 (左岸)



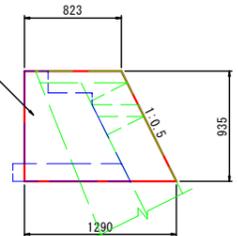
1-1 (左岸)



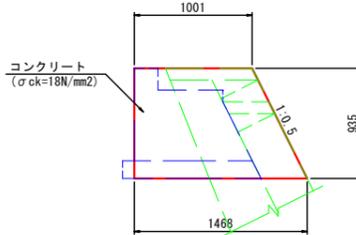
3-1小口壁工 (右岸)n=2



3-2小口壁工 (左岸)



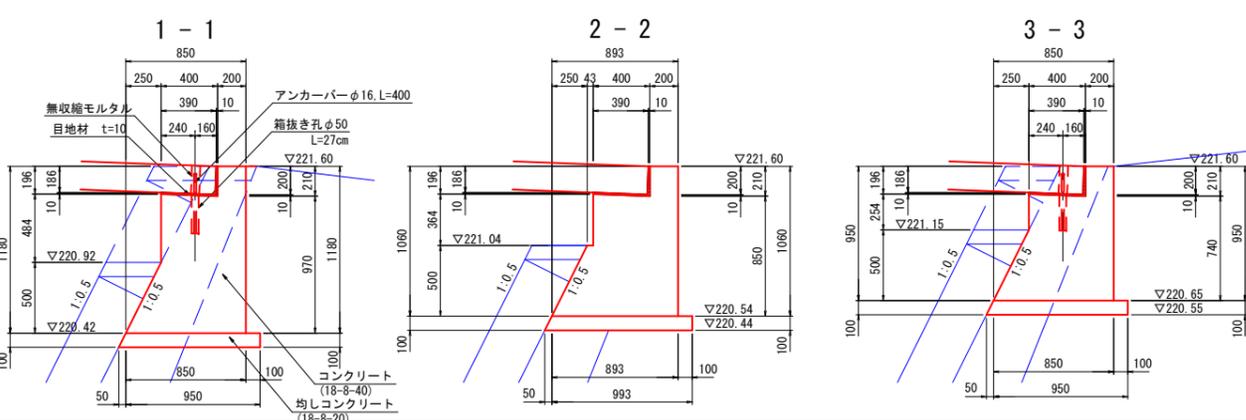
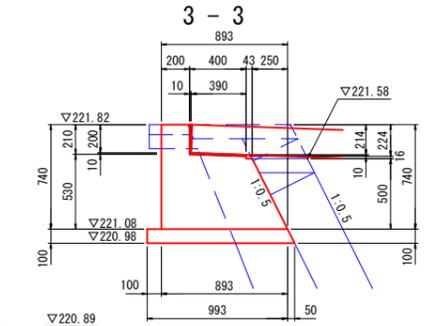
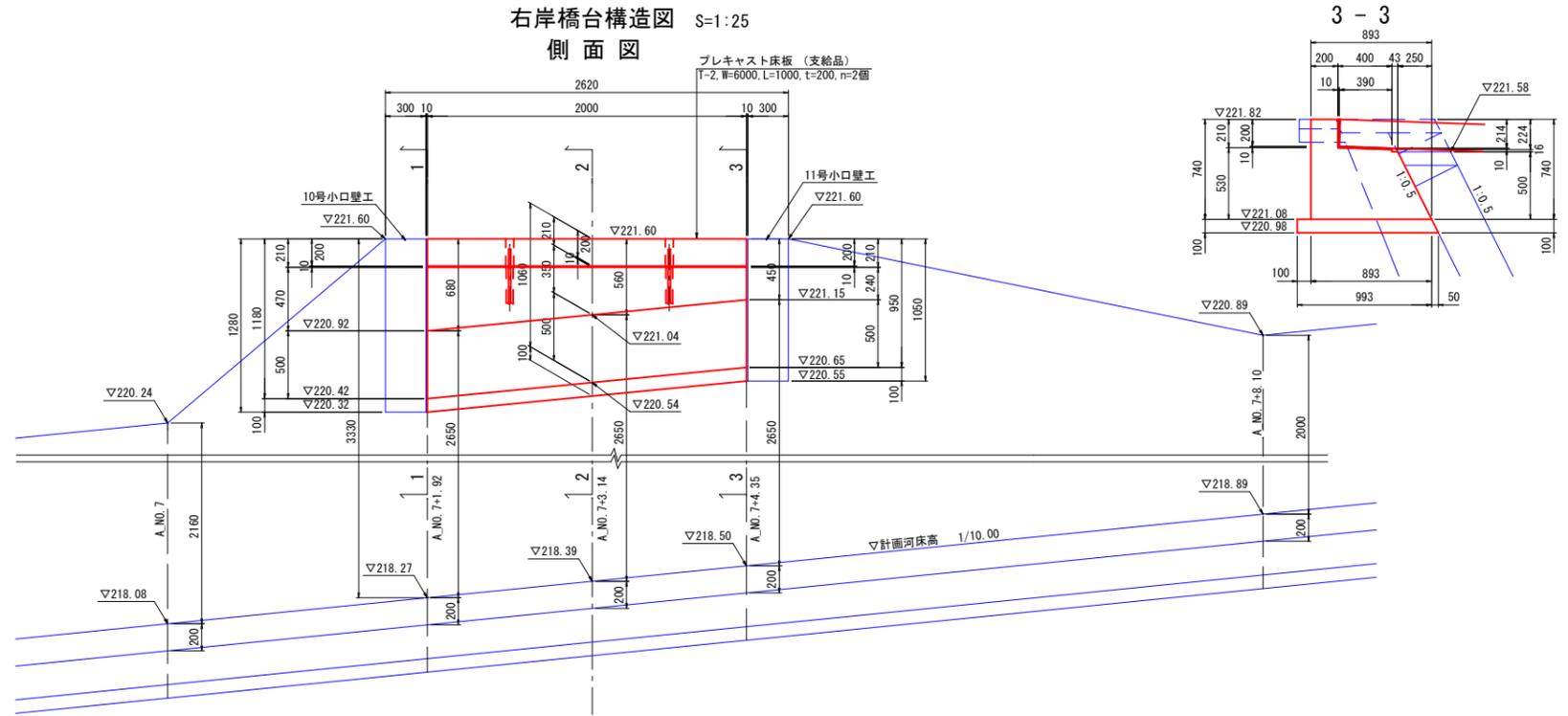
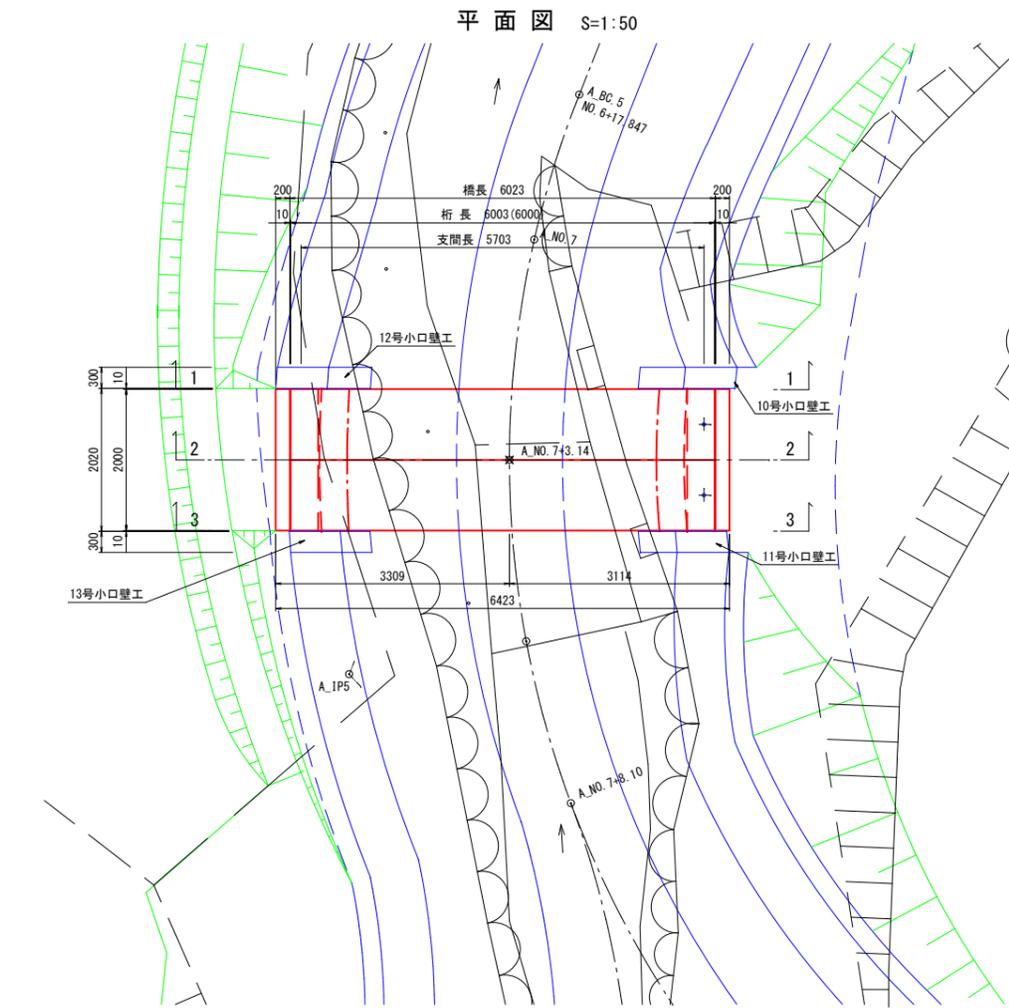
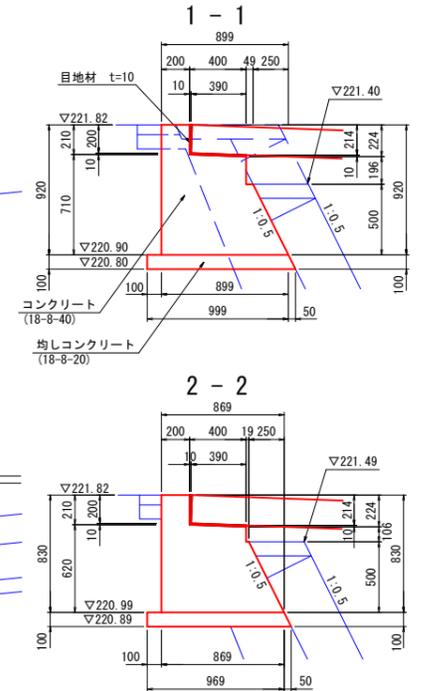
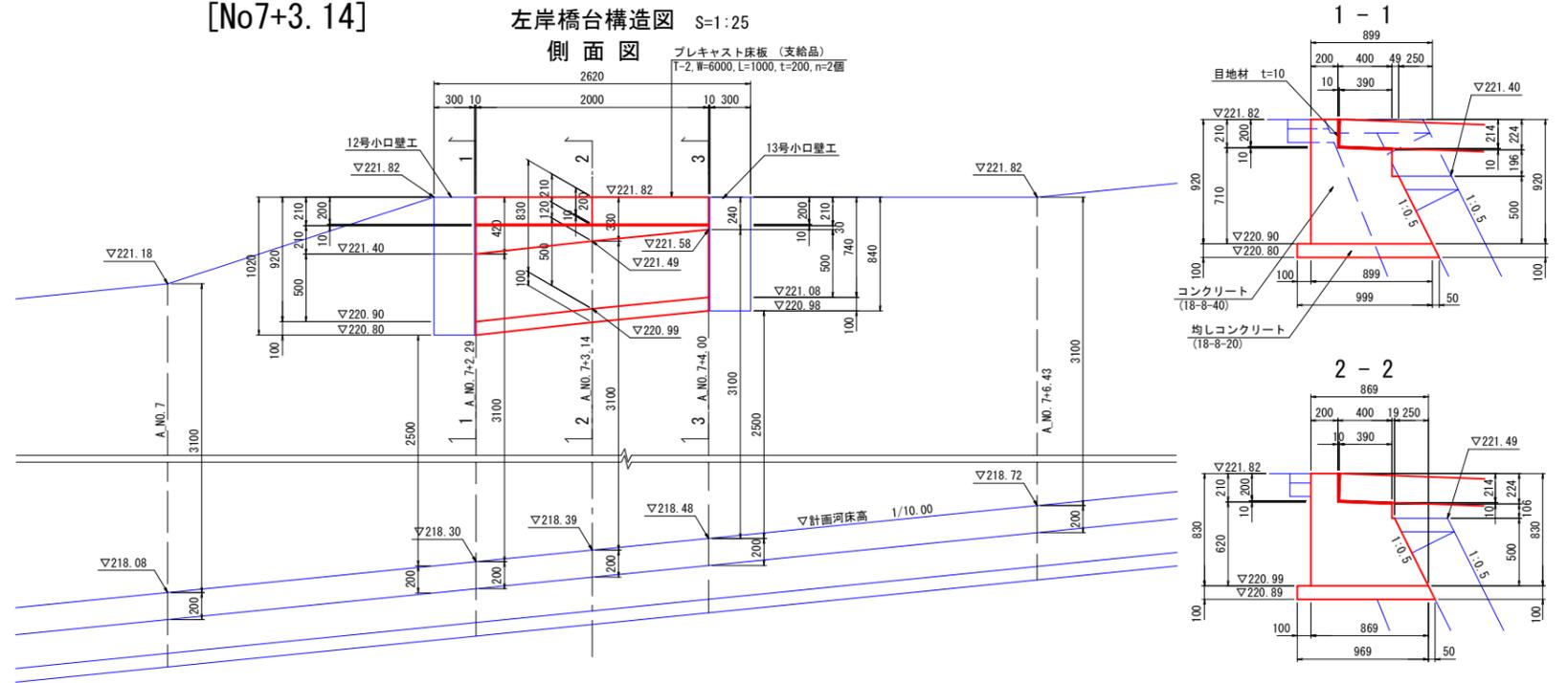
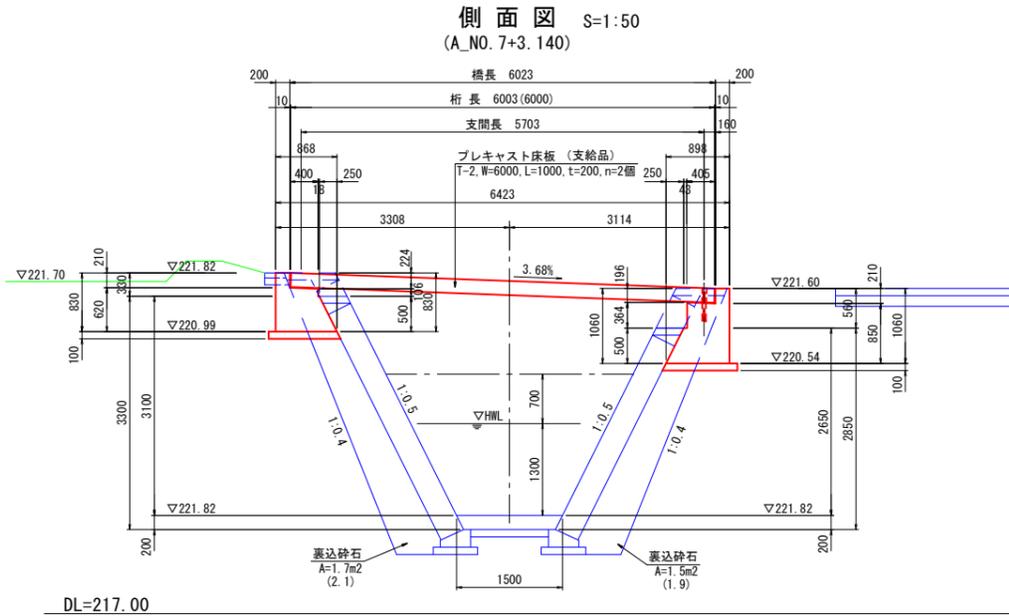
3-3小口壁工 (左岸)



※ プレキャスト床板 (支給品) の据付のみが今回工事

大田川水系上大田川地区			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	3号渡板工一般図		
作成年月日			
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	31 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

4号渡板工一般図 [No7+3.14]

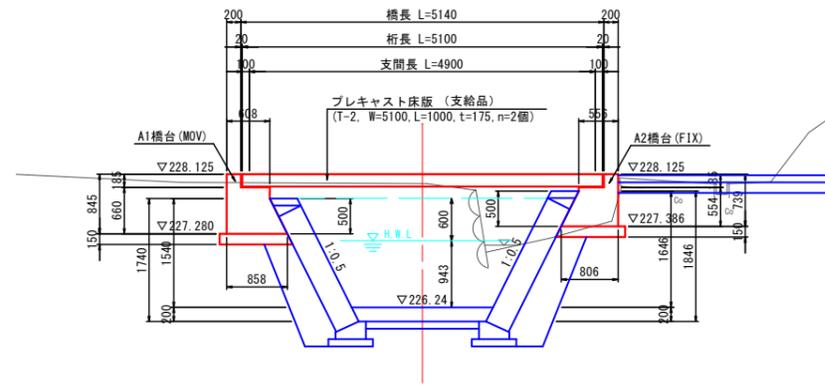


※ プレキャスト床板 (支給品) の据付のみが今回工事

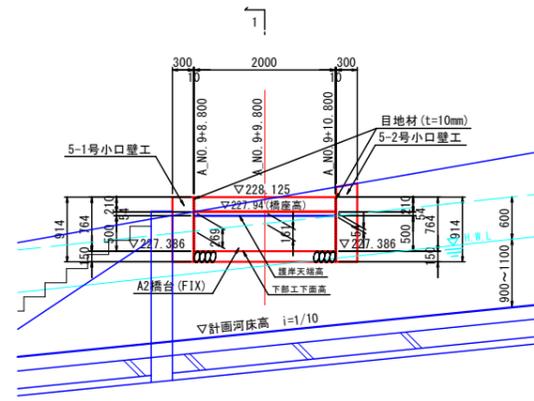
大田川水系上大田川地区	
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	4号渡板工一般図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 32 / 36
会社名	
事業者名	東広島市

5号渡板工一般図 (A_NO. 9+9.800)

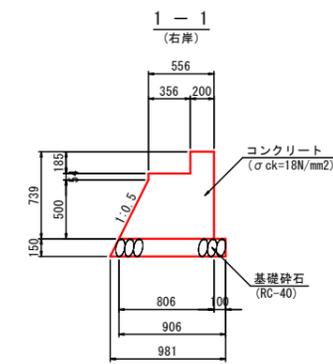
横断図 S=1:50
左岸 右岸



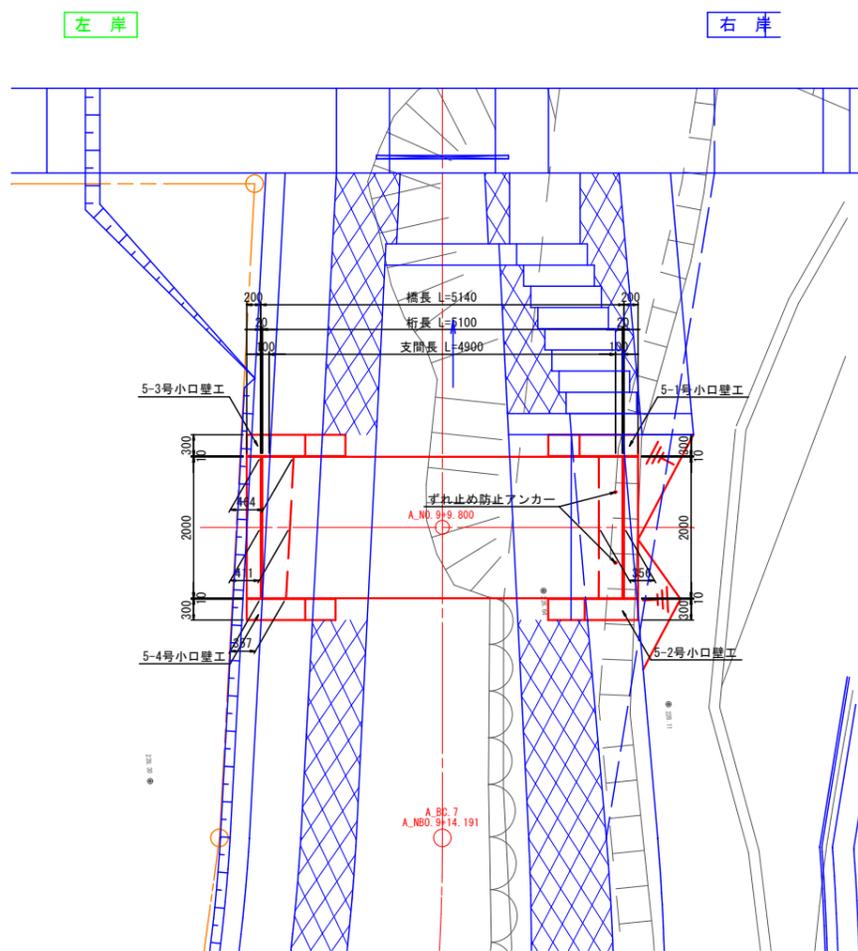
横断図 S=1:50
右岸



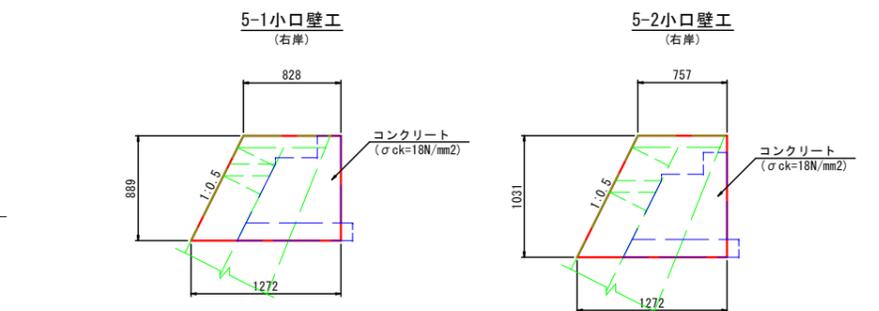
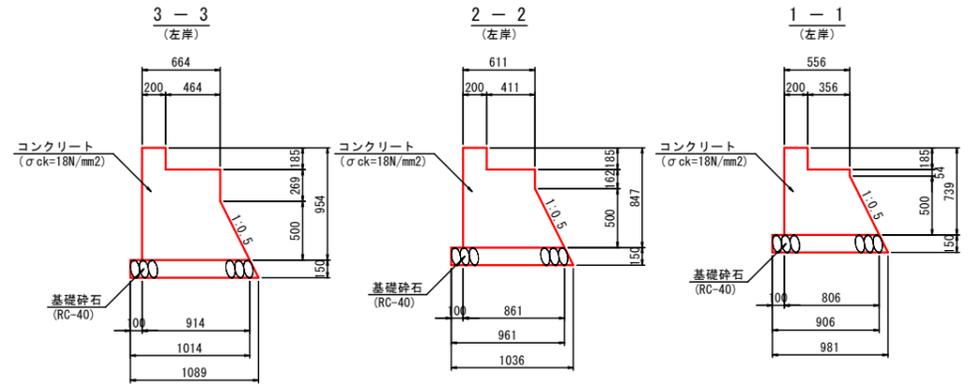
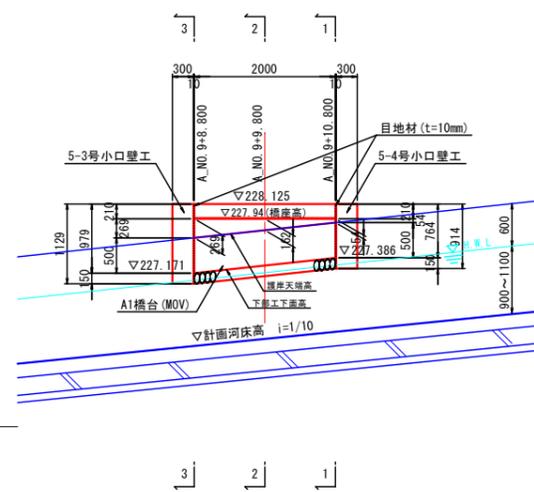
下部工詳細図 S=1:30



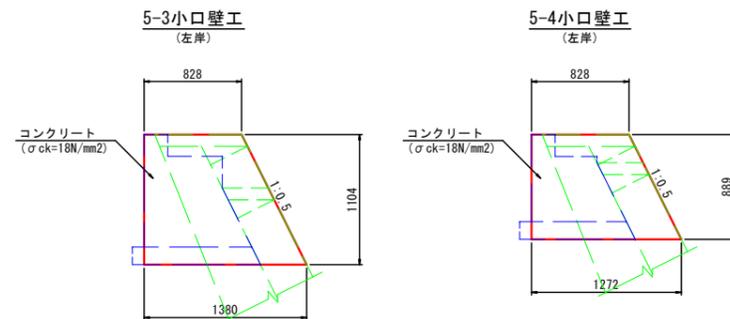
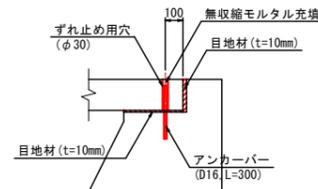
平面図 S=1:50
左岸 右岸



左岸



支承部詳細図 S=1:20

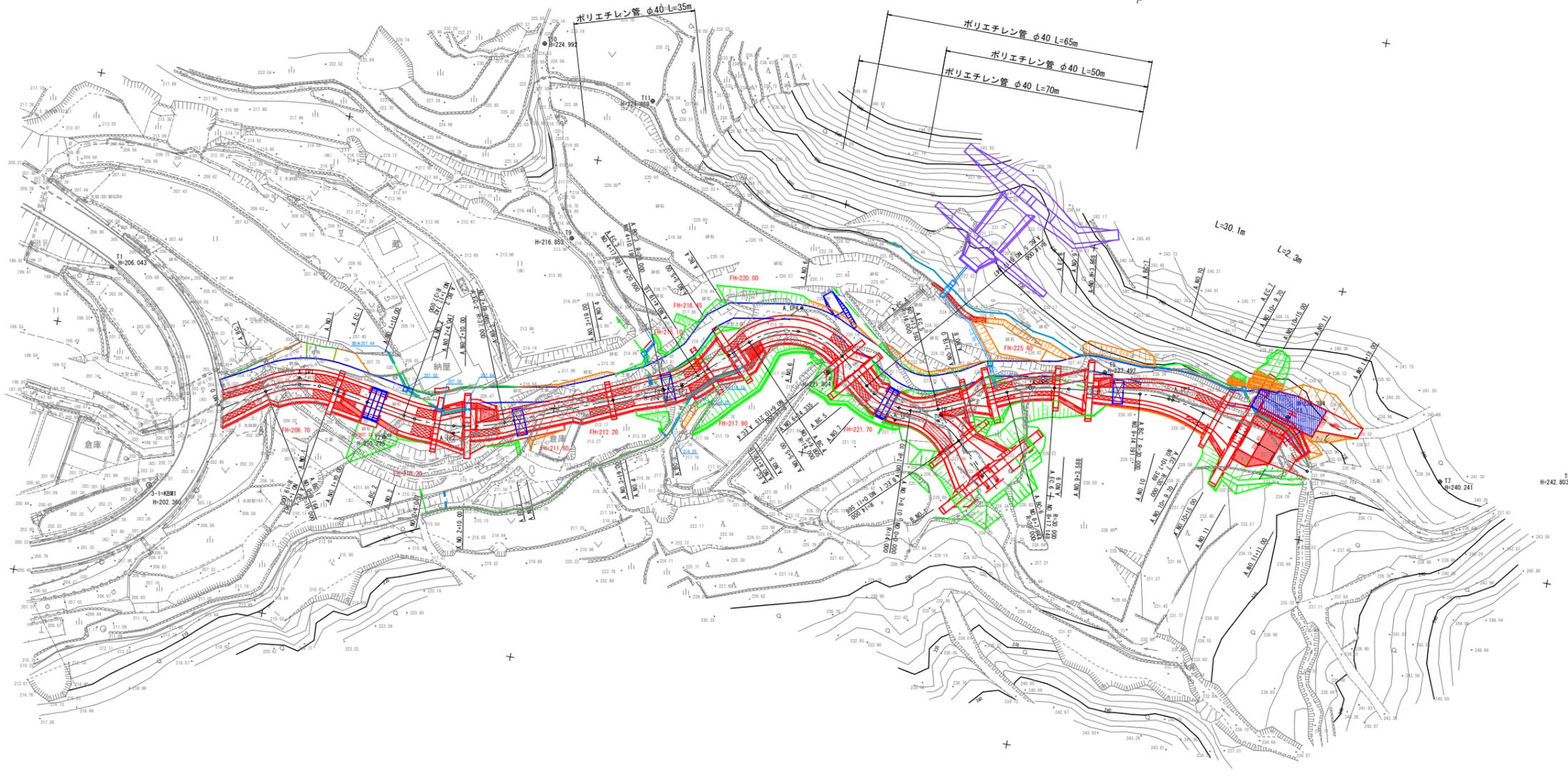


※ プレキャスト床版 (支給品) の据付のみが今回工事

大田川水系上大田川地区	
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	5号渡板工一般図
作成年月日	
縮尺	V=1:100 H=1:500
図面番号	33 / 36
会社名	
事業者名	東広島市

用水取水系統平面図


 S=1:500
 世界測地系

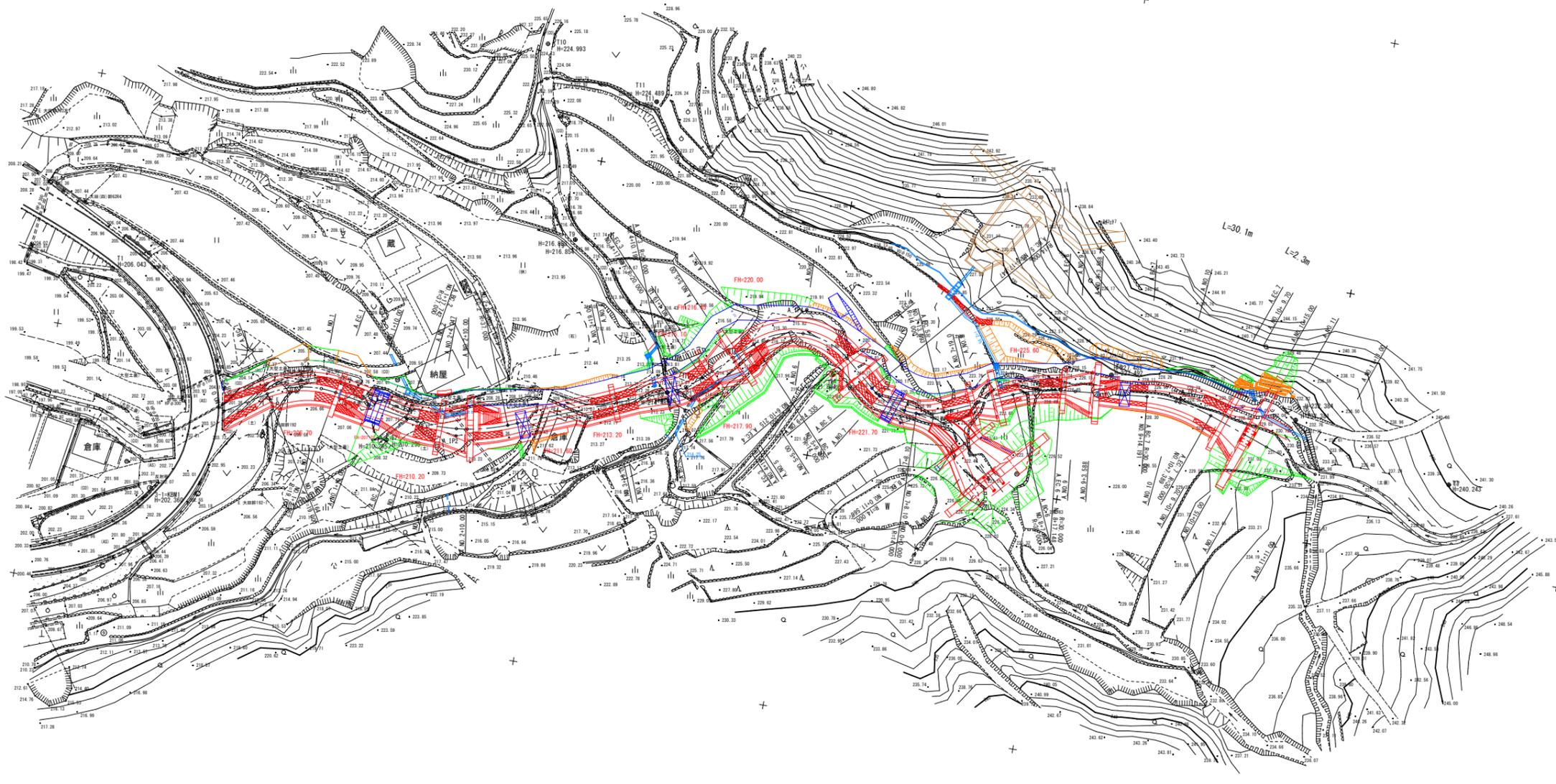


大田川水系上大田川地区 (参考図)			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	用水取水系統平面図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	34 / 36
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

工事用道路設置前現況平面図



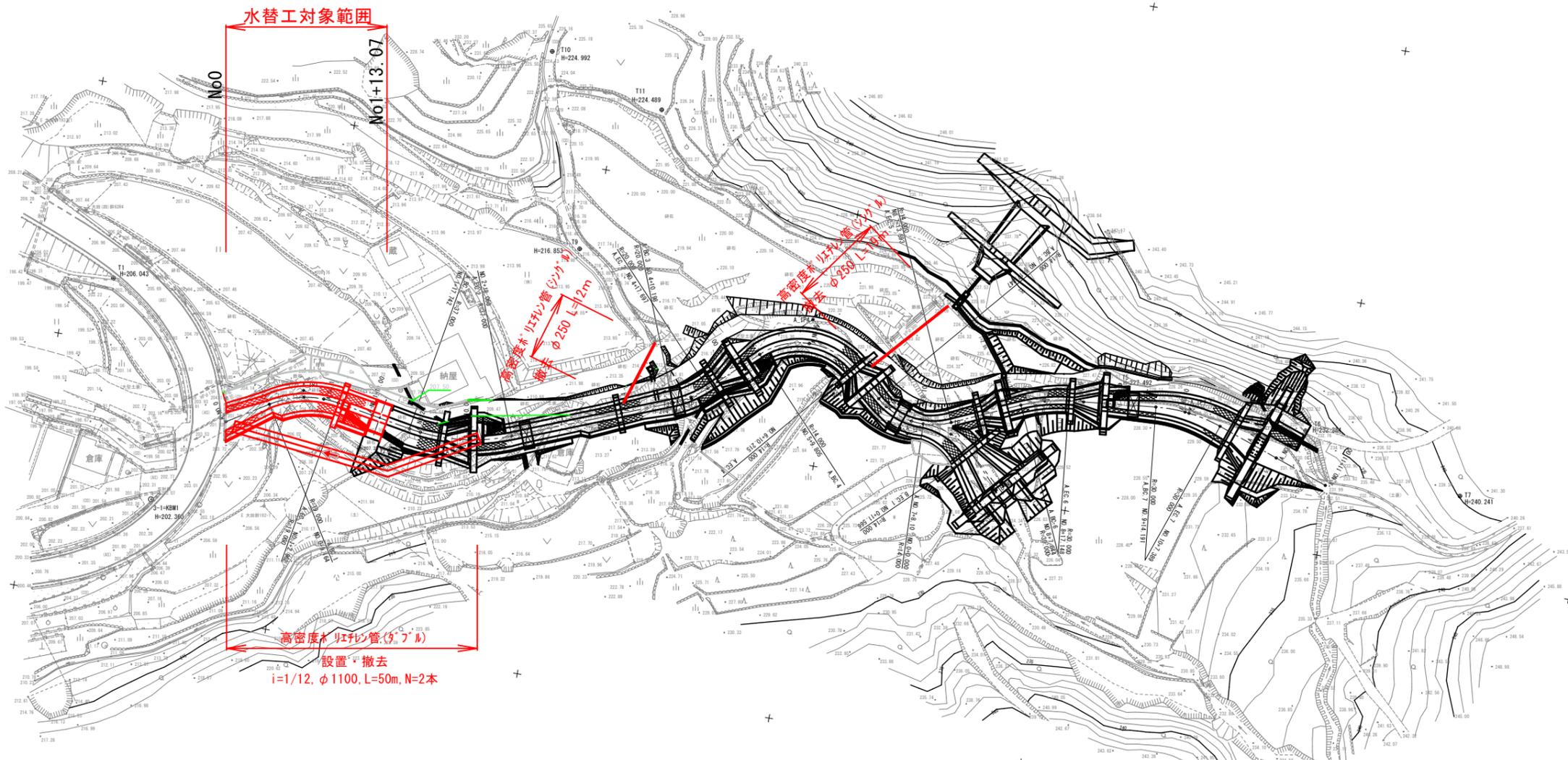
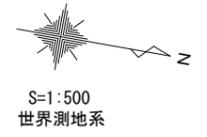
S=1:500
世界測地系



二級河川高野河水系上大田川 地区 (参考図)

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	工事用道路設置前現況平面図		
年月日			
縮尺	S=1:500	図面番号	35 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

施行計画平面図 (参考図)



仮設水路構造図
S=1:50

高密度ホリェリ管面図

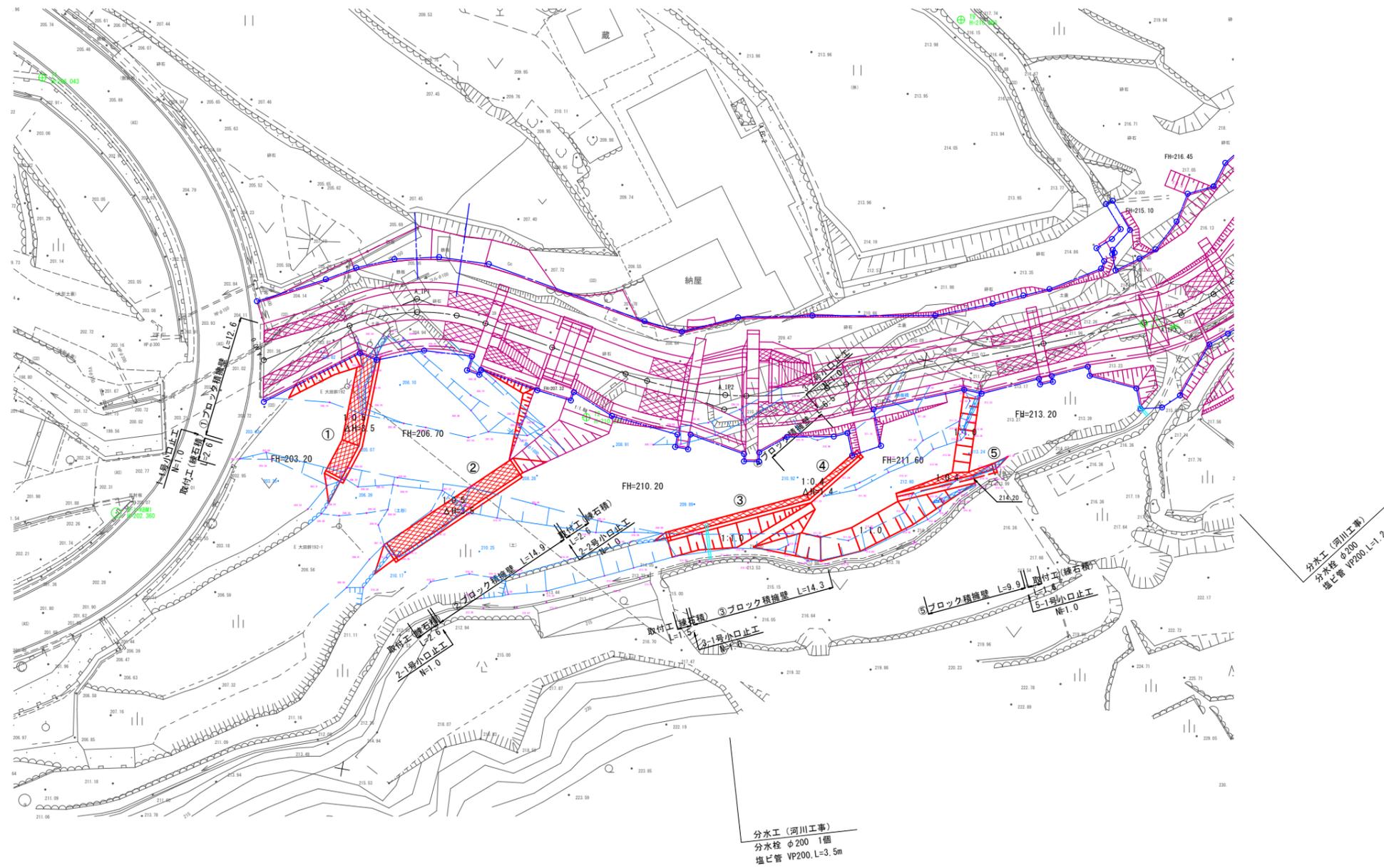


高密度ホリェリ管面図



大田川水系上大田川地区 (参考図)			
工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)		
図面名	施行計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	36 / 36
会社名			
事業者名	東広島市		

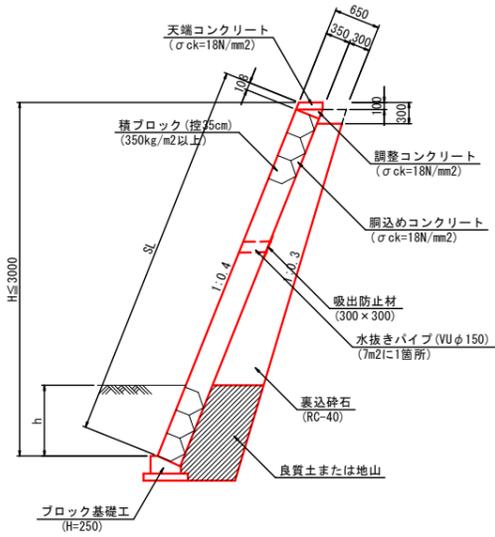
平面図 S=1:250



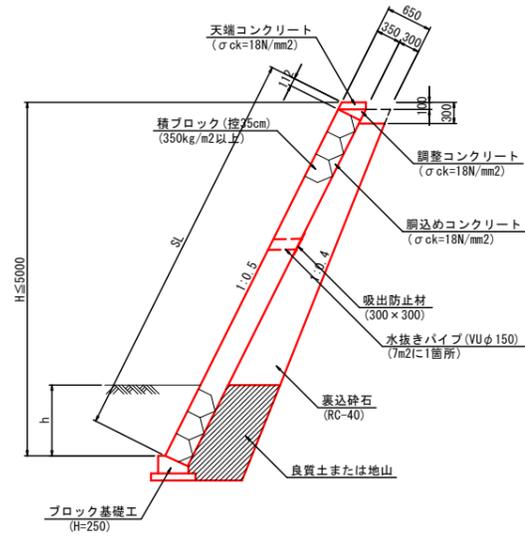
工事番号

工事名	令和7年度土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事(7-4)		
図面名	上大田川(仮設復旧)計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	東広島市		

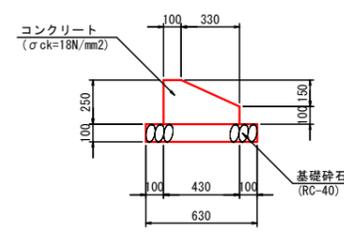
ブロック積擁壁
(1:0.4) S=1:50



ブロック積擁壁
(1:0.5) S=1:50



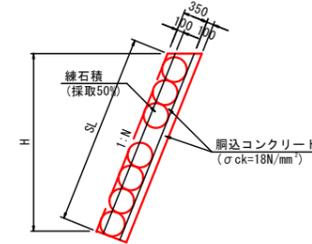
ブロック基礎工
(H=250) S=1:20



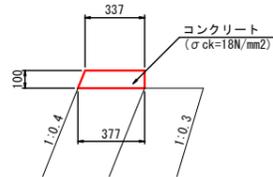
材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.828
型枠	一般型枠	m²	3.500
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m²	6.300

取付工
(練石積工) S=1:50



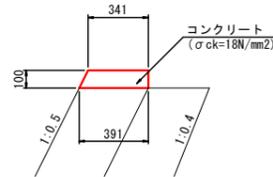
天端コンクリート
(1:0.4) S=1:20



材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.357
型枠	一般型枠	m²	2.077

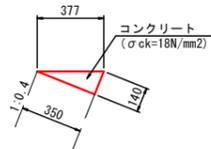
天端コンクリート
(1:0.5) S=1:20



材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.366
型枠	一般型枠	m²	2.118

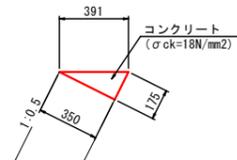
調整コンクリート
(1:0.4) S=1:20



材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.245
型枠	一般型枠	m²	1.400

調整コンクリート
(1:0.5) S=1:20



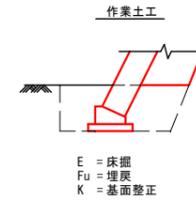
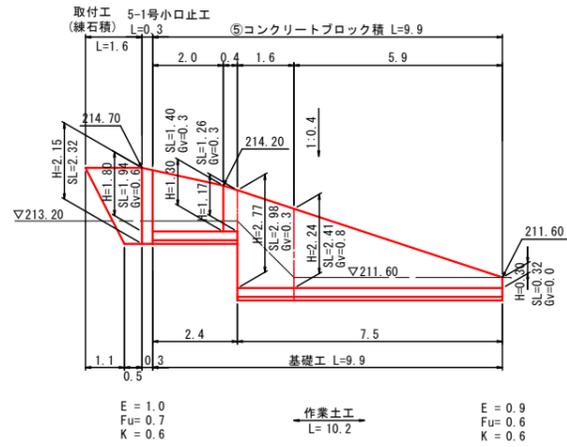
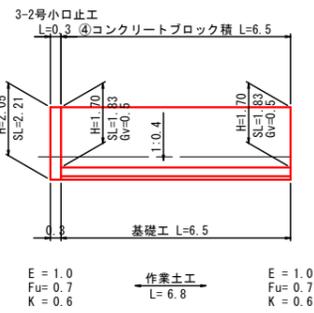
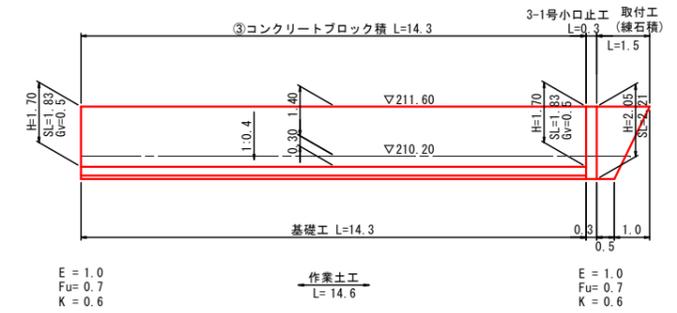
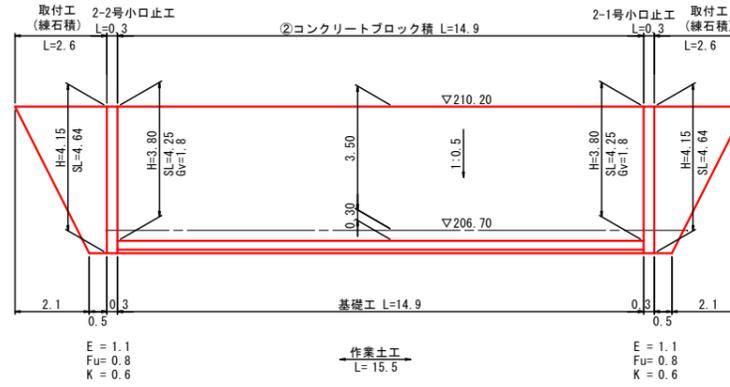
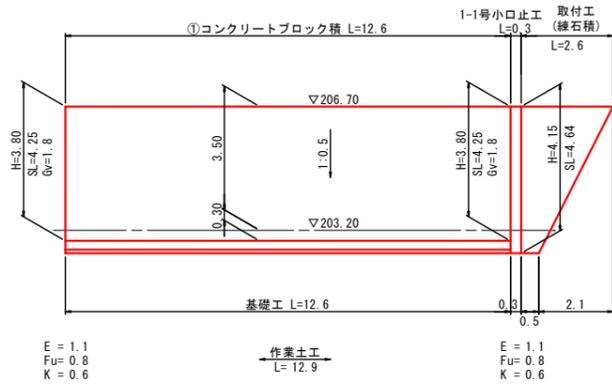
材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.306
型枠	一般型枠	m²	1.750

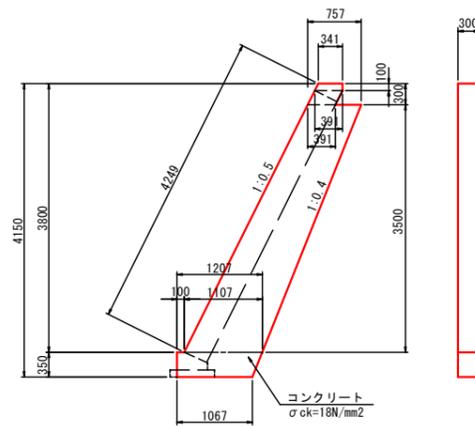
工事番号

工事名	令和7年度土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事(7-4)		
図面名	上大田川(仮設道復旧)計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	東広島市		

展開図 S=1:100



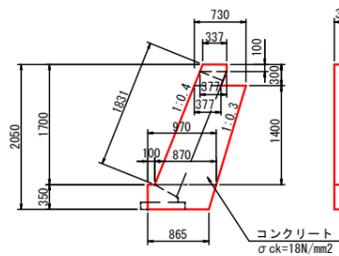
1-1号
2-1号
2-2号小口止工
S=1:50



材料表 1箇所当たり

種別	算式	数量
側面積	$(0.341+0.391)/2 \times 0.100$ $+0.391 \times 0.200$ $+ (0.757+1.107)/2 \times 3.500$ $+ (1.207+1.067)/2 \times 0.350$	3.775 m ²
コンクリート	3.775×0.300	1.133 m ³
型枠	$3.775 \times 2 + (4.249+0.350) \times 0.300$	8.930 m ²

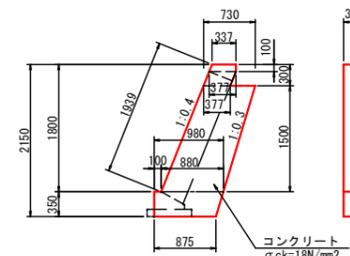
3-1号小口止工
3-2号小口止工
S=1:50



材料表 1箇所当たり

種別	算式	数量
側面積	$(0.337+0.377)/2 \times 0.100$ $+0.377 \times 0.200$ $+ (0.730+0.870)/2 \times 1.400$ $+ (0.970+0.865)/2 \times 0.350$	1.552 m ²
コンクリート	1.552×0.300	0.466 m ³
型枠	$1.552 \times 2 + (1.831+0.350) \times 0.300$	3.758 m ²

5-1号小口止工
S=1:50



材料表 1箇所当たり

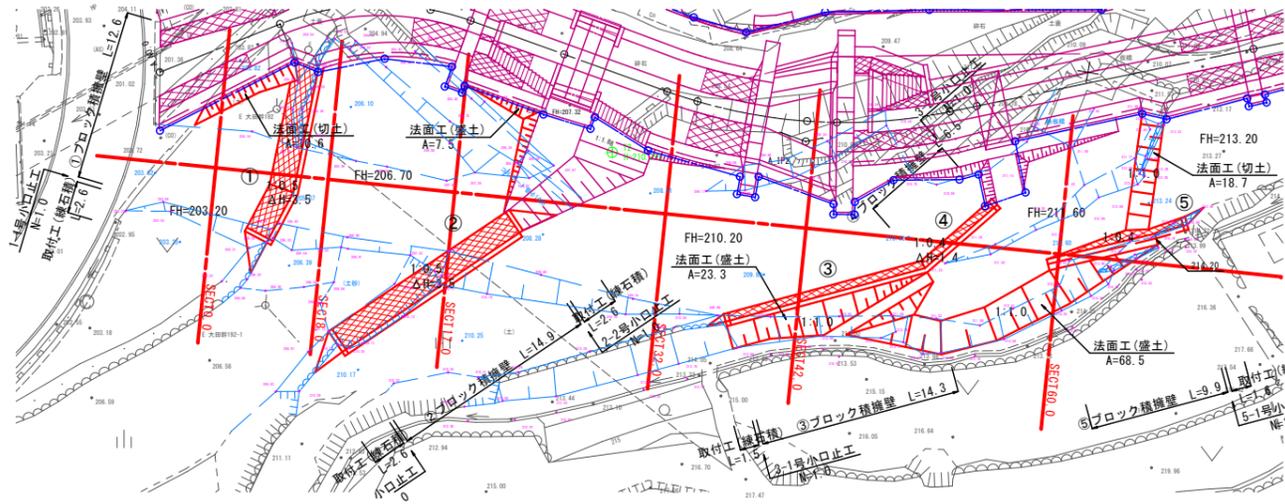
種別	算式	数量
側面積	$(0.337+0.377)/2 \times 0.100$ $+0.377 \times 0.200$ $+ (0.730+0.880)/2 \times 1.500$ $+ (0.980+0.875)/2 \times 0.350$	1.643 m ²
コンクリート	1.643×0.300	0.493 m ³
型枠	$1.643 \times 2 + (1.939+0.350) \times 0.300$	3.973 m ²

工事番号

工事名	令和7年度土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	上木田川 (仮設道復旧) 計画図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 3 / 4
会社名	
事業者名	東広島市

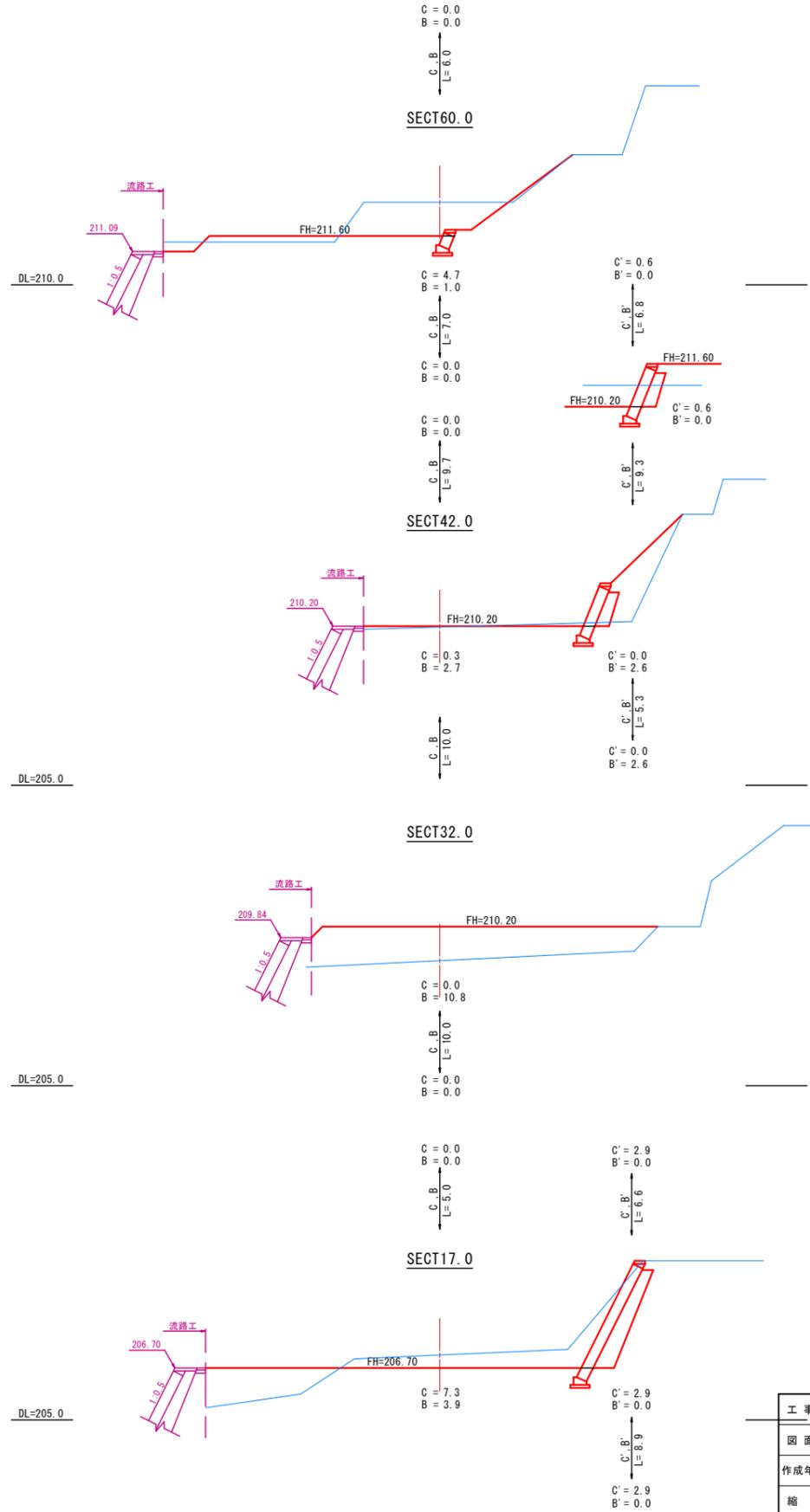
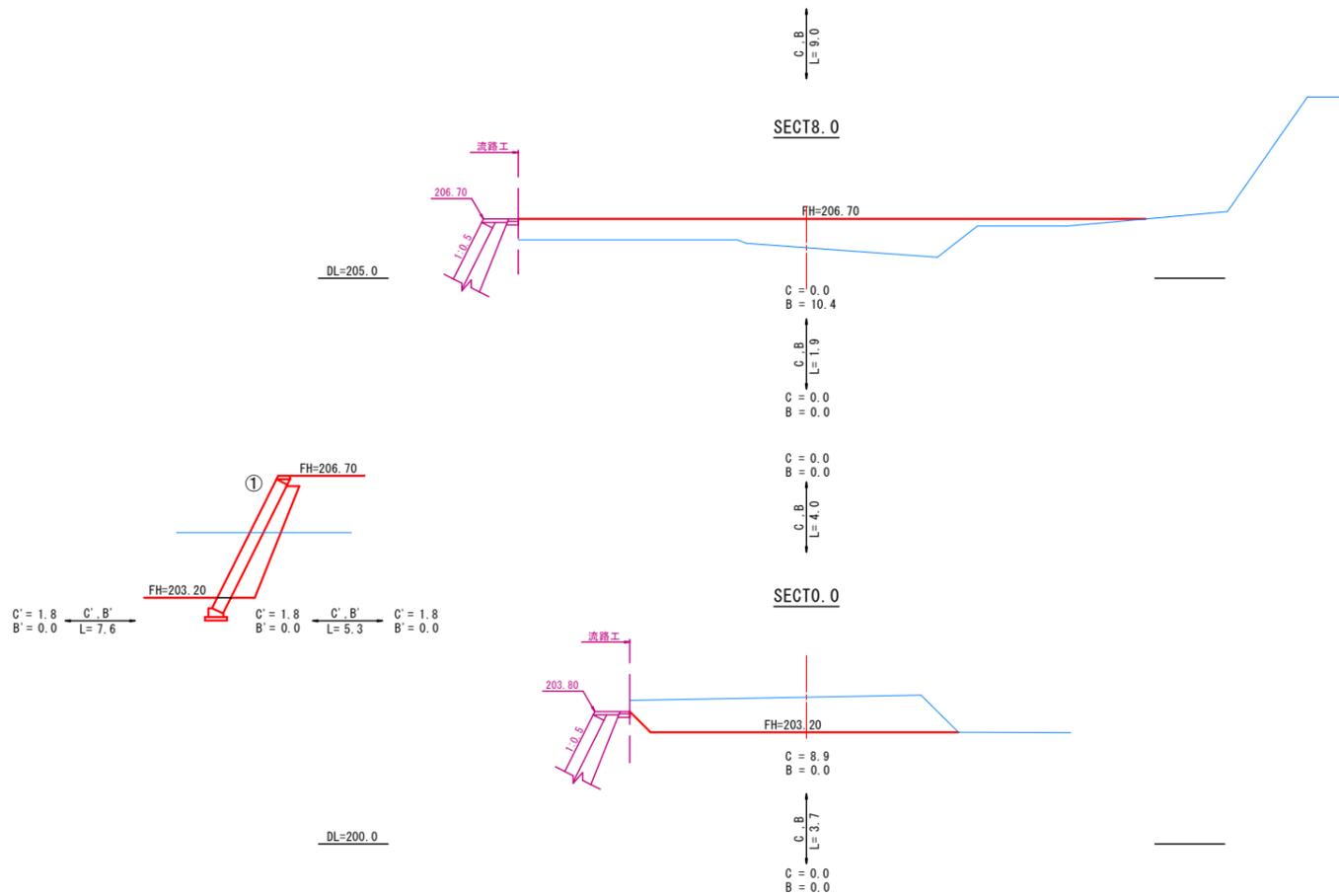
平面図

S=1:250



横断図

S=1:100



工事番号

工事名	令和7年度土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事(7-4)		
図面名	上大田川_計画図(参考)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	東広島市		

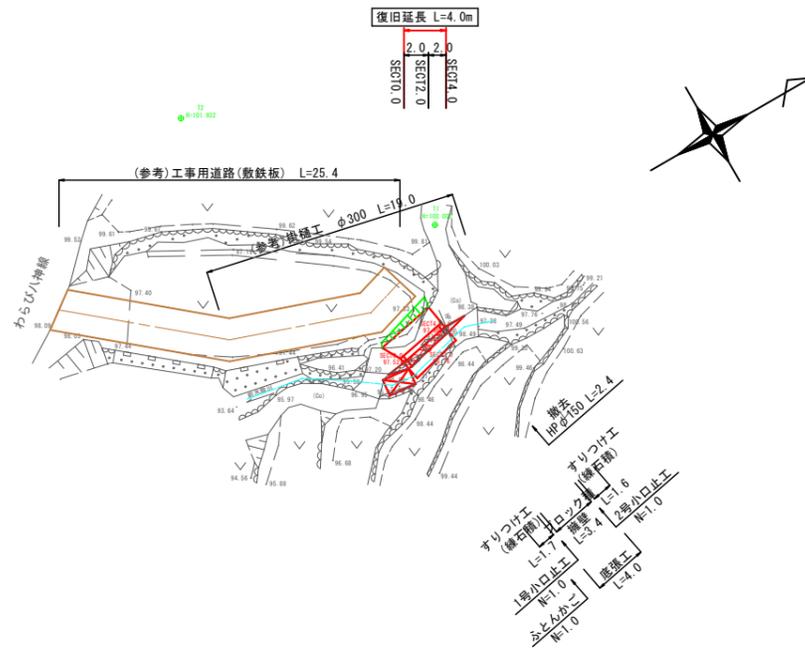
平面図 S=1:250

基準点座標一覧表

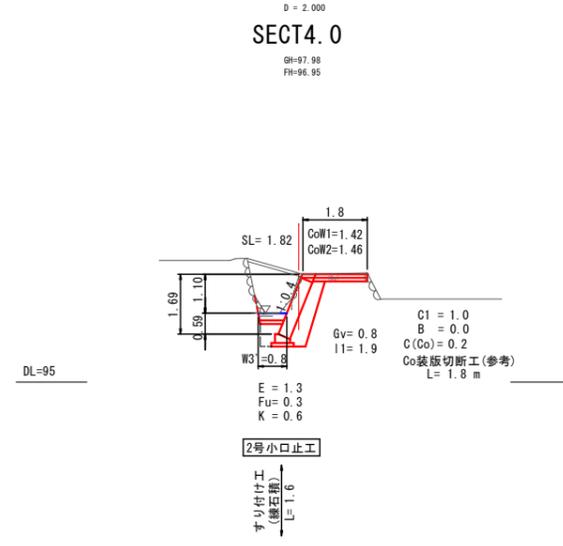
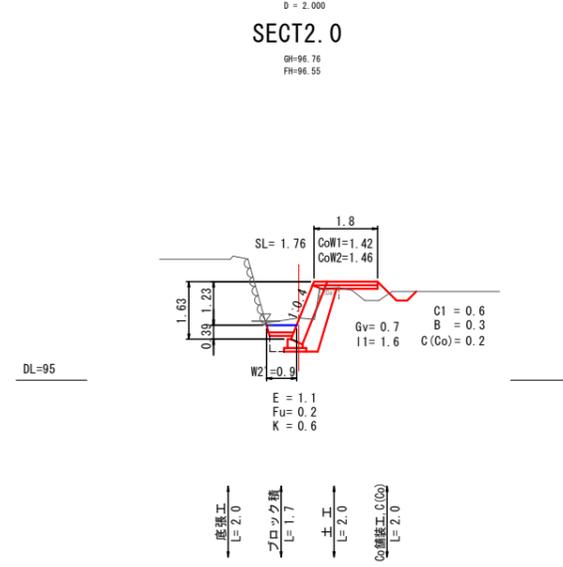
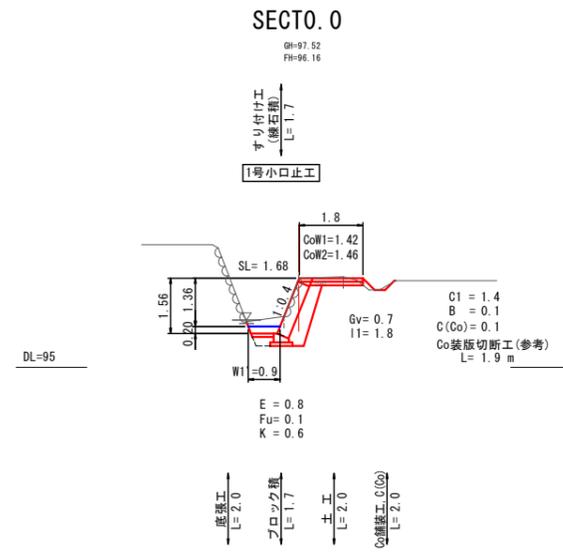
点名	X座標	Y座標	標高
T1	1000.000	1000.000	100.000
T2	988.201	984.472	101.932

測点座標一覧表

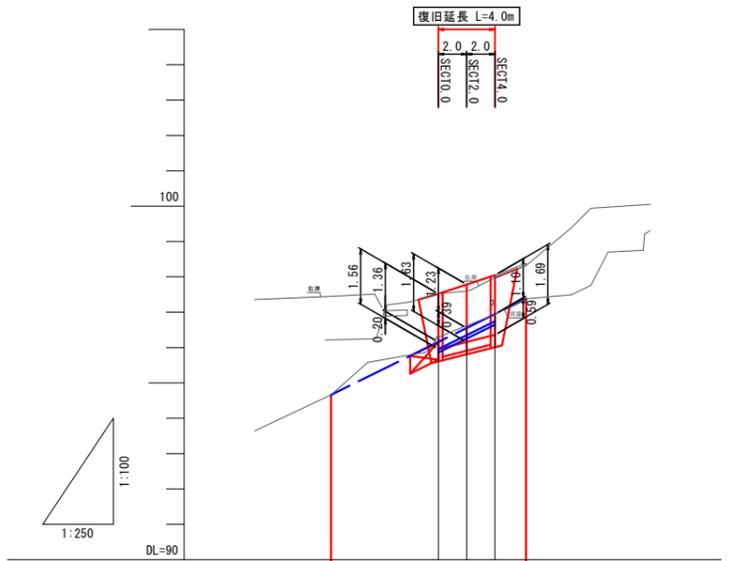
点名	X座標	Y座標	標高
SECT0.0	993.217	1007.341	97.527
SECT2.0	995.203	1007.376	96.769
SECT4.0	997.020	1006.703	97.983



横断図 S=1:100



縦断図 V=1:100
H=1:250

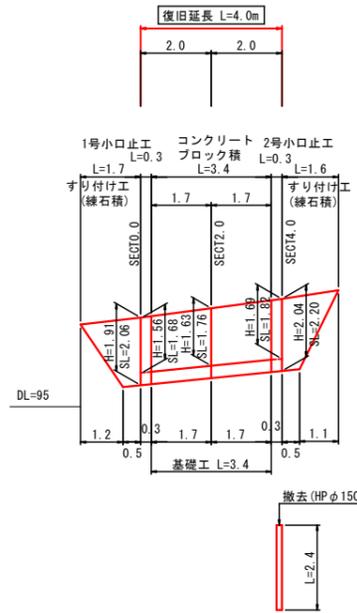


勾配図			
計画護岸高	97.52	97.79	98.05
計画河床高	96.16	96.55	96.95
最深河床高	96.29	96.62	96.93
追加距離	0.000	2.000	4.000
単距離	0.000	2.000	2.000
測点	SECT0.0	SECT2.0	SECT4.0

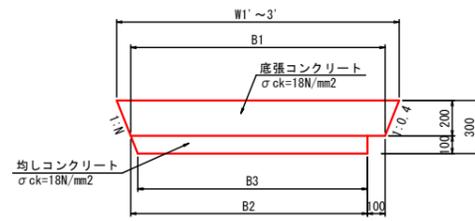
工事番号 T06-005

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事(7-4)		
図面名	前水除川_計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	東広島市		

展開図 S=1:100



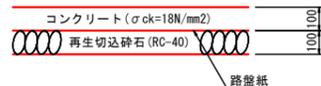
底張コンクリート S=1:20



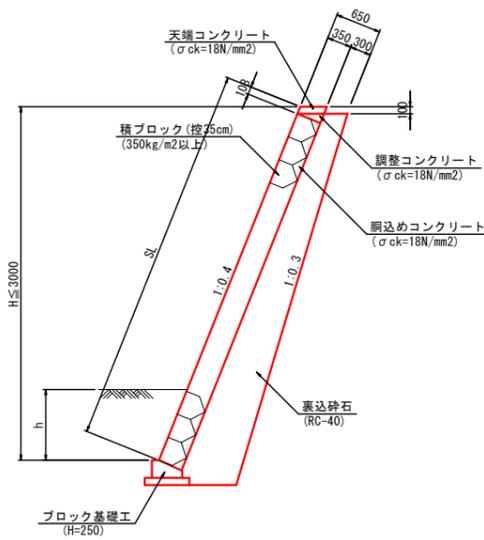
材料表 (1m当たり)

記号	W(m)	B1(m)	B2(m)	B3(m)	底張コンクリート (m ³)	均しコンクリート (m ³)	1.N(参考)
W1'	0.9	0.74	0.64	0.60	0.164	0.062	0.4
W2'	0.9	0.76	0.66	0.63	0.166	0.065	0.3
W3'	0.8	0.68	0.58	0.56	0.148	0.057	0.2

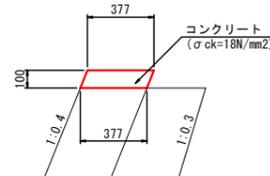
コンクリート舗装工 S=1:15



ブロック積擁壁 (1:0.4) S=1:50



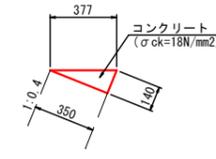
天端コンクリート (1:0.4) S=1:20



材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.377
型枠	一般型枠	m ²	2.154

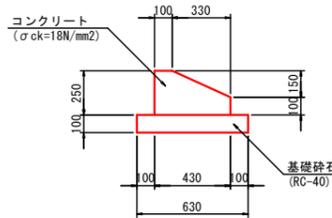
調整コンクリート (1:0.4) S=1:20



材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.245

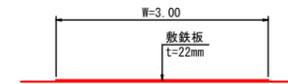
ブロック基礎工 (H=250) S=1:20



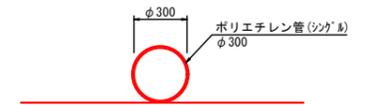
材料表 (10m当たり)

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.828
型枠	一般型枠	m ²	3.500
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m ²	6.300

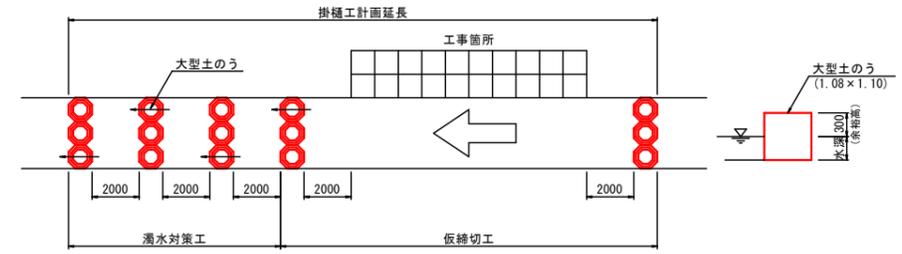
工事用道路(敷鉄板) (参考図) S=1:50



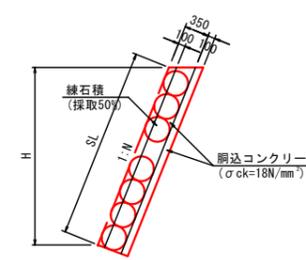
掛樋工断面図 (参考図) S=1:20



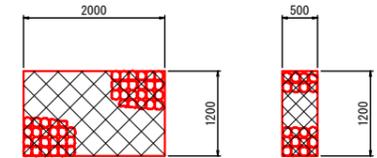
仮締切工・濁水対策工 (河床幅3m未満) (参考図)



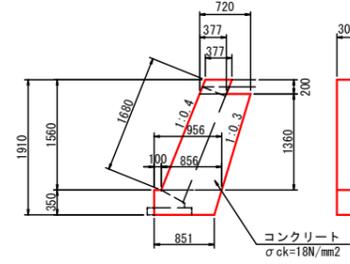
すりつけ工 (練石積工) S=1:50



ふとんかご S=1:50 (120×200×50cm)



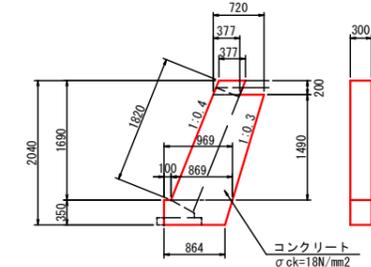
1号小口止工 S=1:50



材料表 1箇所当たり

種別	算式	数量
側面積	$0.377 \times 0.200 + (0.720 + 0.856) / 2 \times 1.360 + (0.956 + 0.851) / 2 \times 0.350$	1.463 m ²
コンクリート	1.463×0.300	0.439 m ³
型枠	$1.463 \times 2 + 0.350 \times 0.300$	3.031 m ²
化粧型枠	1.680×0.300	0.504 m ²

2号小口止工 S=1:50



材料表 1箇所当たり

種別	算式	数量
側面積	$0.377 \times 0.200 + (0.720 + 0.869) / 2 \times 1.490 + (0.969 + 0.864) / 2 \times 0.350$	1.580 m ²
コンクリート	1.580×0.300	0.474 m ³
型枠	$1.580 \times 2 + 0.350 \times 0.300$	3.265 m ²
化粧型枠	1.820×0.300	0.546 m ²

工事番号 T06-005

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-4)
図面名	前水除川_計画図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
会社名	
事業者名	東広島市